

第3次宮古島市地域福祉計画づくりに関する アンケート調査報告書（クロス集計結果）

令和3年3月

宮古島市

目 次

I. 調査概要について.....	1
1. 調査の対象者数.....	1
2. 調査の期間.....	1
3. 調査票の回収方法.....	1
4. 調査票の回収状況.....	1
5. 報告書への記載方法.....	1
II. アンケート結果の概要.....	3
1. 属性.....	3
2. あなたと地域生活について.....	8
3. 福祉意識について.....	42
4. 安心・安全な暮らしについて.....	50
5. 福祉等に関する情報の入手方法や制度の認知度、行政に期待することについて...	56
6. 社会福祉協議会及び民生委員・児童委員について.....	68
意見・提言（地域別）.....	76

資料編

調査票

I. 調査概要について

1. 調査の対象者数

市内にお住まいの 20 歳以上 75 歳までの男女 4,800 人を住民基本台帳から、住所、年齢層に偏りがないように抽出しました。

2. 調査の期間

調査期間は令和 2 年 7 月上旬から 8 月中旬

3. 調査票の回収方法

対象者に対し期日を限定し、郵送による配布・回収をしました。

4. 調査票の回収状況

	配布数	回収数	有効回答数	実質回収率
調査票回収状況	4,800	1,126	1,123	23.4%

5. 報告書への記載方法

- (1) 集計結果は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%一致しない場合があります。
- (2) 回答者を限定した質問に対しては、限定回答者数を母数として集計を行います。
- (3) 集計結果の構成は、前回調査と同じ設問については基本的に今回調査「令和 2 年度」と前回調査結果「平成 27 年度」の結果を比較しています。
- (4) 集計結果の地区別の結果については、統計的に必要なサンプル数を考慮し、「平良地区」「城辺・下地・上野地区」「伊良部地区」の 3 つに分類しています。

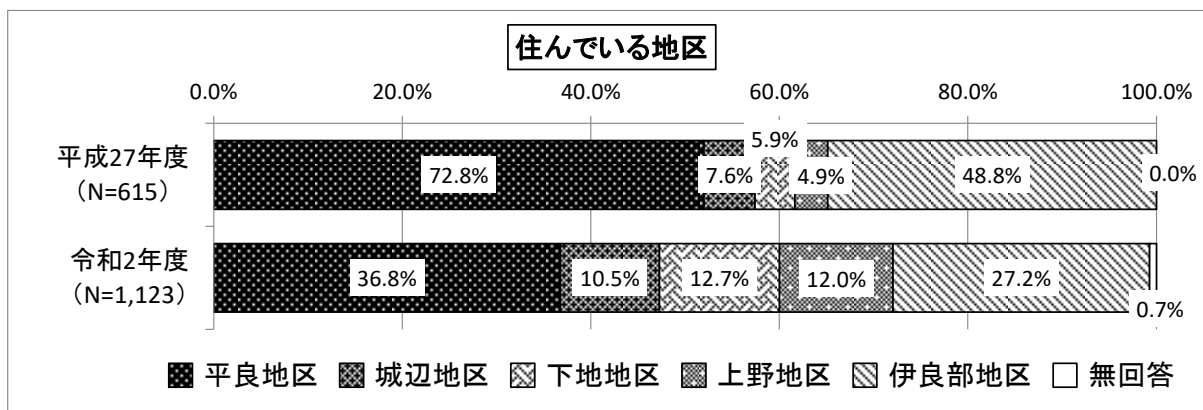
Ⅱ. アンケート結果の概要

1. 属性

F1 お住まいの地域

回答者が住んでいる地域については、「平良地区」が36.8%で最も多くなっています。次いで「伊良部地区」の27.2%、「下地地区」の12.7%、「上野地区」の12.0%、「城辺地区」の10.5%と続いています。

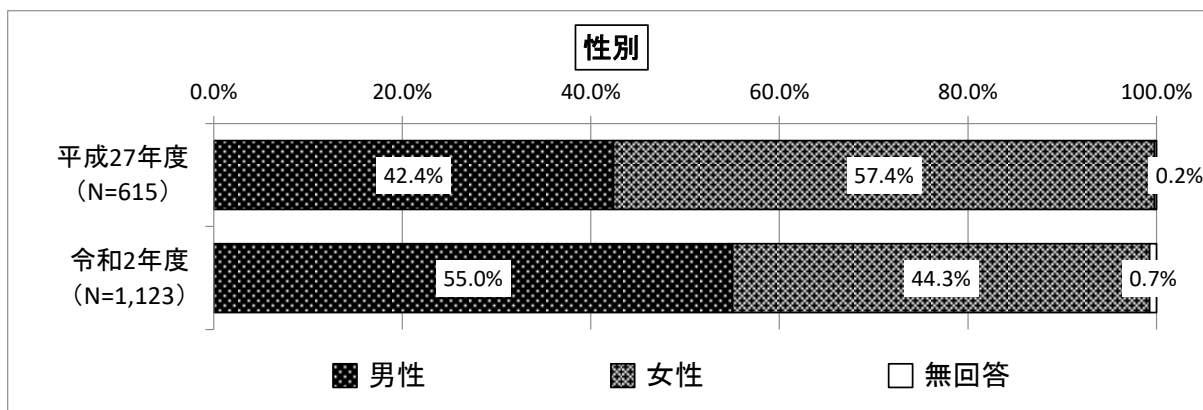
前回調査（H27年度）と比較すると、「平良地区」「伊良部地区」が多い傾向は変わりませんが、他の地区の割合も増加しています。



F2 性別

性別については、「男性」が55.0%、「女性」が44.3%となっており、男性の回答が多くなっています。

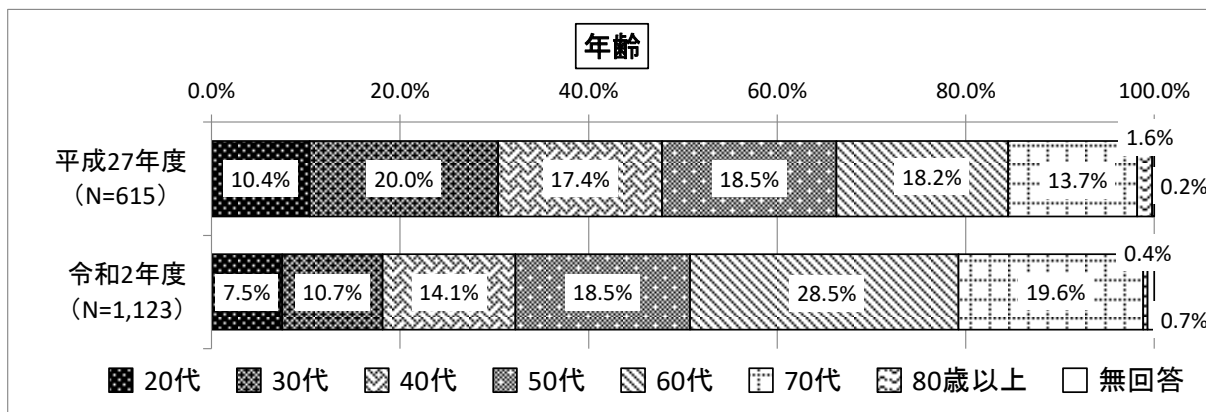
前回調査（H27年度）と比較すると、男性の割合が増加しています。



F 3 年齢（令和2年2月現在）

調査対象者の年代については、「60代」が28.5%で最も多く、次いで「70代」の19.6%、「50代」の18.5%、「40代」の14.1%、「30代」の10.7%、「20代」の7.5%と続いています。

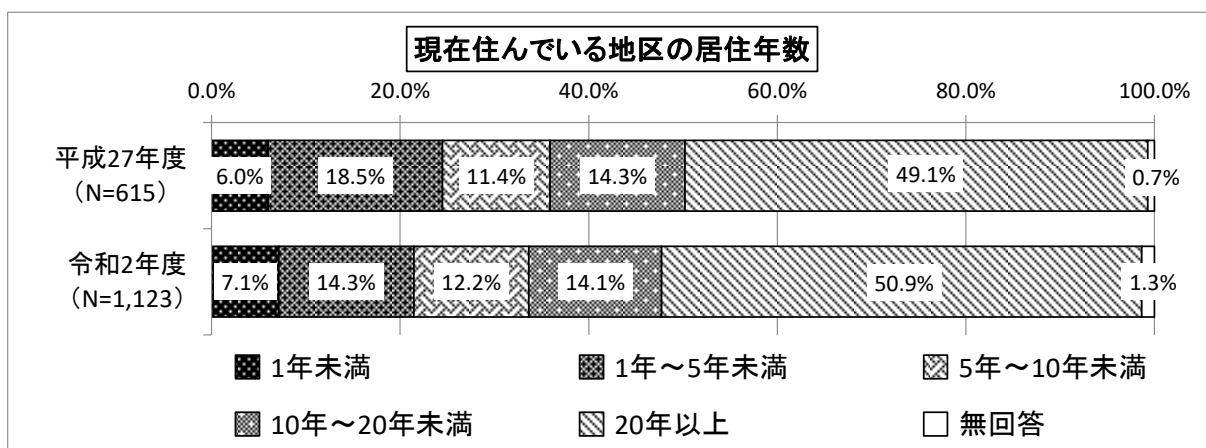
前回調査（H27年度）と比較すると、「60代及び70代」の回答割合が高く、「20～40代」が低くなっています。



F 4 現在お住まいの地区に住んで通算して何年になりますか。

宮古島市での居住年数については、「20年以上」が50.9%で最も多くなっています。次いで「1年～5年未満」の14.3%、「10年～20年未満」の14.1%、「5年～10年未満」の12.2%、「1年未満」の7.1%と続いています。

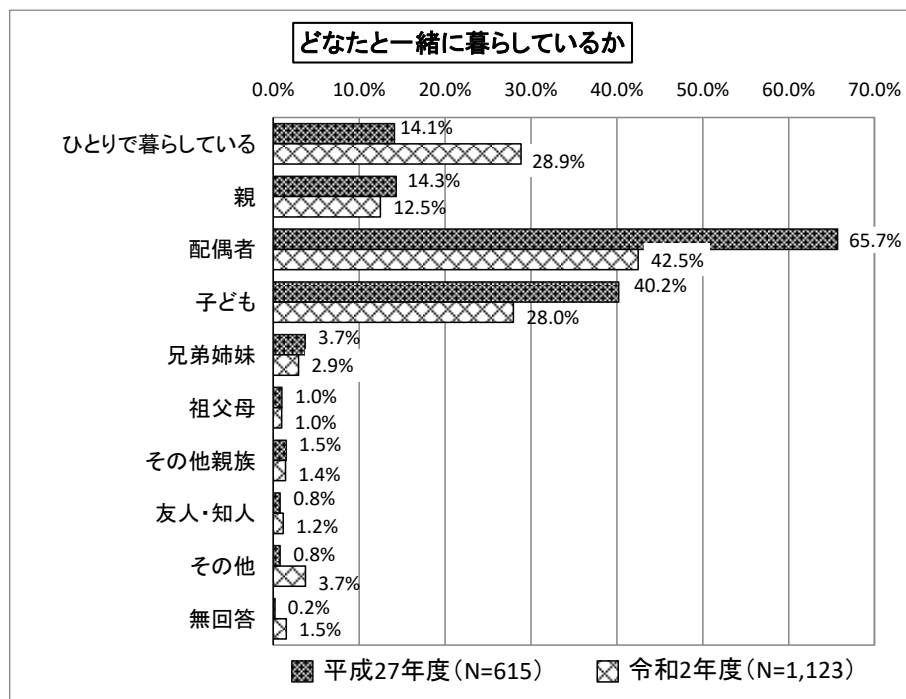
前回調査（H27年度）と比べても、居住年数が「20年以上」が最も高い割合となっているなど、違いがみられません。



F 5 あなたは、現在どなたかと一緒に暮らしていますか。

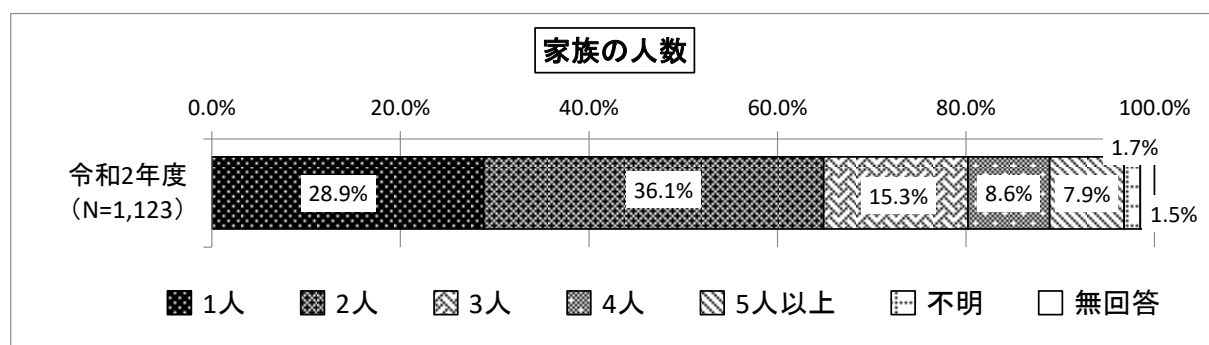
現在どなたかと一緒に暮らしているかについては、「配偶者」が42.5%で最も多くなっています。次いで「ひとりで暮らしている」の28.9%、「子ども」の28.0%、「親」の12.5%、「その他」の3.7%と続いています。

前回調査（H27年度）と比較すると、「配偶者」「子ども」が割合が高いところは変わらないものの、今回調査では「ひとりで暮らしている」との回答割合が前回調査の2倍となっています。



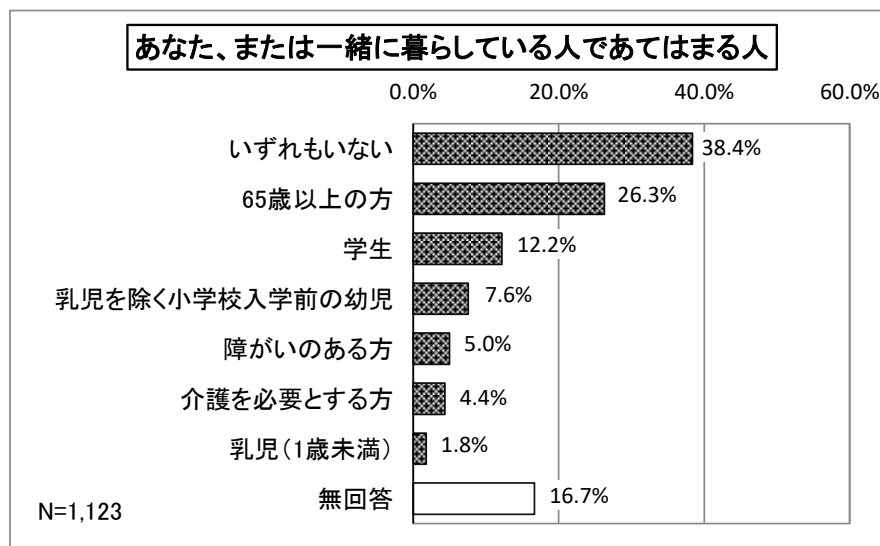
F 5-1 あなたと一緒に暮らしている家族は何人ですか。（前回調査では設問なし）

一緒に暮らしている家族の人数については、「2人」が36.1%で最も多くなっています。次いで「1人」の28.9%、「3人」の15.3%、「4人」の8.6%、「5人以上」の7.9%と続いています。



F 5-2 あなた、または一緒に暮らしている人で、次にあてはまる方はいますか。（前回調査では設問なし）

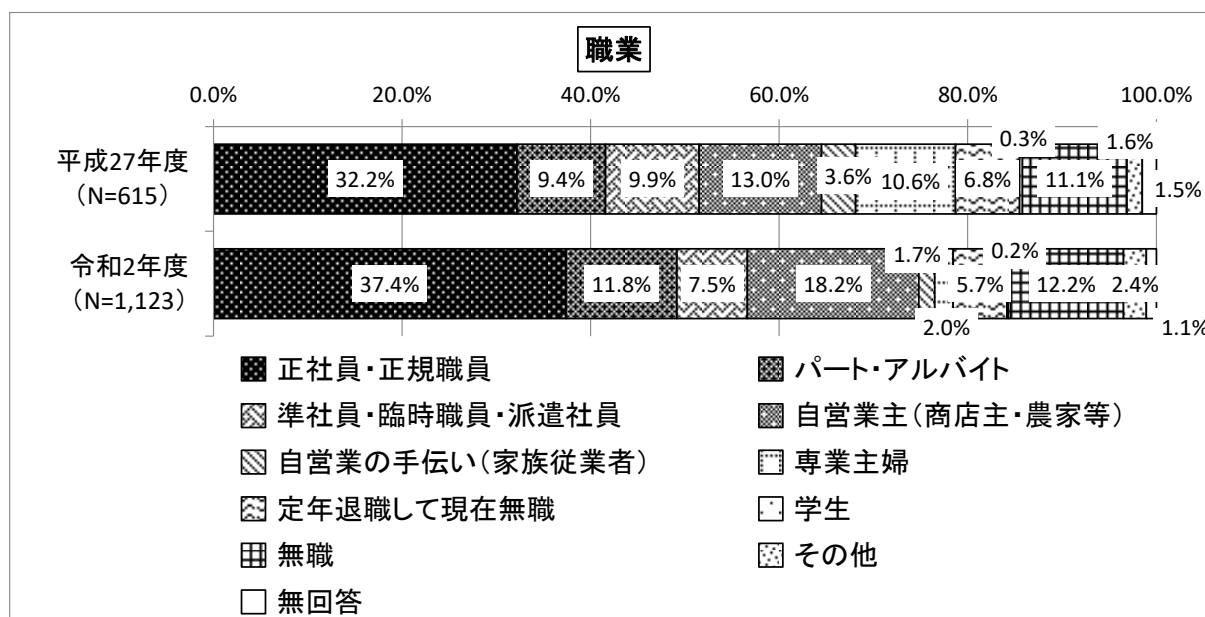
あなた、または一緒に暮らしている人であてはまる人については、「いずれもない」が38.4%で最も多くなっています。次いで「65歳以上の方」の26.3%、「学生」の12.2%、「乳児を除く小学校入学前の幼児」の7.6%、「障がいのある方」の5.0%と続いています。



F 6 職業は次のうちどれですか。

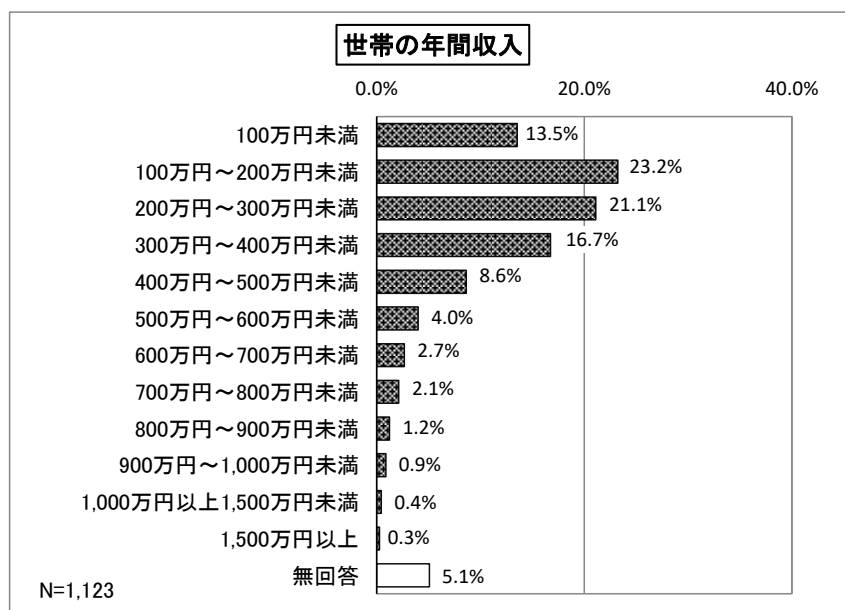
職業については、「正社員・正規職員」が37.4%で最も多くなっています。次いで「自営業主（商店主・農家等）」の18.2%、「無職」の12.2%、「パート・アルバイト」の11.8%、「準社員・臨時職員・派遣社員」の7.5%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、「正社員・正規職員」が最も高い割合となっているなど大きな違いは見られません。



F 6-1 世帯全体のおおよその年間収入（手取り額）はいくらですか。（前回調査では設問なし）

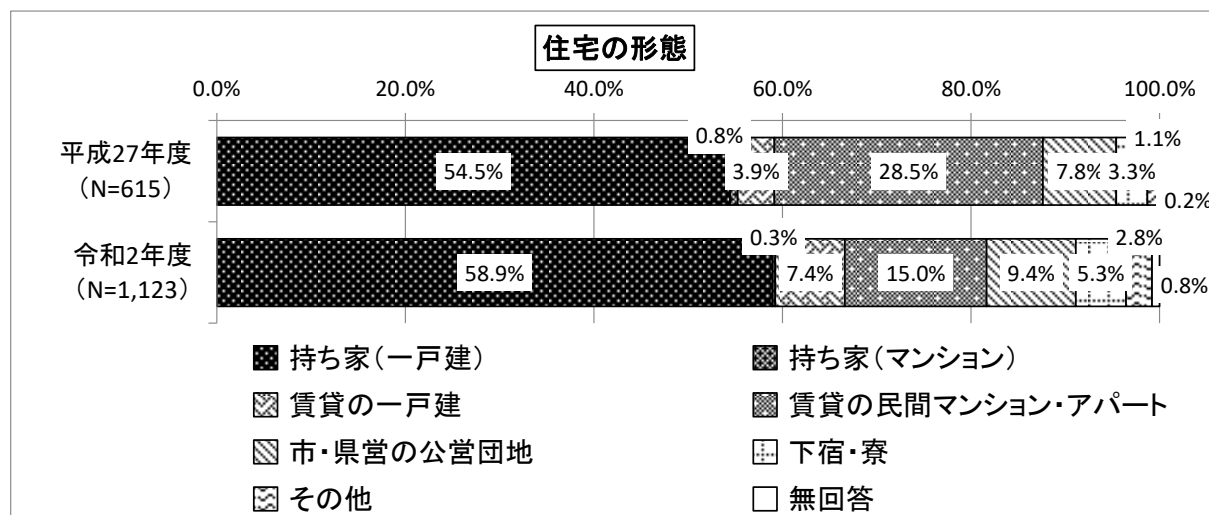
世帯全体の年収については、「100万円～200万円未満」が23.2%で最も多くなっています。次いで「200万円～300万円未満」の21.1%、「300万円～400万円未満」の16.7%、「100万円未満」の13.5%、「400万円～500万円未満」の8.6%と続いています。



F 7 現在お住まいの住宅の形態

住んでいる住宅の形態については、「持ち家（一戸建）」が58.9%と過半数を占め最も多くなっています。次いで「賃貸の民間マンション・アパート」の15.0%、「市・県営の公営団地」の9.4%、「賃貸の一戸建」の7.4%、「下宿・寮」の5.3%と続いています。

前回調査（H27年度）と比較すると、「持ち家（一戸建）」が最も高い割合であるのは変わらないものの、「賃貸の民間マンション・アパート」が10ポイント以上減少したのに対し、「持ち家（マンション）」「市・県営の公営団地」「下宿・寮」の割合が増加しています。

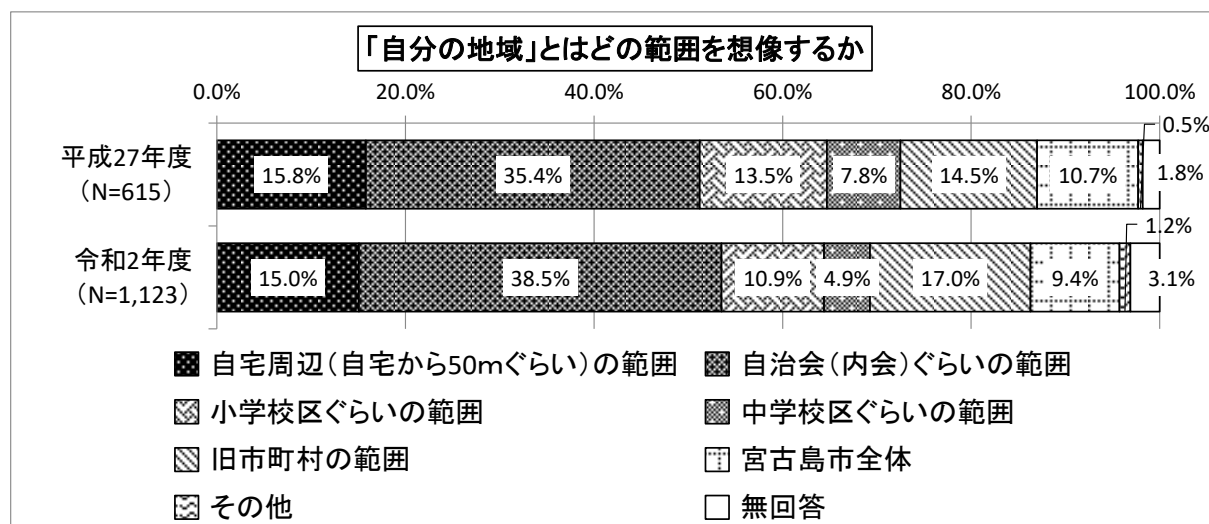


2. あなたと地域生活について

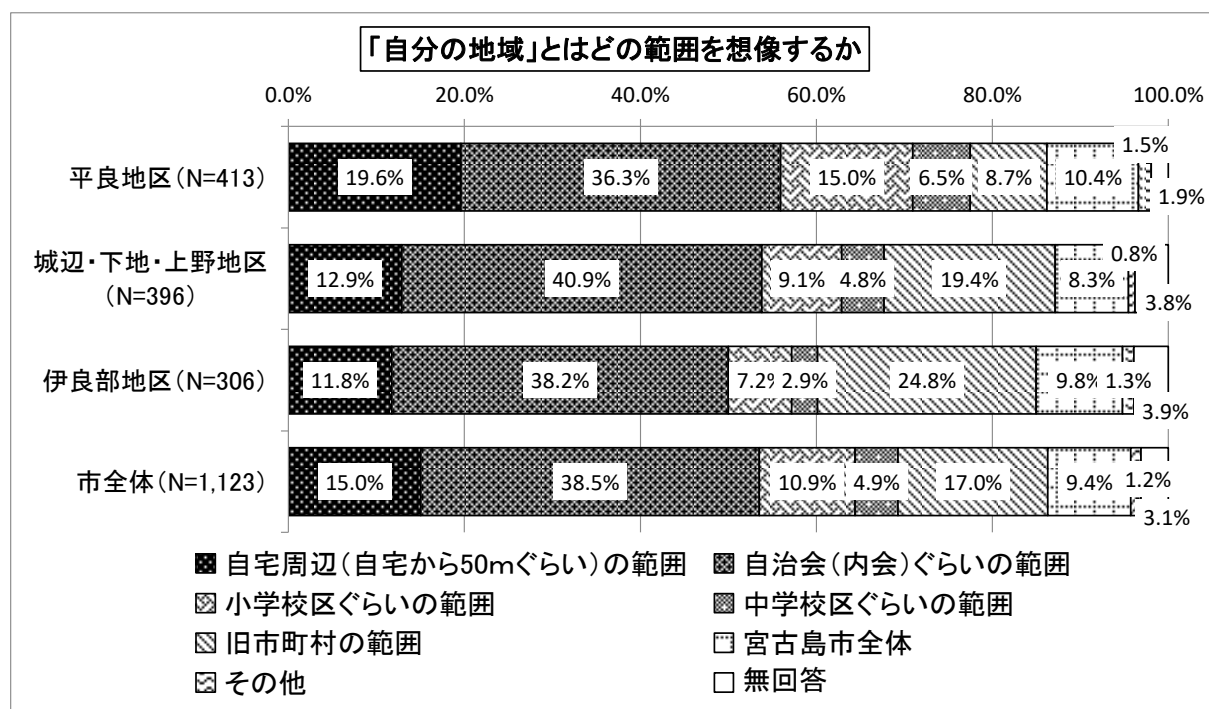
問1 「自分の地域」とは、あなたにとってどの範囲を想像しますか。

「自分の地域」とは、どの範囲を想像するかについては、「自治会(内会)ぐらいの範囲」が38.5%で最も多くなっています。次いで「旧市町村の範囲」の17.0%、「自宅周辺(自宅から50mぐらい)の範囲」の15.0%、「小学校区ぐらいの範囲」の10.9%、「宮古島市全体」の9.4%と続いています。

前回調査(H27年度)と比べて、想像する「自分の地域」の範囲に大きな違いは見られません。



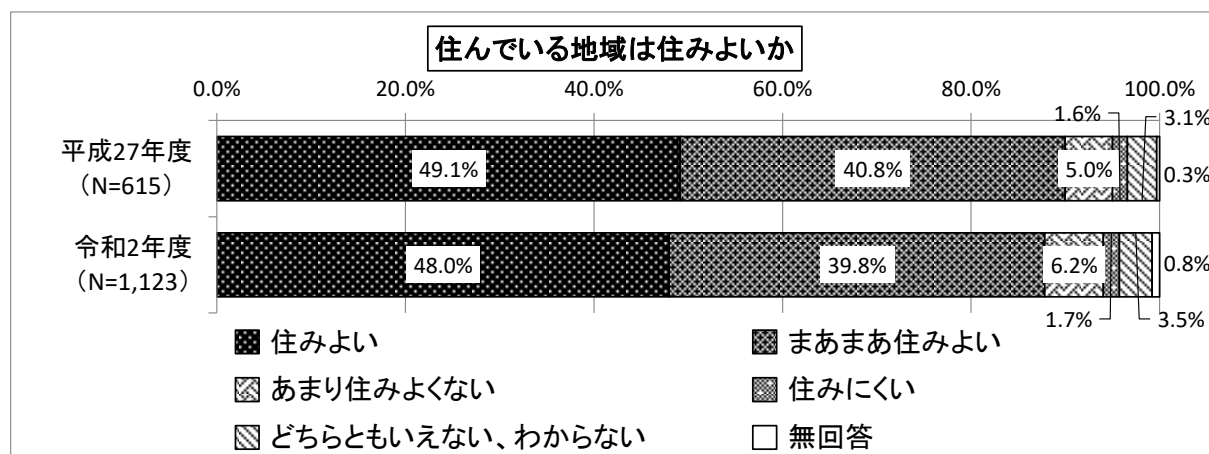
地区別にみると、どの地区においても「自治会(内会)ぐらいの範囲」が最も多くなっています。次いで多いのは、平良地区では「自宅周辺の範囲」なのに対し、城辺・下地・上野地区及び伊良部地区では「旧市町村の範囲」となっており、特に伊良部地区での割合が高くなっています。



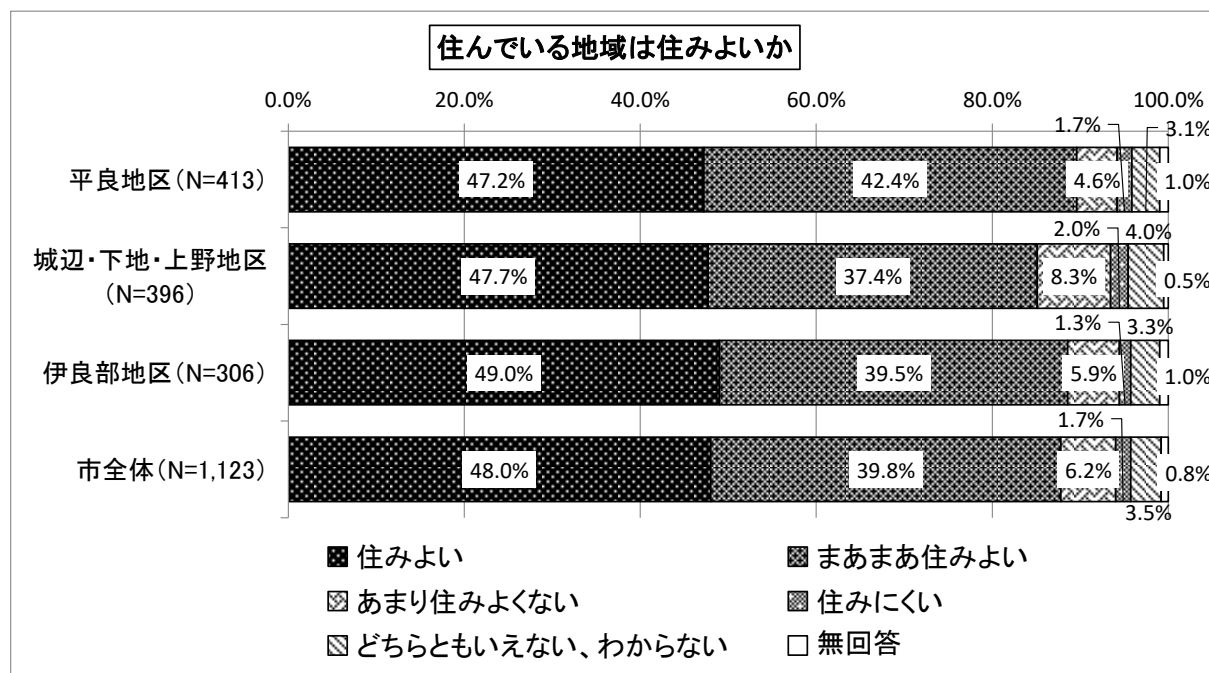
問2 お住まいの地域は住みよいですか。

住んでいる地域は住みよいかについては、「住みよい」が48.0%で最も多くなっています。次いで「まあまあ住みよい」の39.8%、「あまり住みよくない」の6.2%、「どちらともいえない、わからない」の3.5%、「住みにくい」の1.7%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、同様に「住みよい」「まあまあ住みよい」の割合が高く、大きな違いは見られません。



地区別にみても、どの地区でも「住みよい」「まあまあ住みよい」の割合が高くなっています。



問2-1 「住みよい」、「まあまあ住みよい」と回答した理由をおたずねします。

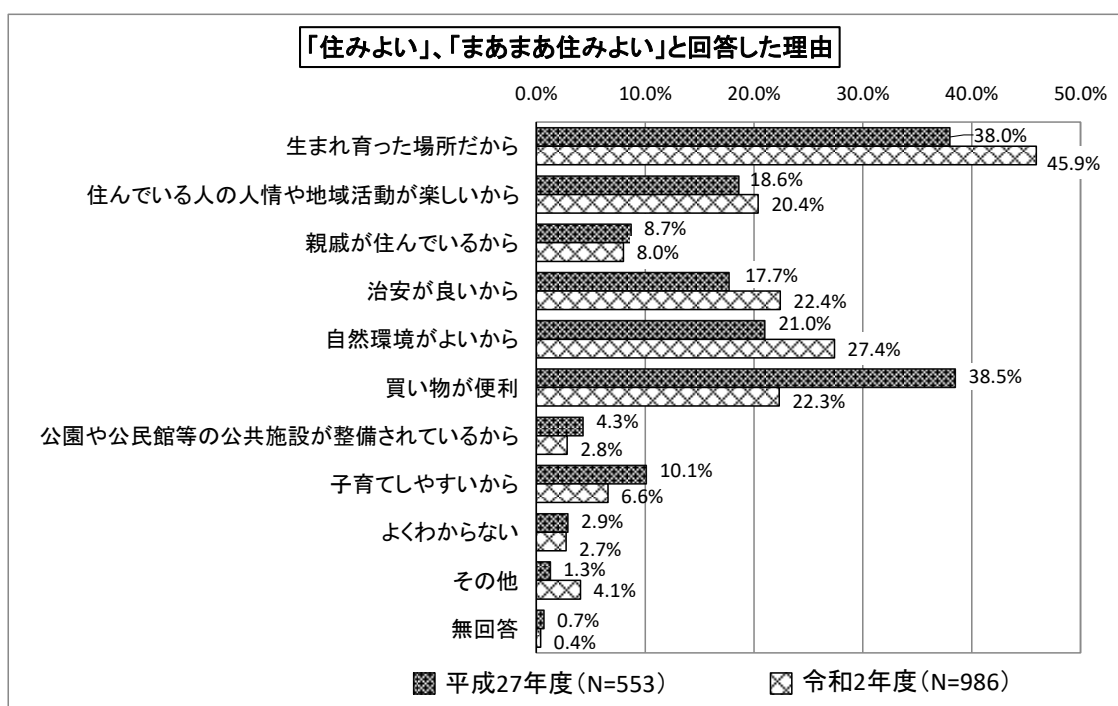
《問2で「住みよい」、「まあまあ住みよい」のいずれかを回答した方》

「住みよい」、「まあまあ住みよい」のいずれかを回答した理由については、「生まれ育った場所だから」が45.9%で第1位となっています。第2位は「自然環境がよいから」の27.4%、第3位は「治安が良いから」の22.4%、第4位は「買い物が便利」の22.3%、第5位は「住んでいる人の人情や地域活動が楽しいから」の20.4%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、順番の違いはあるものの、上位5位に入っている項目に大きな違いは見られません。

「住みよい」、「まあまあ住みよい」と回答した理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=553)	買い物が便利 38.5%	生まれ育った場所だから 38.0%	自然環境がよいから 21.0%	住んでいる人の人情 や地域活動が楽しい から 18.6%	治安が良いから 17.7%
令和2年度 (N=986)	生まれ育った場所だ から 45.9%	自然環境がよいから 27.4%	治安が良いから 22.4%	買い物が便利 22.3%	住んでいる人の人情 や地域活動が楽しい から 20.4%



地区別にみると、平良地区では「買い物が便利」の割合が最も高くなっているものの、他の2地区では「生まれ育った場所だから」が最も高くなっています。また、その2地区においては「買い物が便利」の項目は上位5位に入っていません。

地区(3区分)×「住みよい」、「まあまあ住みよい」と回答した理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=370)	買い物が便利 48.6%	生まれ育った場所だから 29.5%	治安が良いから 22.4%	自然環境がよいから 19.7%	住んでいる人の人情や地域活動が楽しいから 12.7%
城辺・下地・上野地区 (N=337)	生まれ育った場所だから 45.7%	自然環境がよいから 38.6%	治安が良いから 25.5%	住んでいる人の人情や地域活動が楽しいから 22.0%	子育てしやすいから 8.9%
伊良部地区 (N=271)	生まれ育った場所だから 68.6%	住んでいる人の人情や地域活動が楽しいから 29.2%	自然環境がよいから 24.7%	治安が良いから 18.8%	親戚が住んでいるから 11.8%
市全体 (N=986)	生まれ育った場所だから 45.9%	自然環境がよいから 27.4%	治安が良いから 22.4%	買い物が便利 22.3%	住んでいる人の人情や地域活動が楽しいから 20.4%

地区(3区分)×「住みよい」、「まあまあ住みよい」と回答した理由

		生まれ育った場所だから	住んでいる人の人情や地域活動が楽しいから	親戚が住んでいるから	治安が良いから	自然環境がよいから	買い物が便利	公園や公民館等の公共施設が整備されているから
平良地区 (N=370)	回答件数	109	47	23	83	73	180	17
	%	29.5%	12.7%	6.2%	22.4%	19.7%	48.6%	4.6%
城辺・下地・上野地区 (N=337)	回答件数	154	74	22	86	130	24	9
	%	45.7%	22.0%	6.5%	25.5%	38.6%	7.1%	2.7%
伊良部地区 (N=271)	回答件数	186	79	32	51	67	13	2
	%	68.6%	29.2%	11.8%	18.8%	24.7%	4.8%	0.7%
市全体 (N=986)	回答件数	453	201	79	221	270	220	28
	%	45.9%	20.4%	8.0%	22.4%	27.4%	22.3%	2.8%

		子育てしやすいから	よくわからない	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=370)	回答件数	20	11	22	3	588	370
	%	5.4%	3.0%	5.9%	0.8%	158.9%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=337)	回答件数	30	10	15	1	555	337
	%	8.9%	3.0%	4.5%	0.3%	164.7%	100.0%
伊良部地区 (N=271)	回答件数	15	6	3	0	454	271
	%	5.5%	2.2%	1.1%	0.0%	167.5%	100.0%
市全体 (N=986)	回答件数	65	27	40	4	1,608	986
	%	6.6%	2.7%	4.1%	0.4%	163.1%	100.0%

問2-2 「あまり住みよくない」、「住みにくい」と回答した理由をおたずねします。

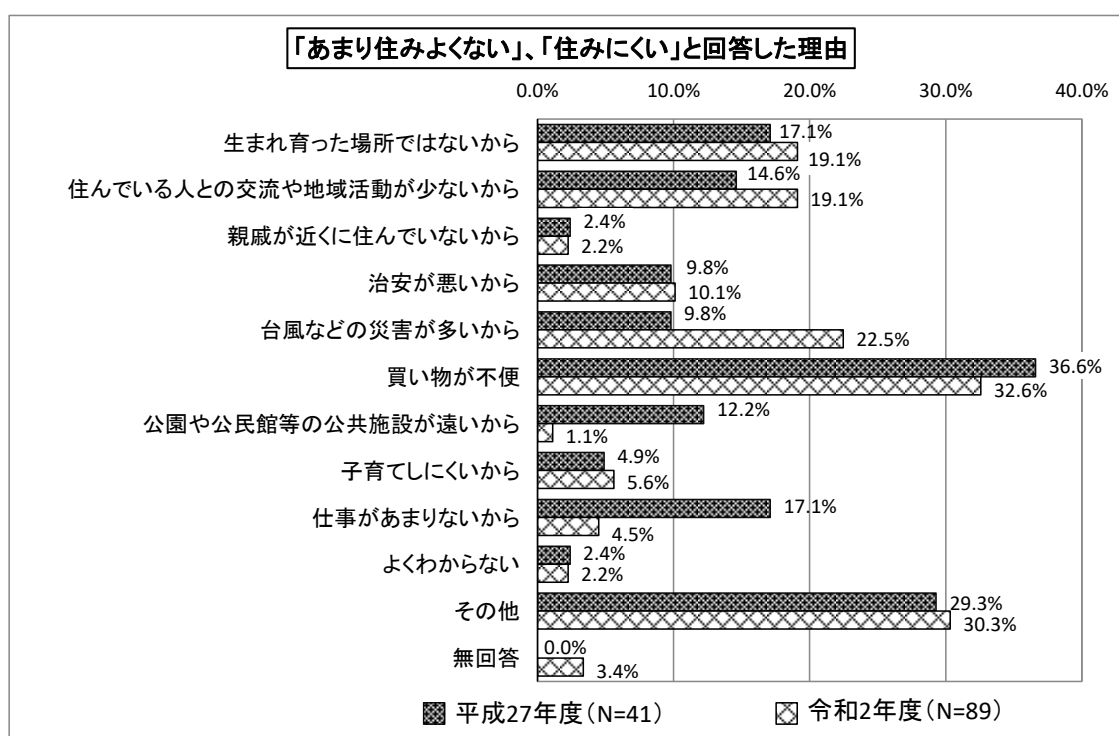
《問2で「あまり住みよくない」、「住みにくい」のいずれかを回答した方》

「あまり住みよくない」、「住みにくい」と回答した方の割合は少ないものの、その理由については、「買い物が不便」が32.6%で第1位となっています。第2位は「その他」の30.3%、第3位は「台風などの災害が多いから」の22.5%、第4位は「生まれ育った場所ではないから」および「住んでいる人との交流や地域活動が少ないから」が同率で19.1%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、同様に「買い物が不便」という理由が最も多くなっています。

「あまり住みよくない」、「住みにくい」と回答した理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=41)	買い物が不便 36.6%	その他 29.3%	・生まれ育った場所ではないから ・仕事が少ないから 17.1%	住んでいる人との交流や地域活動が少ないから 14.6%	
令和2年度 (N=89)	買い物が不便 32.6%	その他 30.3%	台風などの災害が多いから 22.5%	・生まれ育った場所ではないから ・住んでいる人との交流や地域活動が少ないから 19.1%	



地区別でみても、上位5位の項目に大きな違いはなく、「買い物が不便」「その他」「台風などの被害が多いから」が上位となっています。

地区(3区分)×「あまり住みよくない」、「住みにくい」と回答した理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=26)	その他 50.0%	・住んでいる人との交流や地域活動が少ないから ・台風などの災害が多いから 23.1%		・生まれ育った場所ではないから ・買い物が不便 19.2%	
城辺・下地・ 上野地区 (N=41)	買い物が不便 43.9%	生まれ育った場所ではないから 19.5%	・台風などの災害が多いから ・その他 17.1%		住んでいる人との交流や地域活動が少ないから 14.6%
伊良部地区 (N=22)	・台風などの災害が多いから ・その他 31.8%		買い物が不便 27.3%	住んでいる人との交流や地域活動が少ないから 22.7%	生まれ育った場所ではないから 18.2%
市全体 (N=89)	買い物が不便 32.6%	その他 30.3%	台風などの災害が多いから 22.5%	・生まれ育った場所ではないから ・住んでいる人との交流や地域活動が少ないから 19.1%	

地区(3区分)×「あまり住みよくない」、「住みにくい」と回答した理由

		生まれ育った場所ではないから	住んでいる人との交流や地域活動が少ないから	親戚が近くに住んでいないから	治安が悪いから	台風などの災害が多いから	買い物が不便	公園や公民館等の公共施設が遠いから
平良地区 (N=26)	回答件数 %	5 19.2%	6 23.1%	1 3.8%	2 7.7%	6 23.1%	5 19.2%	0 0.0%
城辺・下地・上野地区 (N=41)	回答件数 %	8 19.5%	6 14.6%	1 2.4%	4 9.8%	7 17.1%	18 43.9%	0 0.0%
伊良部地区 (N=22)	回答件数 %	4 18.2%	5 22.7%	0 0.0%	3 13.6%	7 31.8%	6 27.3%	1 4.5%
市全体 (N=89)	回答件数 %	17 19.1%	17 19.1%	2 2.2%	9 10.1%	20 22.5%	29 32.6%	1 1.1%

		子育てしにくいから	仕事があまりないから	よくわからない	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=26)	回答件数 %	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	13 50.0%	1 3.8%	42 161.5%	26 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=41)	回答件数 %	2 4.9%	2 4.9%	0 0.0%	7 17.1%	2 4.9%	57 139.0%	41 100.0%
伊良部地区 (N=22)	回答件数 %	1 4.5%	1 4.5%	2 9.1%	7 31.8%	0 0.0%	37 168.2%	22 100.0%
市全体 (N=89)	回答件数 %	5 5.6%	4 4.5%	2 2.2%	27 30.3%	3 3.4%	136 152.8%	89 100.0%

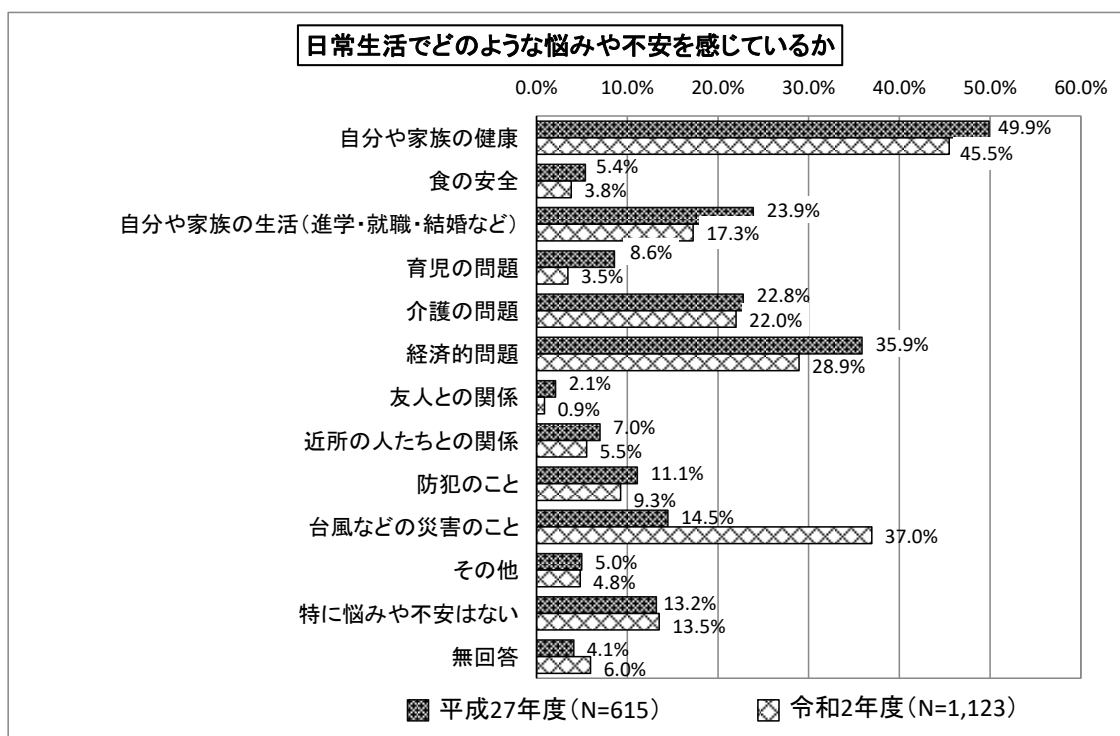
問3 日常生活の中でどのような悩みや不安を感じていますか。

日常生活の中でどのような悩みや不安を感じているかについては、「自分や家族の健康」が45.5%で第1位となっています。第2位は「台風などの災害のこと」の37.0%、第3位は「経済的問題」の28.9%、第4位は「介護の問題」の22.0%、第5位は「自分や家族の生活（進学・就職・結婚など）」の17.3%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、順番の違いはあるものの、上位5位に入っている項目に大きな違いは見られません。ただし、「台風などの災害のこと」の割合が高くなっており、市民の関心が高くなっていることがうかがえます。

日常生活でどのような悩みや不安を感じているか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	自分や家族の健康 49.9%	経済的問題 35.9%	自分や家族の生活 (進学・就職・結婚など) 23.9%	介護の問題 22.8%	台風などの災害のこと 14.5%
令和2年度 (N=1,123)	自分や家族の健康 45.5%	台風などの災害のこと 37.0%	経済的問題 28.9%	介護の問題 22.0%	自分や家族の生活 (進学・就職・結婚など) 17.3%



地区別にみると、どの地区でも上位5位の項目に大きな違いはなく、「自分や家族の健康」「台風などの災害のこと」「経済的問題」が上位となっています。

地区(3区分)×日常生活でどのような悩みや不安を感じているか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	自分や家族の健康 46.0%	台風などの災害のこと 32.7%	経済的問題 28.8%	・自分や家族の生活(進学・就職・結婚など) ・介護の問題 20.1%	
城辺・下地・上野地区 (N=396)	台風などの災害のこと 42.7%	自分や家族の健康 41.4%	経済的問題 29.8%	介護の問題 21.5%	自分や家族の生活(進学・就職・結婚など) 15.9%
伊良部地区 (N=306)	自分や家族の健康 49.7%	台風などの災害のこと 35.3%	経済的問題 28.1%	介護の問題 25.8%	自分や家族の生活(進学・就職・結婚など) 15.4%
市全体 (N=1,123)	自分や家族の健康 45.5%	台風などの災害のこと 37.0%	経済的問題 28.9%	介護の問題 22.0%	自分や家族の生活(進学・就職・結婚など) 17.3%

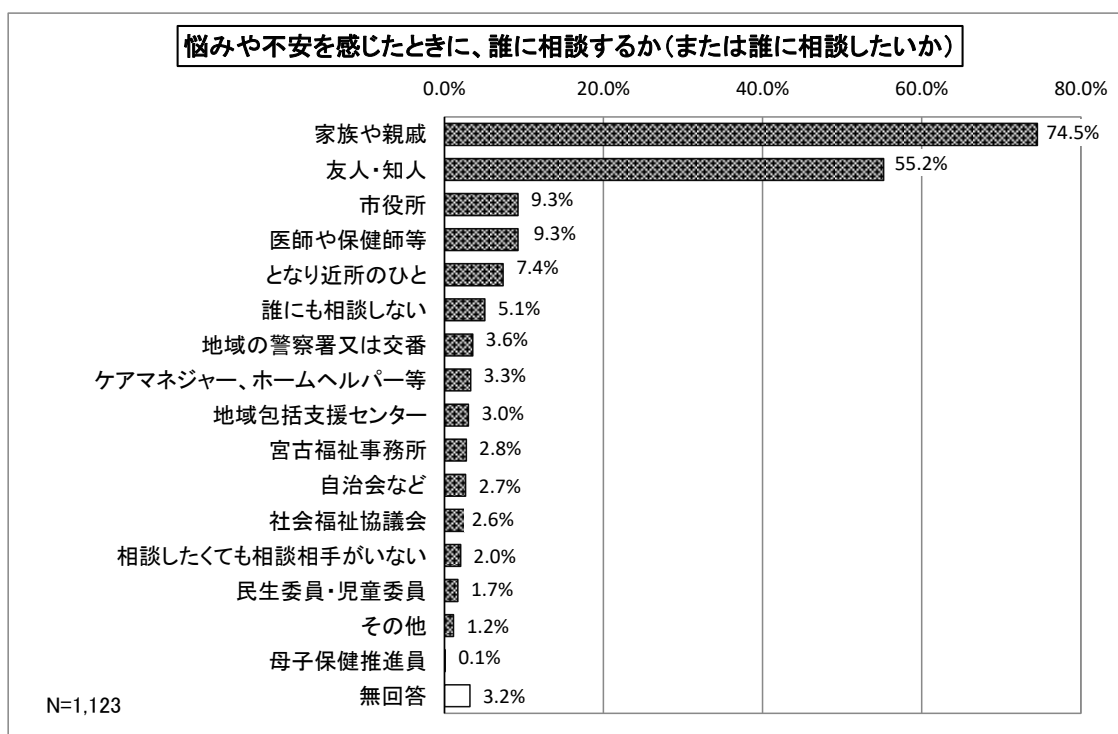
地区(3区分)×日常生活でどのような悩みや不安を感じているか

		自分や家族の健康	食の安全	自分や家族の生活(進学・就職・結婚など)	育児の問題	介護の問題	経済的問題	友人との関係	近所の人たちとの関係
平良地区 (N=413)	回答件数	190	15	83	23	83	119	5	18
	%	46.0%	3.6%	20.1%	5.6%	20.1%	28.8%	1.2%	4.4%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	164	19	63	10	85	118	4	30
	%	41.4%	4.8%	15.9%	2.5%	21.5%	29.8%	1.0%	7.6%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	152	9	47	6	79	86	1	14
	%	49.7%	2.9%	15.4%	2.0%	25.8%	28.1%	0.3%	4.6%
市全体 (N=1,123)	回答件数	511	43	194	39	247	325	10	62
	%	45.5%	3.8%	17.3%	3.5%	22.0%	28.9%	0.9%	5.5%

		防犯のこと	台風などの災害のこと	その他	特に悩みや不安はない	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=413)	回答件数	32	135	31	64	23	821	413
	%	7.7%	32.7%	7.5%	15.5%	5.6%	198.8%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	42	169	16	49	23	792	396
	%	10.6%	42.7%	4.0%	12.4%	5.8%	200.0%	100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	28	108	7	39	20	596	306
	%	9.2%	35.3%	2.3%	12.7%	6.5%	194.8%	100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数	104	415	54	152	67	2,223	1,123
	%	9.3%	37.0%	4.8%	13.5%	6.0%	198.0%	100.0%

問3-1 あなたが悩みや不安を感じたときに主に、誰に相談しますか（または誰に相談したいと思いますか）。（前回調査では設問なし）

悩みや不安を感じたときに主に誰に相談するか、または誰に相談したいかについては、「家族や親戚」が74.5%で第1位となっています。第2位は「友人・知人」の55.2%、第3位は「市役所」および「医師や保健師等」が同率で9.3%、第5位は「となり近所のひと」の7.4%と続いています。



地区別にみると、どの地区でも「家族や親戚」「友人・知人」の割合が高くなっています。

地区（3区分）×悩みや不安を感じたときに主に、誰に相談するか（または誰に相談したいか） 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	家族や親戚 74.3%	友人・知人 58.8%	市役所 10.7%	医師や保健師等 7.3%	誰にも相談しない 5.1%
城辺・下地・ 上野地区 (N=396)	家族や親戚 71.0%	友人・知人 55.6%	医師や保健師等 7.6%	となり近所のひと 7.3%	市役所 6.6%
伊良部地区 (N=306)	家族や親戚 79.7%	友人・知人 51.0%	医師や保健師等 13.7%	となり近所のひと 11.1%	市役所 10.8%
市全体 (N=1,123)	家族や親戚 74.5%	友人・知人 55.2%	・市役所 ・医師や保健師等 9.3%	となり近所のひと 7.4%	

地区(3区分)×悩みや不安を感じたときに主に、誰に相談するか(または誰に相談したいか)

		家族や 親戚	友人・知 人	となり近 所のひと	自治会 など	市役所	社会福 祉協議 会	民生委 員・児童 委員	地域包 括支援 センター	ケアマネ ジャー、 ホーム ヘル パー等	宮古福 祉事務 所
平良地区 (N=413)	回答件数	307	243	20	7	44	10	5	17	12	14
	%	74.3%	58.8%	4.8%	1.7%	10.7%	2.4%	1.2%	4.1%	2.9%	3.4%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	281	220	29	9	26	13	7	7	15	7
	%	71.0%	55.6%	7.3%	2.3%	6.6%	3.3%	1.8%	1.8%	3.8%	1.8%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	244	156	34	14	33	6	7	10	10	10
	%	79.7%	51.0%	11.1%	4.6%	10.8%	2.0%	2.3%	3.3%	3.3%	3.3%
市全体 (N=1,123)	回答件数	837	620	83	30	104	29	19	34	37	31
	%	74.5%	55.2%	7.4%	2.7%	9.3%	2.6%	1.7%	3.0%	3.3%	2.8%

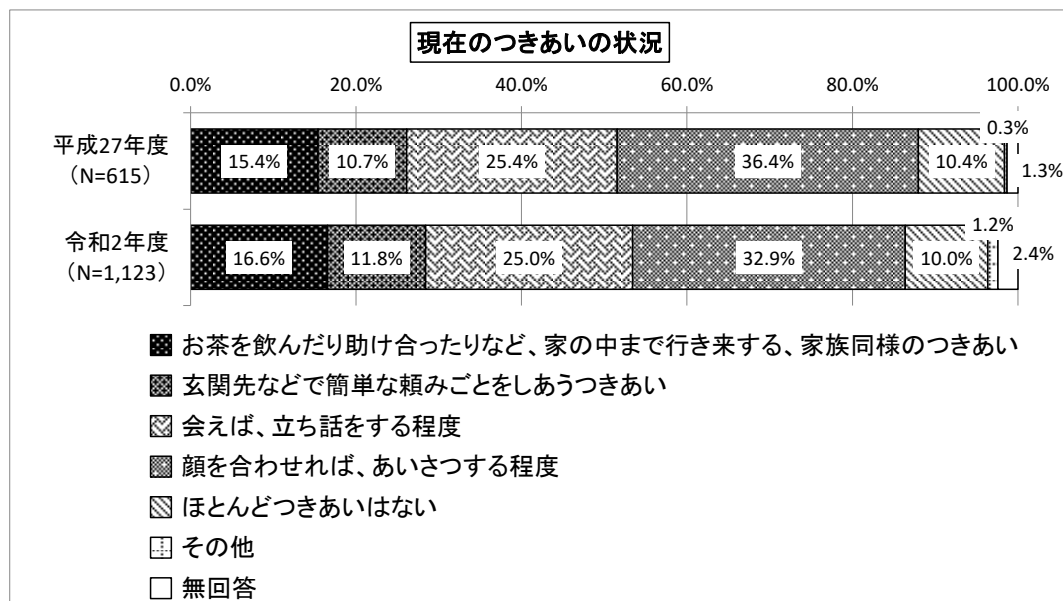
		医師や 保健師 等	地域の 警察署 又は交 番	母子保 健推進 員	誰にも 相談しな い	相談した くても相 談相手 がいな い	その他	無回答	回答 件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=413)	回答件数	30	16	0	21	11	7	13	777	413
	%	7.3%	3.9%	0.0%	5.1%	2.7%	1.7%	3.1%	188.1%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	30	10	0	18	7	5	14	698	396
	%	7.6%	2.5%	0.0%	4.5%	1.8%	1.3%	3.5%	176.3%	100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	42	14	0	16	5	1	8	610	306
	%	13.7%	4.6%	0.0%	5.2%	1.6%	0.3%	2.6%	199.3%	100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数	104	40	1	57	23	13	36	2,098	1,123
	%	9.3%	3.6%	0.1%	5.1%	2.0%	1.2%	3.2%	186.8%	100.0%

問4 近所の方々と、どの程度のおつきあいをしていますか。

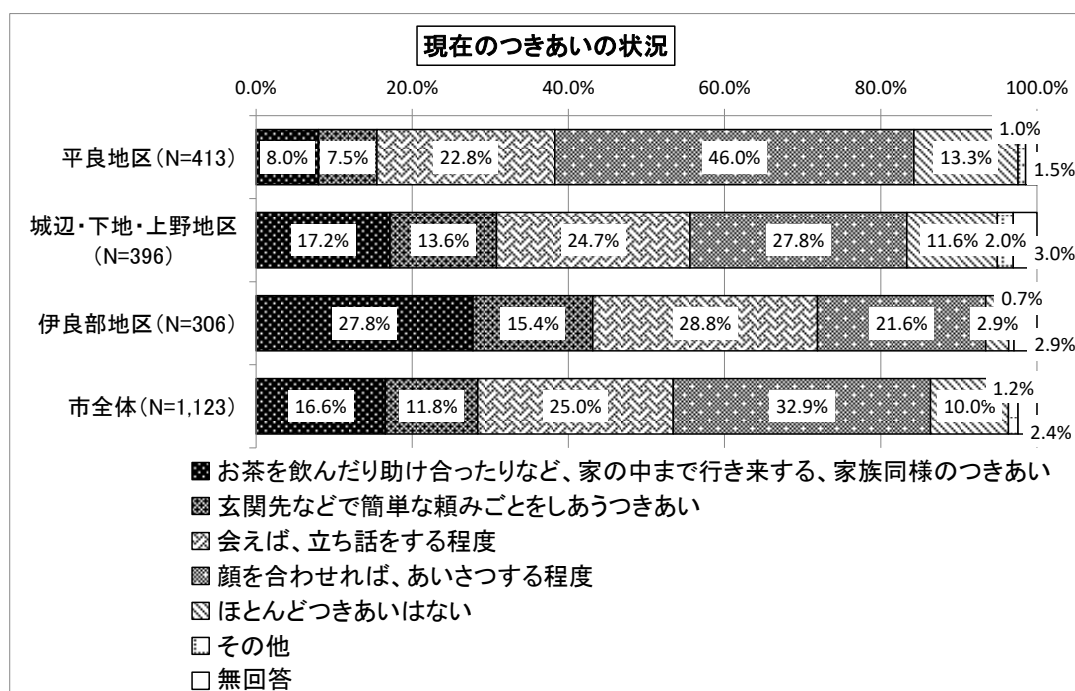
【現在のつきあい】

近所の方々と現在のつきあいの状況については、「顔を合わせれば、あいさつする程度」が32.9%で最も多くなっています。次いで「会えば、立ち話をする程度」の25.0%、「お茶を飲んだり助け合ったりなど、家の中まで行き来する、家族同様のつきあい」の16.6%、「玄関先などで簡単な頼みごとをしあうつきあい」の11.8%、「ほとんどつきあいはない」の10.0%と続いています。

前回調査（H27年度）と同様に「顔を合わせれば、あいさつする程度」及び「会えば立ち話をする程度」の割合が高くなっています。



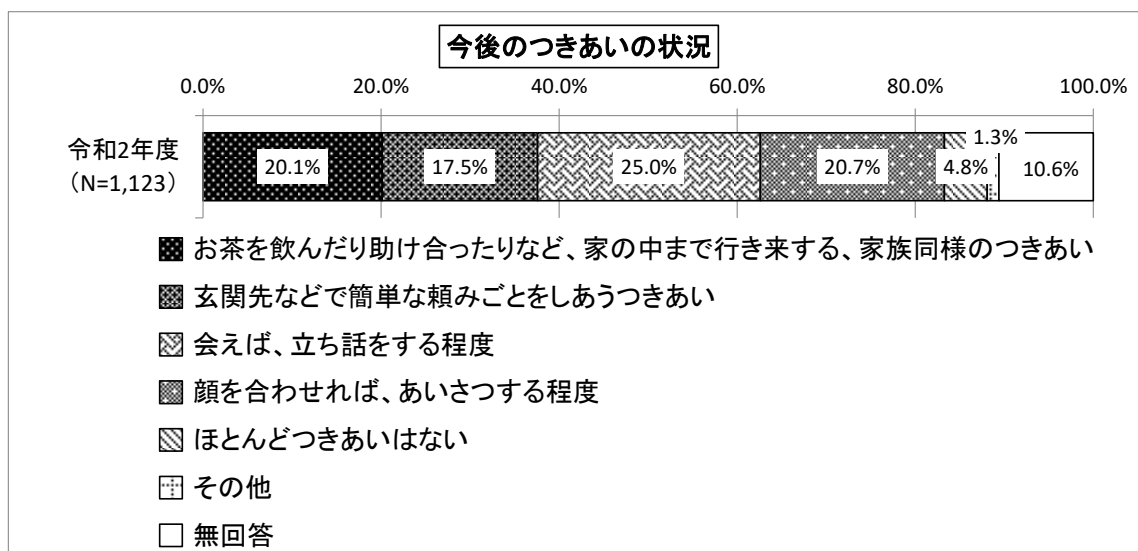
地区別にみると、どの地区でも概ね「顔を合わせれば、あいさつする程度」及び「会えば立ち話をする程度」の割合が高くなっていますが、伊良部地区では「お茶を飲んだり助け合ったりなど、家の中まで行き来する、家族同様のつきあい」の割合が他の地区に比べて高くなっています。



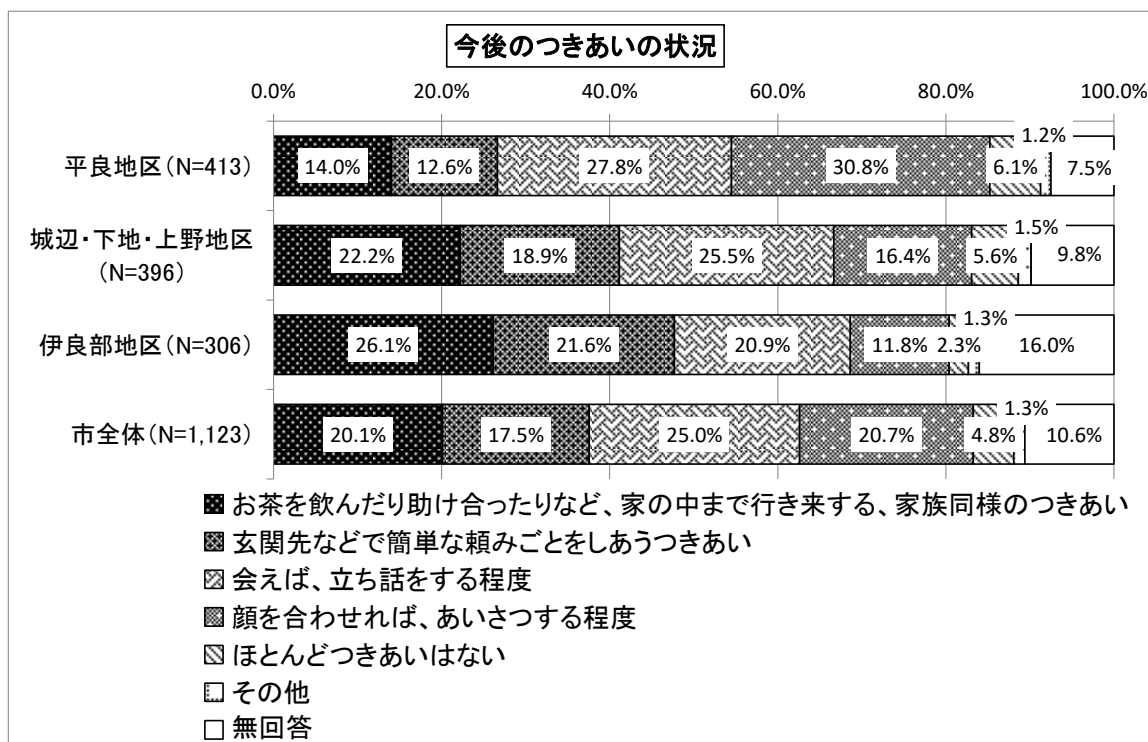
【今後のつきあい】（前回調査では設問なし）

今後のつきあいの意向については、「会えば、立ち話をする程度」が25.0%で最も多くなっています。次いで「顔を合わせれば、あいさつする程度」の20.7%、「お茶を飲んだり助け合ったりなど、家の中まで行き来する、家族同様のつきあい」の20.1%、「玄関先などで簡単な頼みごとをしあうつきあい」の17.5%、「ほとんどつきあいはない」の4.8%と続いています。

現在のつきあいの状況で多い「会えば、立ち話をする程度」及び「顔を合わせれば、あいさつする程度」より、今後はもう一歩深いつきあいである「お茶を飲んだり助け合ったりなど、家の中まで行き来する、家族同様のつきあい」を求めている回答も増えています。



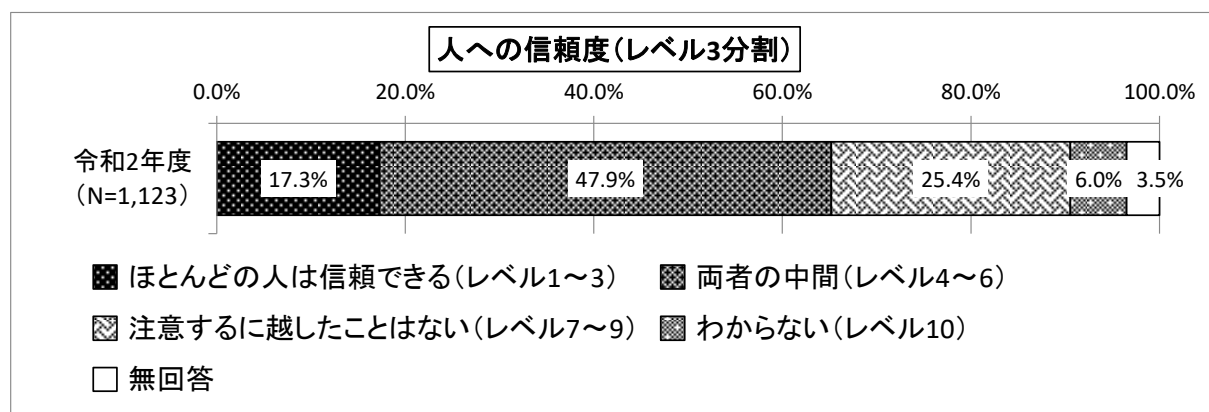
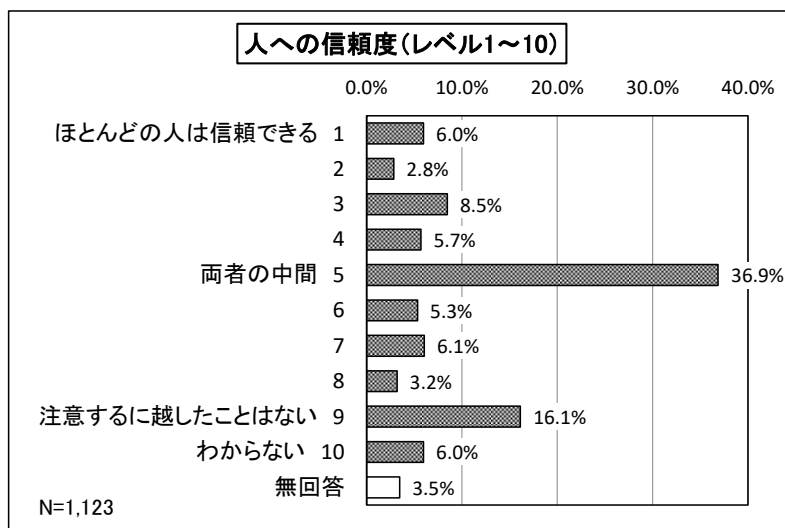
地区別でも、伊良部地区を除き「お茶を飲んだり助け合ったりなど、家の中まで行き来する、家族同様のつきあい」及び「顔を合わせれば、あいさつする程度」の割合が増加しています。



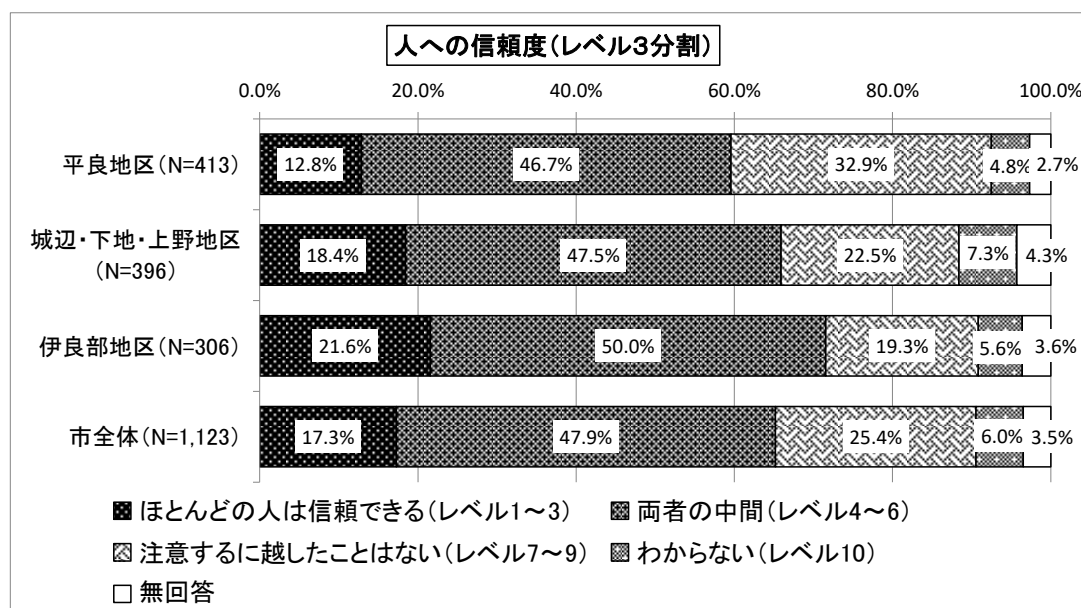
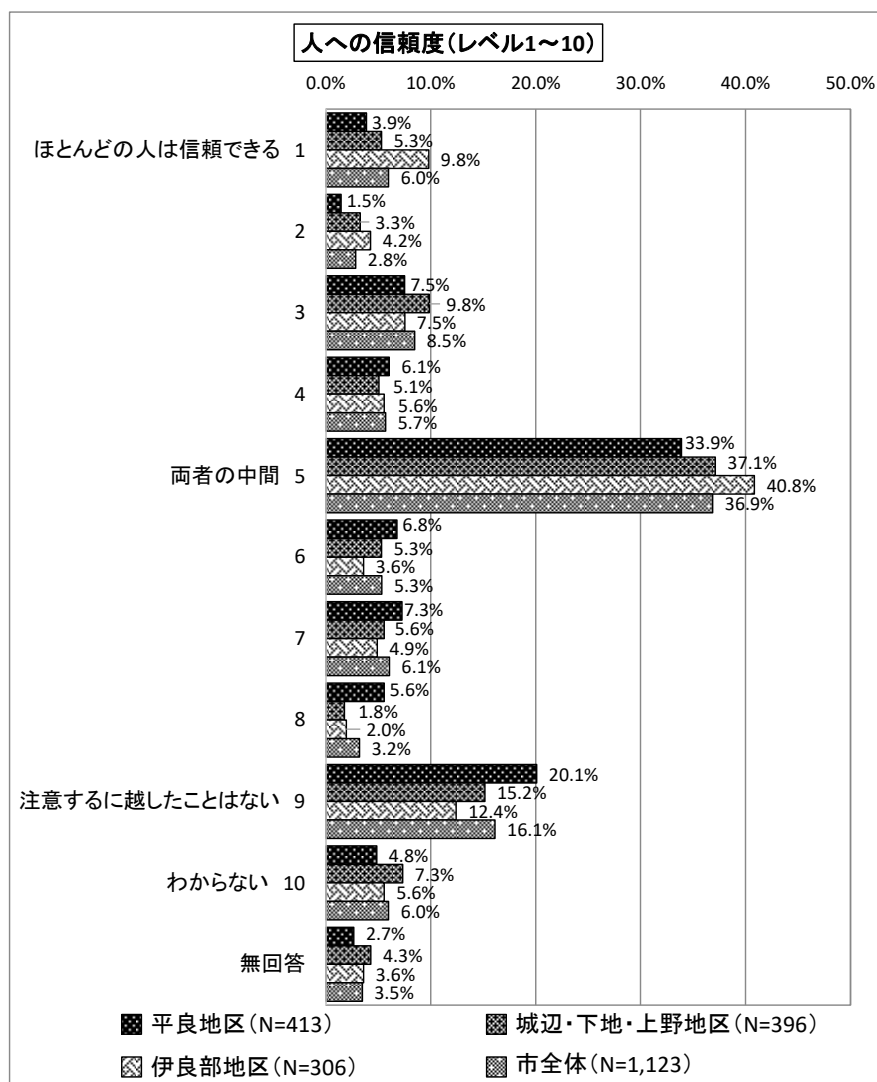
問4-1 あなたは、一般的に「ほとんどの人は信頼できる」と思いますか。それとも「注意するに越したことはない」と思いますか。

«「ほとんどの人は信頼できる」をレベル 1、「両者の中間」をレベル 5、「注意するに越したことはない」をレベル 9、「わからない」をレベル 10 で回答»（前回調査では設問なし）

人への信頼度については、「両者の中間（レベル 4～6）」が 47.9%で最も多くなっています。次いで「注意するに越したことはない（レベル 7～9）」の 25.4%、「ほとんどの人は信頼できる（レベル 1～3）」の 17.3%、「わからない（レベル 10）」の 6.0%と続いています。



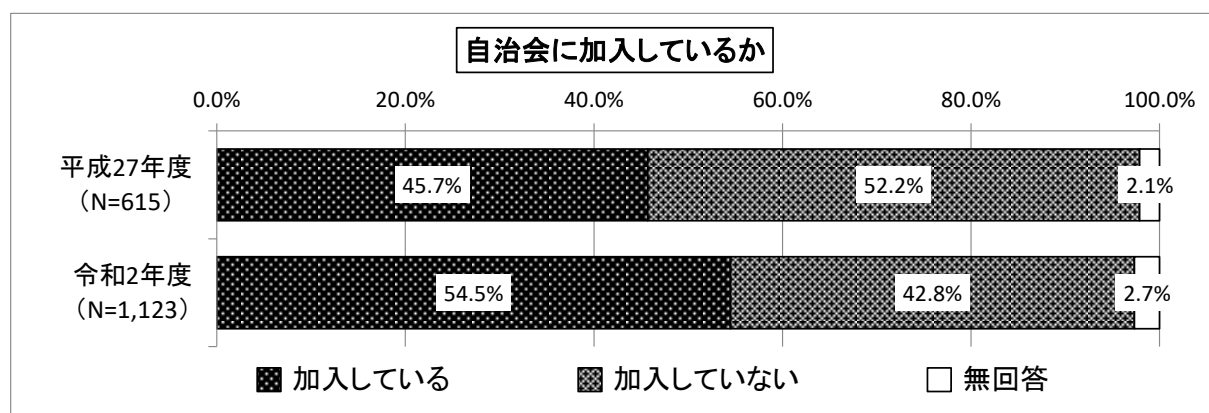
地区別で人への信頼度の3区分をみると、どの地区でも「両者の中間」の割合が最も高くなっています。次いで割合が高いのは、平良地区及び城辺・下地・上野地区では「注意するには越したことはない」となっているものの、伊良部地区では「ほとんどの人は信頼できる」との回答割合が高くなっています。



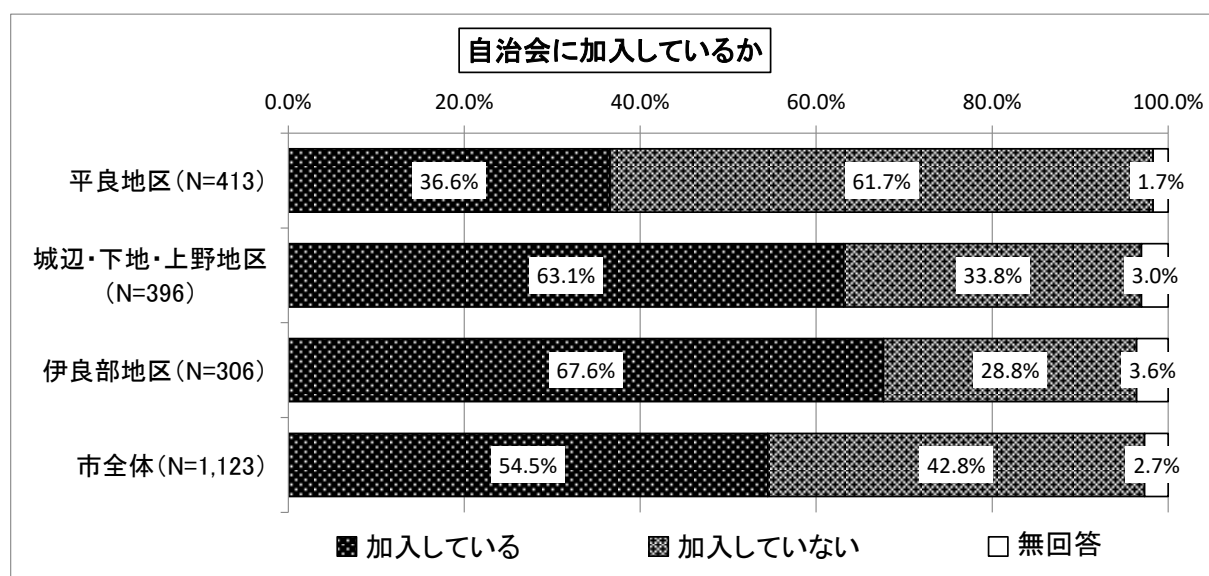
問5 お宅では自治会に加入していますか。

自治会に加入しているかについては、「加入している」が54.5%と過半数を占め多くっており、「加入していない」は42.8%となっています。

前回調査（H27年度）と比べると、「加入している」との回答割合が高くなっています。



地区別にみると、自治会に加入している方の割合は平良地区では約4割なのに対し、城辺・下地・上野地区、伊良部地区では6割以上となっています。



問5-1 加入していない主な理由は何ですか。

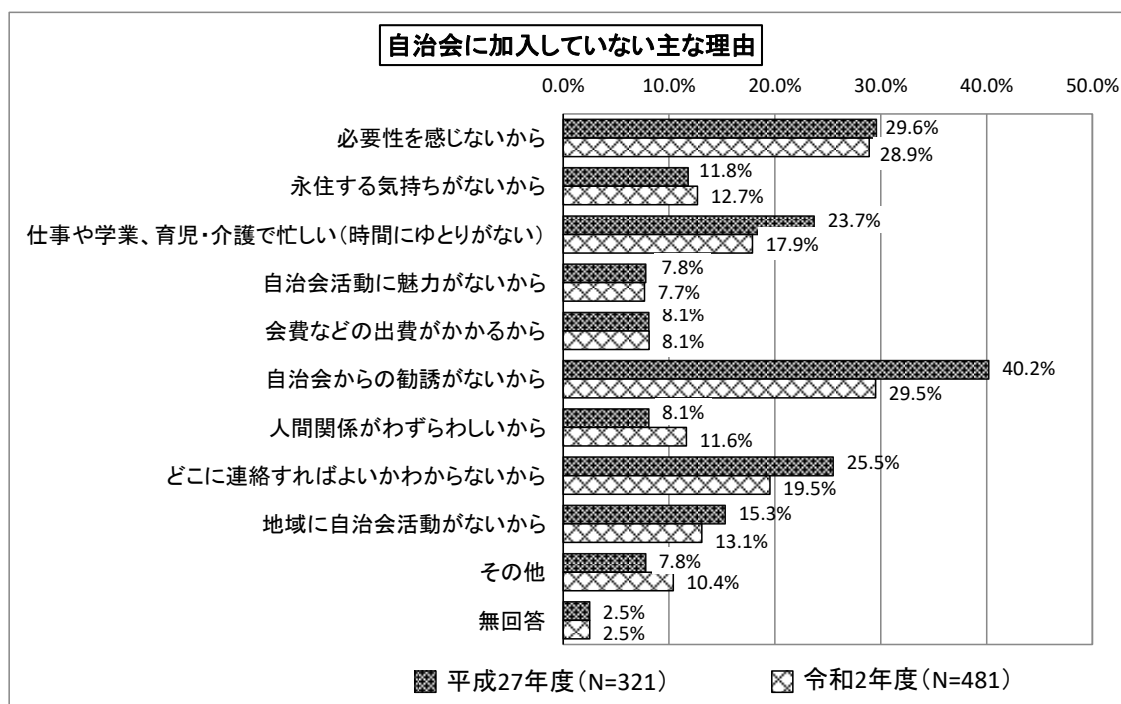
《問5で「加入していない」と回答した方》

自治会に加入していない主な理由については、「自治会からの勧誘がないから」が29.5%で第1位となっています。第2位は「必要性を感じないから」の28.9%、第3位は「どこに連絡すればよいかわからないから」の19.5%、第4位は「仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない)」の17.9%、第5位は「地域に自治会活動がないから」の13.1%と続いています。

前回調査(H27年度)と比べると、自治会に加入していない理由については上位5位とも同じ理由の傾向となっています。「自治会からの勧誘がないから」及び「どこに連絡すればよいかわからないから」という回答割合も一定程度いることから、自治会加入に関する情報提供によっては、自治会に加入する方がいることからうかがえます。

自治会に加入していない主な理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=321)	自治会からの勧誘がないから 40.2%	必要性を感じないから 29.6%	どこに連絡すればよいかわからないから 25.5%	仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない) 23.7%	地域に自治会活動がないから 15.3%
令和2年度 (N=481)	自治会からの勧誘がないから 29.5%	必要性を感じないから 28.9%	どこに連絡すればよいかわからないから 19.5%	仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない) 17.9%	地域に自治会活動がないから 13.1%



地区別にみると、順番に多少の違いはあるものの、どの地区においても自治会に加入していない主な理由に大きな違いは見られません。

地区(3区分)×自治会に加入していない主な理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=255)	自治会からの勧誘がないから 33.3%	必要性を感じないから 32.5%	どこに連絡すればよいかわからないから 22.0%	仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない) 18.4%	永住する気持ちがな いから 14.5%
城辺・下地・ 上野地区 (N=134)	必要性を感じないから 23.9%	自治会からの勧誘がないから 23.1%	仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない) 20.1%	・どこに連絡すればよいかわからないから ・その他 14.2%	
伊良部地区 (N=88)	自治会からの勧誘がないから 28.4%	必要性を感じないから 25.0%	地域に自治会活動がないから 22.7%	・どこに連絡すればよいかわからないから 20.5%	・自治会活動に魅力がないから ・人間関係がわずらわしいから 13.6%
市全体 (N=481)	自治会からの勧誘がないから 29.5%	必要性を感じないから 28.9%	どこに連絡すればよいかわからないから 19.5%	仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない) 17.9%	地域に自治会活動がないから 13.1%

地区(3区分)×自治会に加入していない主な理由

		必要性を感じないから	永住する気持ちが ないから	仕事や学業、育児・介護で忙しい(時間にゆとりがない)	自治会活動に魅力がないから	会費などの出費がかかるから	自治会からの勧誘がないから	人間関係がわずらわしいから
平良地区 (N=255)	回答件数	83	37	47	19	27	85	31
	%	32.5%	14.5%	18.4%	7.5%	10.6%	33.3%	12.2%
城辺・下地・上野地区 (N=134)	回答件数	32	17	27	6	9	31	12
	%	23.9%	12.7%	20.1%	4.5%	6.7%	23.1%	9.0%
伊良部地区 (N=88)	回答件数	22	6	10	12	2	25	12
	%	25.0%	6.8%	11.4%	13.6%	2.3%	28.4%	13.6%
市全体 (N=481)	回答件数	139	61	86	37	39	142	56
	%	28.9%	12.7%	17.9%	7.7%	8.1%	29.5%	11.6%

		どこに連絡すればよいかわからないから	地域に自治会活動がないから	その他	無回答	回答件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=255)	回答件数	56	32	23	3	443	255
	%	22.0%	12.5%	9.0%	1.2%	173.7%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=134)	回答件数	19	10	19	5	187	134
	%	14.2%	7.5%	14.2%	3.7%	139.6%	100.0%
伊良部地区 (N=88)	回答件数	18	20	8	4	139	88
	%	20.5%	22.7%	9.1%	4.5%	158.0%	100.0%
市全体 (N=481)	回答件数	94	63	50	12	779	481
	%	19.5%	13.1%	10.4%	2.5%	162.0%	100.0%

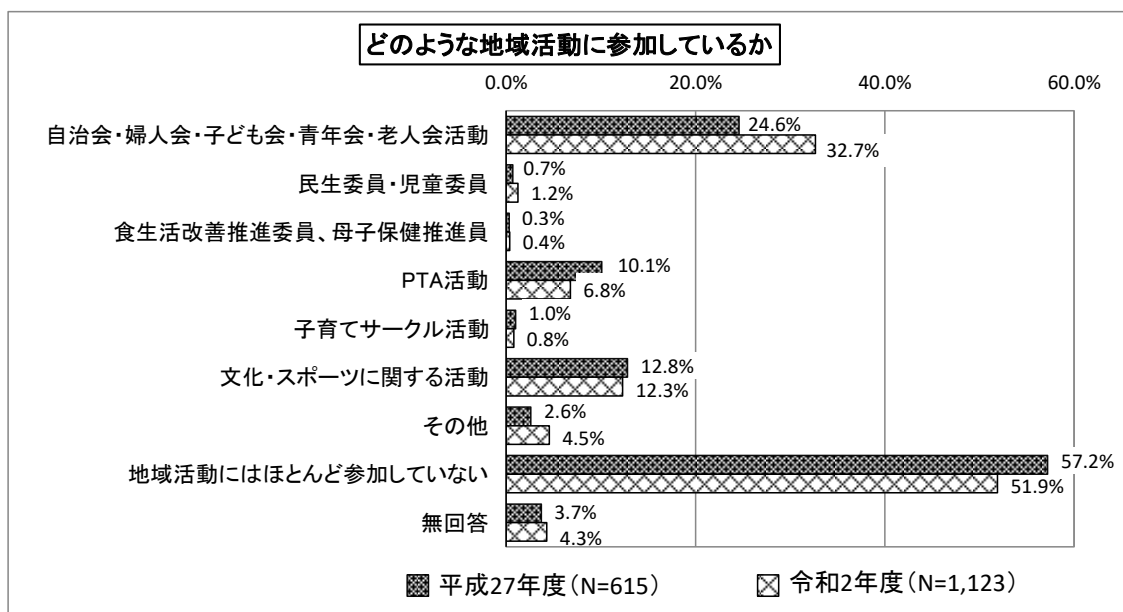
問6 あなたはどのような地域活動に参加していますか。

どのような地域活動に参加しているかについては、「地域活動にはほとんど参加していない」が51.9%で第1位となっています。第2位は「自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動」の32.7%、第3位は「文化・スポーツに関する活動」の12.3%、第4位は「PTA活動」の6.8%、第5位は「その他」の4.5%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、同様に「地域活動にはほとんど参加していない」との回答が5割を占めています。また、参加している活動についても、同様の傾向となっています。

どのような地域活動に参加しているか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	地域活動にはほとんど参加していない 57.2%	自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動 24.6%	文化・スポーツに関する活動 12.8%	PTA活動 10.1%	その他 2.6%
令和2年度 (N=1,123)	地域活動にはほとんど参加していない 51.9%	自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動 32.7%	文化・スポーツに関する活動 12.3%	PTA活動 6.8%	その他 4.5%



地区別にみると、「地域活動にはほとんど参加していない」との回答割合は、平良地区では約7割なのに対し、城辺・下地・上野地区、伊良部地区では約4割と違いが見られます。逆に「自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動」の参加している割合については、城辺・下地・上野地区、伊良部地区では約4割なのに対し、平良地区では約2割と参加割合が低い状況となっています。

地区(3区分)×どのような地域活動に参加しているか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	地域活動にはほとんど参加していない 66.1%	自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動 16.0%	文化・スポーツに関する活動 8.7%	PTA活動 5.3%	その他 4.1%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動 44.7%	地域活動にはほとんど参加していない 43.4%	文化・スポーツに関する活動 13.1%	PTA活動 7.6%	その他 4.3%
伊良部地区 (N=306)	地域活動にはほとんど参加していない 43.1%	自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動 39.9%	文化・スポーツに関する活動 16.3%	PTA活動 7.8%	その他 5.6%
市全体 (N=1,123)	地域活動にはほとんど参加していない 51.9%	自治会・婦人会・子ども会・青年会・老人会活動 32.7%	文化・スポーツに関する活動 12.3%	PTA活動 6.8%	その他 4.5%

地区(3区分)×どのような地域活動に参加しているか

		自治会・ 婦人会・ 子ども 会・青年 会・老人 会活動	民生委 員・児童 委員	食生活 改善推 進委員、 母子保 健推進 員	PTA活 動	子育て サーク ル活動	文化・ス ポーツに 関する 活動	その他	地域活 動には ほとんど 参加して いない	無回答	回答 件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=413)	回答件数	66	2	2	22	4	36	17	273	21	443	413
	%	16.0%	0.5%	0.5%	5.3%	1.0%	8.7%	4.1%	66.1%	5.1%	107.3%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	177	6	2	30	3	52	17	172	14	473	396
	%	44.7%	1.5%	0.5%	7.6%	0.8%	13.1%	4.3%	43.4%	3.5%	119.4%	100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	122	6	0	24	2	50	17	132	13	366	306
	%	39.9%	2.0%	0.0%	7.8%	0.7%	16.3%	5.6%	43.1%	4.2%	119.6%	100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数	367	14	4	76	9	138	51	583	48	1,290	1,123
	%	32.7%	1.2%	0.4%	6.8%	0.8%	12.3%	4.5%	51.9%	4.3%	114.9%	100.0%

問6－1 地域活動に参加している理由はなんですか。

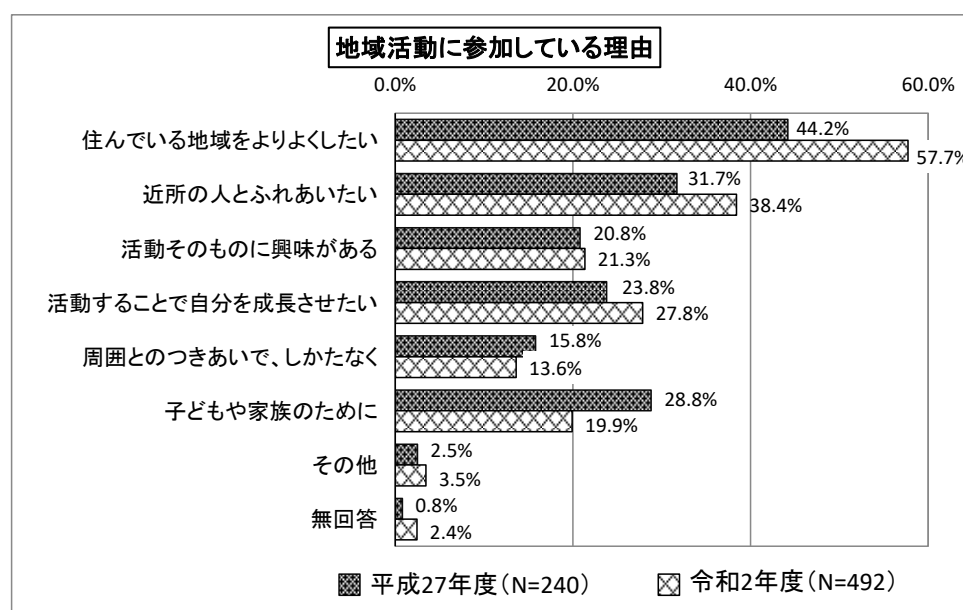
＜問6で地域活動のいずれかを回答した方＞

地域活動に参加している理由については、「住んでいる地域をよりよくしたい」が57.7%で第1位となっています。第2位は「近所の人とふれあいたい」の38.4%、第3位は「活動することで自分を成長させたい」の27.8%、第4位は「活動そのものに興味がある」の21.3%、第5位は「子どもや家族のために」の19.9%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、1位と2位の地域活動に参加している理由の「住んでいる地域をよりよくしたい」「近所の人とふれあいたい」に変わりはなく、上位5位の順番には多少の違いはあるものの理由となる項目は一緒となっています。

地域活動に参加している理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=240)	住んでいる地域をよりよくしたい 44.2%	近所の人とふれあいたい 31.7%	子どもや家族のために 28.8%	活動することで自分を成長させたい 23.8%	活動そのものに興味がある 20.8%
令和2年度 (N=492)	住んでいる地域をよりよくしたい 57.7%	近所の人とふれあいたい 38.4%	活動することで自分を成長させたい 27.8%	活動そのものに興味がある 21.3%	子どもや家族のために 19.9%



地区別にみると、3地区とも「住んでいる地域をよりよくしたい」が第1位の理由となっており、第2位以降の理由については多少の順位の違いはあるものの第5位までにあげられている理由は概ね一緒の傾向となっています。

地区(3区分)×地域活動に参加している理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=119)	住んでいる地域をよりよくしたい 48.7%	活動することで自分を成長させたい 33.6%	・近所の人とふれあいたい ・活動そのものに興味がある 28.6%		子どもや家族のために 21.8%
城辺・下地・上野地区 (N=210)	住んでいる地域をよりよくしたい 57.6%	近所の人とふれあいたい 43.3%	活動することで自分を成長させたい 23.3%	子どもや家族のために 21.0%	周囲とのつきあいで、しかたなく 17.1%
伊良部地区 (N=161)	住んでいる地域をよりよくしたい 64.6%	近所の人とふれあいたい 39.1%	活動することで自分を成長させたい 29.8%	活動そのものに興味がある 24.8%	子どもや家族のために 17.4%
市全体 (N=492)	住んでいる地域をよりよくしたい 57.7%	近所の人とふれあいたい 38.4%	活動することで自分を成長させたい 27.8%	活動そのものに興味がある 21.3%	子どもや家族のために 19.9%

地区(3区分)×地域活動に参加している理由

		住んでいる地域をよりよくしたい	近所の人とふれあいたい	活動そのものに興味がある	活動することで自分を成長させたい	周囲とのつきあいで、しかたなく	子どもや家族のために	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=119)	回答件数	58	34	34	40	14	26	7	3	216	119
	%	48.7%	28.6%	28.6%	33.6%	11.8%	21.8%	5.9%	2.5%	181.5%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=210)	回答件数	121	91	30	49	36	44	8	6	385	210
	%	57.6%	43.3%	14.3%	23.3%	17.1%	21.0%	3.8%	2.9%	183.3%	100.0%
伊良部地区 (N=161)	回答件数	104	63	40	48	17	28	2	3	305	161
	%	64.6%	39.1%	24.8%	29.8%	10.6%	17.4%	1.2%	1.9%	189.4%	100.0%
市全体 (N=492)	回答件数	284	189	105	137	67	98	17	12	909	492
	%	57.7%	38.4%	21.3%	27.8%	13.6%	19.9%	3.5%	2.4%	184.8%	100.0%

問6－2 地域活動に参加していない理由はなんですか。

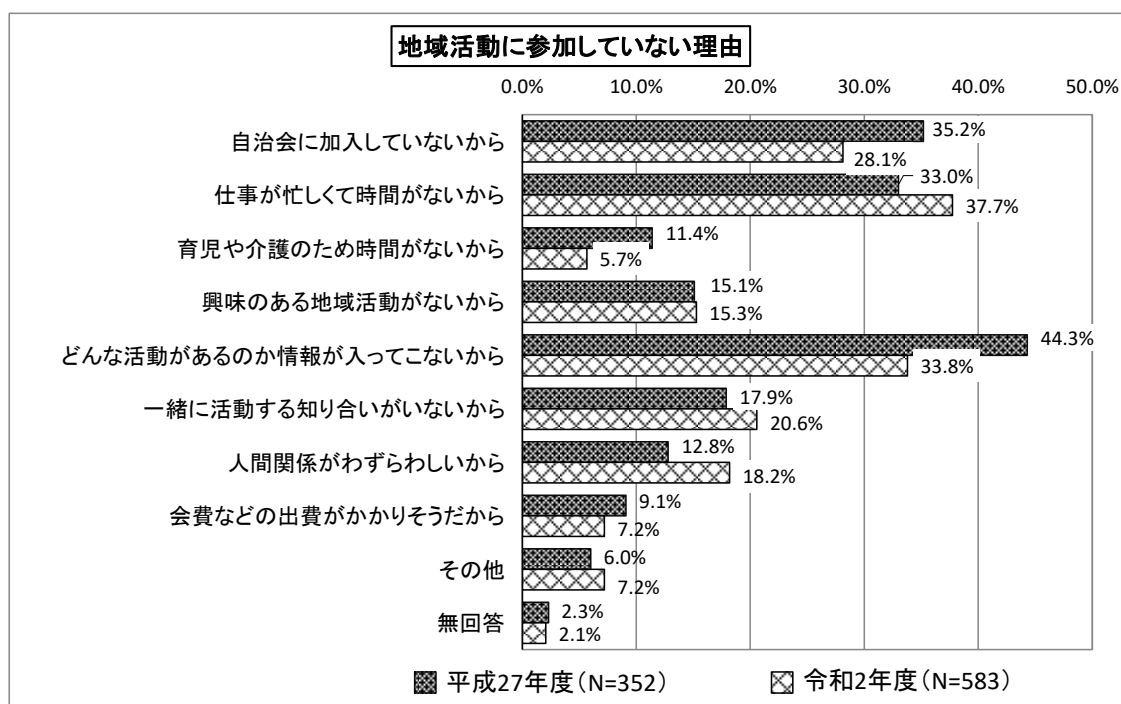
「問6で「地域活動にはほとんど参加していない」と回答した方」

地域活動に参加していない理由については、「仕事が忙しくて時間がないから」が37.7%で第1位となっています。第2位は「どんな活動があるのか情報が入ってこないから」の33.8%、第3位は「自治会に加入していないから」の28.1%、第4位は「一緒に活動する知り合いがいないから」の20.6%、第5位は「人間関係がわずらわしいから」の18.2%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、地域活動に参加していない理由として上位5位に入っている理由は概ね一緒となっているものの、今回調査においては「人間関係がわずらわしいから」という理由が新たに上位に入ってきています。

地域活動に参加していない理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=352)	どんな活動があるのか情報が入ってこないから 44.3%	自治会に加入していないから 35.2%	仕事が忙しくて時間がないから 33.0%	一緒に活動する知り合いがいないから 17.9%	興味のある地域活動がないから 15.1%
令和2年度 (N=583)	仕事が忙しくて時間がないから 37.7%	どんな活動があるのか情報が入ってこないから 33.8%	自治会に加入していないから 28.1%	一緒に活動する知り合いがいないから 20.6%	人間関係がわずらわしいから 18.2%



地区別にみると、3地区ともに「仕事が忙しくて時間がないから」「どんな活動があるのか情報が入ってこないから」が地域活動に参加していない理由の上位となっています。

地区(3区分)×地域活動に参加していない理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=273)	どんな活動があるのか情報が入ってこないから 40.3%	仕事が忙しくて時間がないから 37.7%	自治会に加入していないから 34.8%	一緒に活動する知り合いがいないから 24.2%	人間関係がわずらわしいから 19.0%
城辺・下地・上野地区 (N=172)	仕事が忙しくて時間がないから 40.7%	自治会に加入していないから 27.3%	どんな活動があるのか情報が入ってこないから 23.8%	一緒に活動する知り合いがいないから 16.3%	人間関係がわずらわしいから 15.1%
伊良部地区 (N=132)	・仕事が忙しくて時間がないから ・どんな活動があるのか情報が入ってこないから 33.3%		興味のある地域活動がないから 24.2%	人間関係がわずらわしいから 19.7%	一緒に活動する知り合いがいないから 18.2%
市全体 (N=583)	仕事が忙しくて時間がないから 37.7%	どんな活動があるのか情報が入ってこないから 33.8%	自治会に加入していないから 28.1%	一緒に活動する知り合いがいないから 20.6%	人間関係がわずらわしいから 18.2%

地区(3区分)×地域活動に参加していない理由

		自治会に加入していないから	仕事が忙しくて時間がないから	育児や介護のため時間がないから	興味のある地域活動がないから	どんな活動があるのか情報が入ってこないから	一緒に活動する知り合いがいないから
平良地区 (N=273)	回答件数 %	95 34.8%	103 37.7%	19 7.0%	36 13.2%	110 40.3%	66 24.2%
城辺・下地・上野地区 (N=172)	回答件数 %	47 27.3%	70 40.7%	5 2.9%	20 11.6%	41 23.8%	28 16.3%
伊良部地区 (N=132)	回答件数 %	21 15.9%	44 33.3%	7 5.3%	32 24.2%	44 33.3%	24 18.2%
市全体 (N=583)	回答件数 %	164 28.1%	220 37.7%	33 5.7%	89 15.3%	197 33.8%	120 20.6%

		人間関係がわずらわしいから	会費などの出費がかかりそうだから	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=273)	回答件数 %	52 19.0%	26 9.5%	11 4.0%	3 1.1%	521 190.8%	273 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=172)	回答件数 %	26 15.1%	8 4.7%	18 10.5%	3 1.7%	266 154.7%	172 100.0%
伊良部地区 (N=132)	回答件数 %	26 19.7%	6 4.5%	13 9.8%	6 4.5%	223 168.9%	132 100.0%
市全体 (N=583)	回答件数 %	106 18.2%	42 7.2%	42 7.2%	12 2.1%	1,025 175.8%	583 100.0%

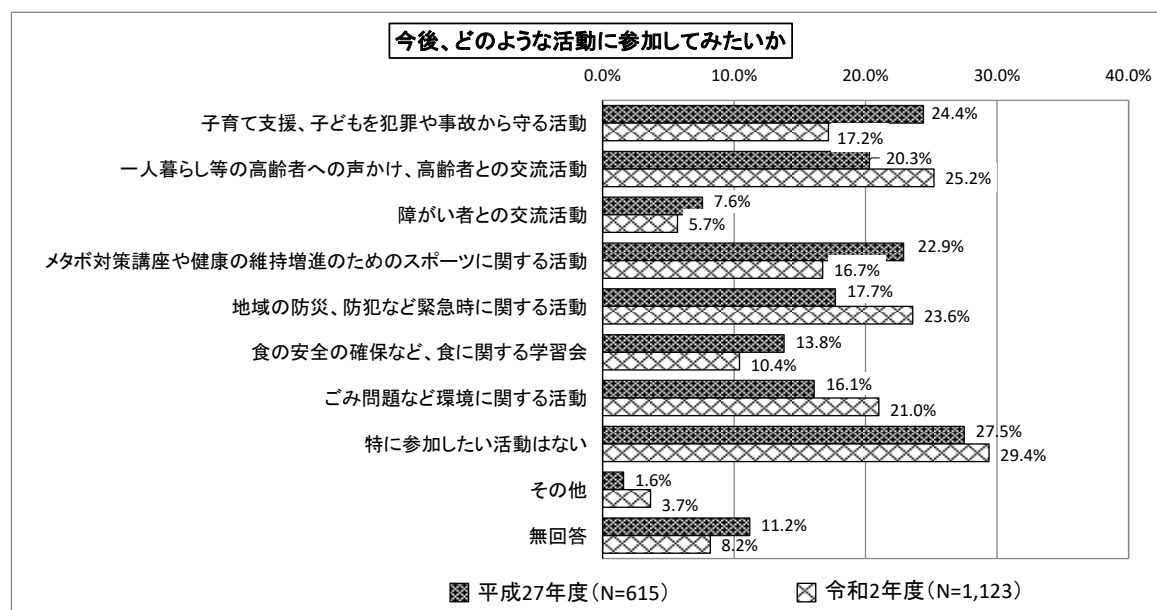
問6-3 今後どのような活動に参加してみたいですか。

今後、どのような活動に参加してみたいかについては、「特に参加したい活動はない」が29.4%で第1位となっています。第2位は「一人暮らし等の高齢者への声かけ、高齢者との交流活動」の25.2%、第3位は「地域の防災、防犯など緊急時に関する活動」の23.6%、第4位は「ごみ問題など環境に関する活動」の21.0%、第5位は「子育て支援、子どもを犯罪や事故から守る活動」の17.2%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、「特に参加したい活動はない」との回答が最も多いのは一致しているものの、2位以降の順位については、「一人暮らし等の高齢者への声かけ、高齢者との交流活動」「地域の防災、防犯など緊急時に関する活動」が順位を上げており、さらに「ごみ問題など環境に関する活動」は新たに上位5位に入ってきていることから、この3つの活動については市民の関心が高まってきていることが考えられます。

今後、どのような活動に参加してみたいか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	特に参加したい活動 はない 27.5%	子育て支援、子ども を犯罪や事故から守 る活動 24.4%	メタボ対策講座や健康 の維持増進のための スポーツに関する活 動 22.9%	一人暮らし等の高齢 者への声かけ、高齢 者との交流活動 20.3%	地域の防災、防犯な ど緊急時に関する活 動 17.7%
令和2年度 (N=1,123)	特に参加したい活動 はない 29.4%	一人暮らし等の高齢 者への声かけ、高齢 者との交流活動 25.2%	地域の防災、防犯な ど緊急時に関する活 動 23.6%	ごみ問題など環境に 関する活動 21.0%	子育て支援、子ども を犯罪や事故から守 る活動 17.2%



地区別にみると、平良地区と城辺・下地・上野地区については、「特に参加したい活動はない」が第1位となっていますが、伊良部地区では「地域の防災、防犯など緊急時に関する活動」が第1位となっているなど、地区によって違いが見られますが、上位5位に入っている活動については、どの地区も概ね同様の傾向となっています。

地区(3区分)×今後、どのような活動に参加してみたいか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	特に参加したい活動 はない 31.5%	一人暮らし等の高齢 者への声かけ、高齢 者との交流活動 21.8%	ごみ問題など環境に 関する活動 21.1%	地域の防災、防犯な ど緊急時に関する活 動 18.9%	子育て支援、子ども を犯罪や事故から守 る活動 18.2%
城辺・下地・ 上野地区 (N=396)	特に参加したい活動 はない 29.5%	一人暮らし等の高齢 者への声かけ、高齢 者との交流活動 24.0%	地域の防災、防犯な ど緊急時に関する活 動 22.2%	ごみ問題など環境に 関する活動 18.7%	メタボ対策講座や健 康の維持増進のため のスポーツに関する 活動 15.7%
伊良部地区 (N=306)	地域の防災、防犯な ど緊急時に関する活 動 32.0%	一人暮らし等の高齢 者への声かけ、高齢 者との交流活動 31.4%	特に参加したい活動 はない 25.8%	ごみ問題など環境に 関する活動 24.5%	子育て支援、子ども を犯罪や事故から守 る活動 19.3%
市全体 (N=1,123)	特に参加したい活動 はない 29.4%	一人暮らし等の高齢 者への声かけ、高齢 者との交流活動 25.2%	地域の防災、防犯な ど緊急時に関する活 動 23.6%	ごみ問題など環境に 関する活動 21.0%	子育て支援、子ども を犯罪や事故から守 る活動 17.2%

地区(3区分)×今後、どのような活動に参加してみたいか

		子育て 支援、子 どもを犯 罪や事 故から 守る活 動	一人暮 らし等 の高齢 者への 声かけ、 高齢者 との交 流活動	障がい 者との 交流活 動	メタボ対 策講座 や健康 の維持 増進の ための スポーツ に関する 活動	地域の 防災、 防犯な ど緊急 時に関 する活 動	食の安 全の確 保など、 食に関 する学 習会
平良地区 (N=413)	回答件数 %	75 18.2%	90 21.8%	27 6.5%	72 17.4%	78 18.9%	50 12.1%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	58 14.6%	95 24.0%	16 4.0%	62 15.7%	88 22.2%	37 9.3%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	59 19.3%	96 31.4%	20 6.5%	52 17.0%	98 32.0%	28 9.2%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	193 17.2%	283 25.2%	64 5.7%	188 16.7%	265 23.6%	117 10.4%

		ごみ問 題など 環境に 関する 活動	特に参 加した い活動 はない	その他	無回答	回答 件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=413)	回答件数 %	87 21.1%	130 31.5%	20 4.8%	29 7.0%	658 159.3%	413 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	74 18.7%	117 29.5%	15 3.8%	40 10.1%	602 152.0%	396 100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	75 24.5%	79 25.8%	6 2.0%	22 7.2%	535 174.8%	306 100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	236 21.0%	330 29.4%	41 3.7%	92 8.2%	1,809 161.1%	1,123 100.0%

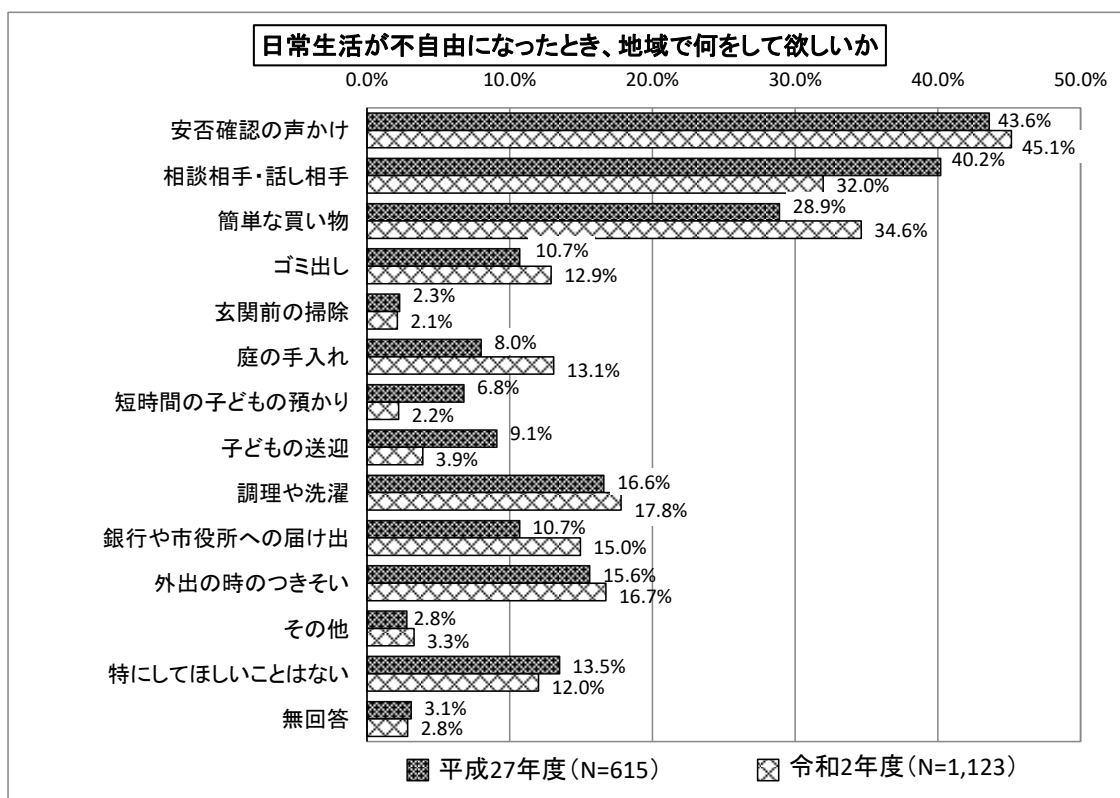
問7 もしもあなたが、高齢や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域で何をして欲しいですか。

高齢や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域で何をして欲しいかについては、「安否確認の声かけ」が45.1%で第1位となっています。第2位は「簡単な買い物」の34.6%、第3位は「相談相手・話し相手」の32.0%、第4位は「調理や洗濯」の17.8%、第5位は「外出の時のつきそい」の16.7%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、上位5位にあげられている項目は同様の結果となっています。

日常生活が不自由になったとき、地域で何をして欲しいか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	安否確認の声かけ 43.6%	相談相手・話し相手 40.2%	簡単な買い物 28.9%	調理や洗濯 16.6%	外出の時のつきそい 15.6%
令和2年度 (N=1,123)	安否確認の声かけ 45.1%	簡単な買い物 34.6%	相談相手・話し相手 32.0%	調理や洗濯 17.8%	外出の時のつきそい 16.7%



地区別にみると、概ね市全体の結果と同様の項目が上位にあがっていますが、城辺・下地・上野地区では「庭の手入れ」、伊良部地区では「銀行や市役所への届け出」が困ったときに地域でしてほしいことの項目としてあがっています（平良地区は市全体と同様の傾向）。

地区(3区分)×日常生活が不自由になったとき、地域で何をして欲しいか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	安否確認の声かけ 40.0%	簡単な買い物 33.7%	相談相手・話し相手 30.5%	外出の時のつきそい 17.7%	調理や洗濯 17.2%
城辺・下地・ 上野地区 (N=396)	安否確認の声かけ 44.7%	簡単な買い物 35.4%	相談相手・話し相手 30.3%	調理や洗濯 17.9%	庭の手入れ 17.4%
伊良部地区 (N=306)	安否確認の声かけ 52.9%	相談相手・話し相手 36.6%	簡単な買い物 35.0%	調理や洗濯 18.3%	銀行や市役所への 届け出 17.0%
市全体 (N=1,123)	安否確認の声かけ 45.1%	簡単な買い物 34.6%	相談相手・話し相手 32.0%	調理や洗濯 17.8%	外出の時のつきそい 16.7%

地区(3区分)×日常生活が不自由になったとき、地域で何をして欲しいか

		安否確 認の 声 かけ	相談相 手・話し 相手	簡単な 買い物	ゴミ出し	玄関前 の掃除	庭の手 入れ	短時間 の子ども の預かり	子どもの 送迎
平良地区 (N=413)	回答件数	165	126	139	56	9	36	13	17
	%	40.0%	30.5%	33.7%	13.6%	2.2%	8.7%	3.1%	4.1%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	177	120	140	40	12	69	9	15
	%	44.7%	30.3%	35.4%	10.1%	3.0%	17.4%	2.3%	3.8%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	162	112	107	48	3	42	2	11
	%	52.9%	36.6%	35.0%	15.7%	1.0%	13.7%	0.7%	3.6%
市全体 (N=1,123)	回答件数	507	359	389	145	24	147	25	44
	%	45.1%	32.0%	34.6%	12.9%	2.1%	13.1%	2.2%	3.9%

		調理や 洗濯	銀行や 市役所 への届 け出	外出の 時のつ きそい	その他	特にして ほしいこ とはない	無回答	回答 件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=413)	回答件数	71	54	73	16	60	12	847	413
	%	17.2%	13.1%	17.7%	3.9%	14.5%	2.9%	205.1%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	71	60	65	13	49	11	851	396
	%	17.9%	15.2%	16.4%	3.3%	12.4%	2.8%	214.9%	100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	56	52	49	7	25	9	685	306
	%	18.3%	17.0%	16.0%	2.3%	8.2%	2.9%	223.9%	100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数	200	168	188	37	135	32	2,400	1,123
	%	17.8%	15.0%	16.7%	3.3%	12.0%	2.8%	213.7%	100.0%

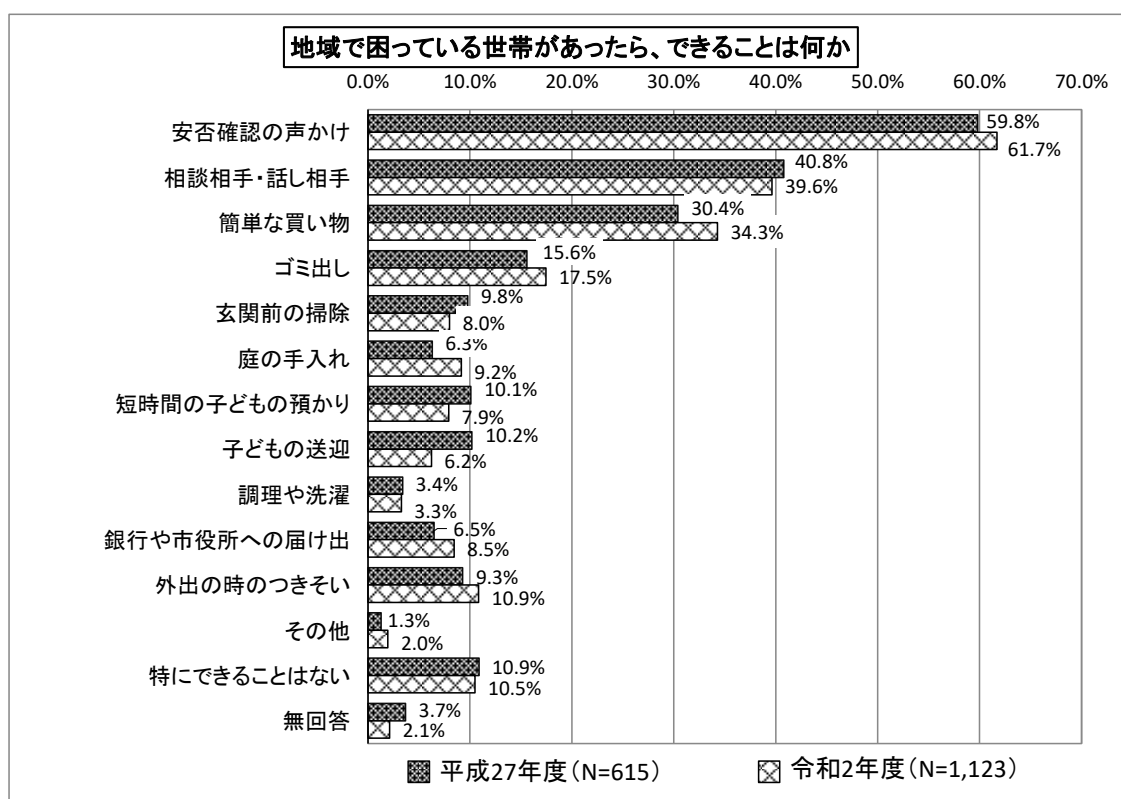
問8 地域で高齢者や障がい者、子育てなどに困っている世帯があったら、あなたのできることは何ですか。

地域で高齢者や障がい者、子育てなどに困っている世帯があったら、できることは何かについては、「安否確認の声かけ」が61.7%で第1位となっています。第2位は「相談相手・話し相手」の39.6%、第3位は「簡単な買い物」の34.3%、第4位は「ゴミ出し」の17.5%、第5位は「外出の時のつきそい」の10.9%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、困っている人にできることについては、「安否確認の声かけ」をはじめ、上位のできることに大きな違いはみられません。

地域で困っている世帯があったら、できることは何か 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	安否確認の声かけ 59.8%	相談相手・話し相手 40.8%	簡単な買い物 30.4%	ゴミ出し 15.6%	特にできることはない 10.9%
令和2年度 (N=1,123)	安否確認の声かけ 61.7%	相談相手・話し相手 39.6%	簡単な買い物 34.3%	ゴミ出し 17.5%	外出の時のつきそい 10.9%



地区別にみると、どの地区でも第1位から4位は一致していますが、第5位については平良地区では「特にできることはない」、城辺・下地・上野地区及び伊良部地区では「外出時のつきそい」があげられています。

地区(3区分)×地域で困っている世帯があったら、できることは何か 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	安否確認の声かけ 59.1%	相談相手・話し相手 37.0%	簡単な買い物 31.0%	ゴミ出し 16.7%	特にできることはない 11.9%
城辺・下地・ 上野地区 (N=396)	安否確認の声かけ 63.9%	相談相手・話し相手 37.4%	簡単な買い物 35.4%	ゴミ出し 18.4%	外出の時のつきそい 12.9%
伊良部地区 (N=306)	安否確認の声かけ 62.7%	相談相手・話し相手 47.1%	簡単な買い物 37.3%	ゴミ出し 17.0%	外出の時のつきそい 12.7%
市全体 (N=1,123)	安否確認の声かけ 61.7%	相談相手・話し相手 39.6%	簡単な買い物 34.3%	ゴミ出し 17.5%	外出の時のつきそい 10.9%

地区(3区分)×地域で困っている世帯があったら、できることは何か

		安否確 認の 声 かけ	相談相 手・話し 相手	簡単な 買い物	ゴミ出し	玄関前 の掃除	庭の手 入れ	短時間 の子ども の預かり	子どもの 送迎
平良地区 (N=413)	回答件数	244	153	128	69	42	35	33	30
	%	59.1%	37.0%	31.0%	16.7%	10.2%	8.5%	8.0%	7.3%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	253	148	140	73	31	38	34	18
	%	63.9%	37.4%	35.4%	18.4%	7.8%	9.6%	8.6%	4.5%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	192	144	114	52	16	30	22	21
	%	62.7%	47.1%	37.3%	17.0%	5.2%	9.8%	7.2%	6.9%
市全体 (N=1,123)	回答件数	693	445	385	196	90	103	89	70
	%	61.7%	39.6%	34.3%	17.5%	8.0%	9.2%	7.9%	6.2%

		調理や 洗濯	銀行や 市役所 への届 け出	外出の 時のつ きそい	その他	特にでき ることは ない	無回答	回答 件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=413)	回答件数	14	32	30	9	49	11	879	413
	%	3.4%	7.7%	7.3%	2.2%	11.9%	2.7%	212.8%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	11	33	51	7	38	8	883	396
	%	2.8%	8.3%	12.9%	1.8%	9.6%	2.0%	223.0%	100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	12	29	39	6	31	3	711	306
	%	3.9%	9.5%	12.7%	2.0%	10.1%	1.0%	232.4%	100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数	37	95	122	22	118	24	2,489	1,123
	%	3.3%	8.5%	10.9%	2.0%	10.5%	2.1%	221.6%	100.0%

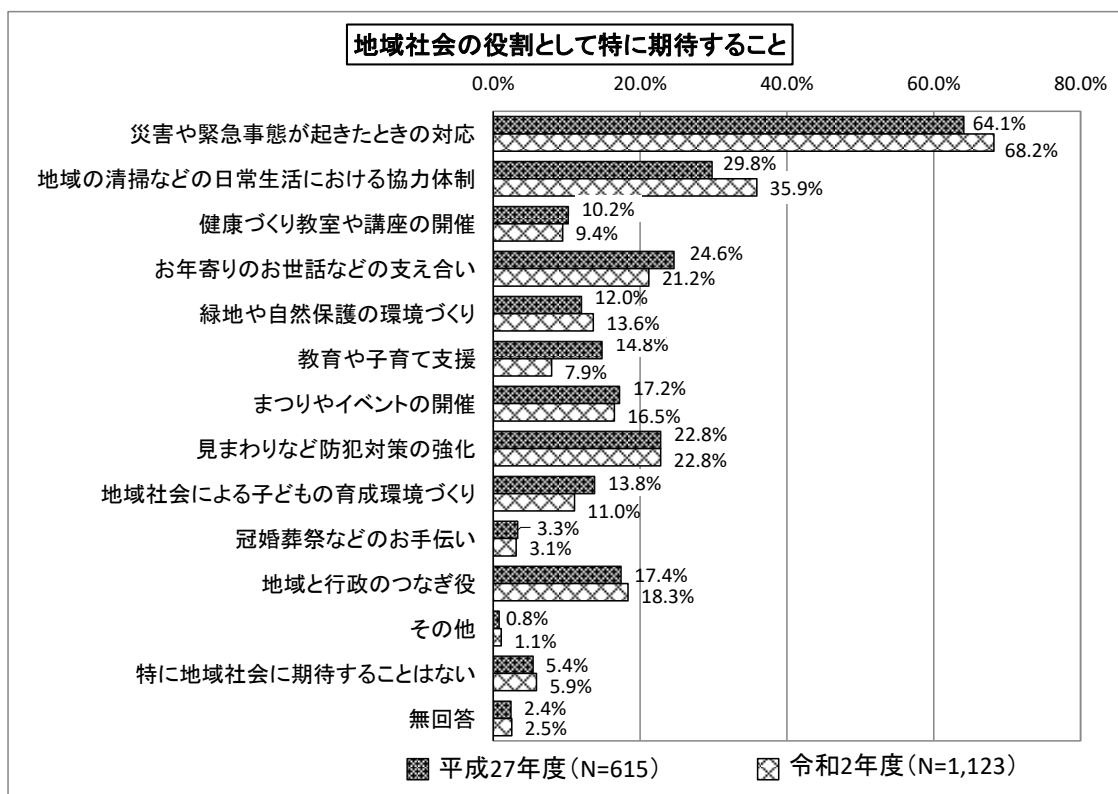
問9 地域社会（自治会）の役割として特に期待することはなんですか。

地域社会（自治会）の役割として特に期待することについては、「災害や緊急事態が起きたときの対応」が68.2%で第1位となっています。第2位は「地域の清掃などの日常生活における協力体制」の35.9%、第3位は「見まわりなど防犯対策の強化」の22.8%、第4位は「お年寄りのお世話などの支え合い」の21.2%、第5位は「地域と行政のつなぎ役」の18.3%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、上位5位にあげられている項目に違いは見られません。

地域社会の役割として特に期待すること 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	災害や緊急事態が 起きたときの対応 64.1%	地域の清掃などの日 常生活における協力 体制 29.8%	お年寄りのお世話な どの支え合い 24.6%	見まわりなど防犯対 策の強化 22.8%	地域と行政のつなぎ 役 17.4%
令和2年度 (N=1,123)	災害や緊急事態が 起きたときの対応 68.2%	地域の清掃などの日 常生活における協力 体制 35.9%	見まわりなど防犯対 策の強化 22.8%	お年寄りのお世話な どの支え合い 21.2%	地域と行政のつなぎ 役 18.3%



地区別にみると、上位5位の順番に多少の違いはあるものの、上位にあげられている項目については、市全体と同様の傾向となっており、地区による違いはみられません。

地区(3区分)×地域社会の役割として特に期待すること 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	災害や緊急事態が 起きたときの対応 63.4%	地域の清掃などの日 常生活における協力 体制 30.5%	見まわりなど防犯対 策の強化 22.0%	お年寄りのお世話な どの支え合い 19.6%	地域と行政のつなぎ 役 16.5%
城辺・下地・ 上野地区 (N=396)	災害や緊急事態が 起きたときの対応 72.2%	地域の清掃などの日 常生活における協力 体制 37.9%	見まわりなど防犯対 策の強化 24.0%	お年寄りのお世話な どの支え合い 21.5%	まつりやイベントの開 催 18.7%
伊良部地区 (N=306)	災害や緊急事態が 起きたときの対応 70.3%	地域の清掃などの日 常生活における協力 体制 40.8%	地域と行政のつなぎ 役 23.5%	お年寄りのお世話な どの支え合い 23.2%	見まわりなど防犯対 策の強化 22.9%
市全体 (N=1,123)	災害や緊急事態が 起きたときの対応 68.2%	地域の清掃などの日 常生活における協力 体制 35.9%	見まわりなど防犯対 策の強化 22.8%	お年寄りのお世話な どの支え合い 21.2%	地域と行政のつなぎ 役 18.3%

地区(3区分)×地域社会の役割として特に期待すること

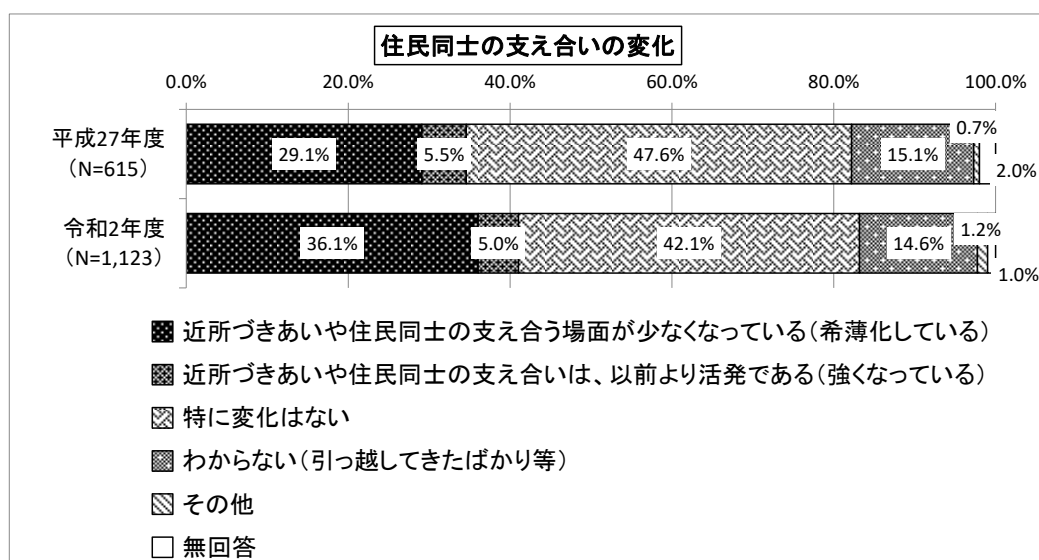
		災害や 緊急事態が起 きたときの対応	地域の 清掃などの日 常生活における 協力体制	健康づく り教室 や講座の開催	お年寄 りのお世 話などの支え 合い	緑地や 自然保 護の環 境づくり	教育や 子育て 支援	まつりや イベント の開催	見まわり など防 犯対策 の強化
平良地区 (N=413)	回答件数 %	262 63.4%	126 30.5%	43 10.4%	81 19.6%	62 15.0%	41 9.9%	50 12.1%	91 22.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	286 72.2%	150 37.9%	36 9.1%	85 21.5%	53 13.4%	29 7.3%	74 18.7%	95 24.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	215 70.3%	125 40.8%	27 8.8%	71 23.2%	38 12.4%	16 5.2%	61 19.9%	70 22.9%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	766 68.2%	403 35.9%	106 9.4%	238 21.2%	153 13.6%	89 7.9%	185 16.5%	256 22.8%

		地域社 会によ る子ど もの育 成環境 づくり	冠婚葬 祭など のお手 伝い	地域と 行政の つなぎ 役	その他	特に地 域社会 に期待 すること はない	無回答	回答 件数 合計	回答者 数
平良地区 (N=413)	回答件数 %	48 11.6%	5 1.2%	68 16.5%	5 1.2%	35 8.5%	10 2.4%	927 224.5%	413 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	45 11.4%	16 4.0%	66 16.7%	4 1.0%	14 3.5%	8 2.0%	961 242.7%	396 100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	31 10.1%	13 4.2%	72 23.5%	3 1.0%	15 4.9%	9 2.9%	766 250.3%	306 100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	124 11.0%	35 3.1%	206 18.3%	12 1.1%	66 5.9%	28 2.5%	2,667 237.5%	1,123 100.0%

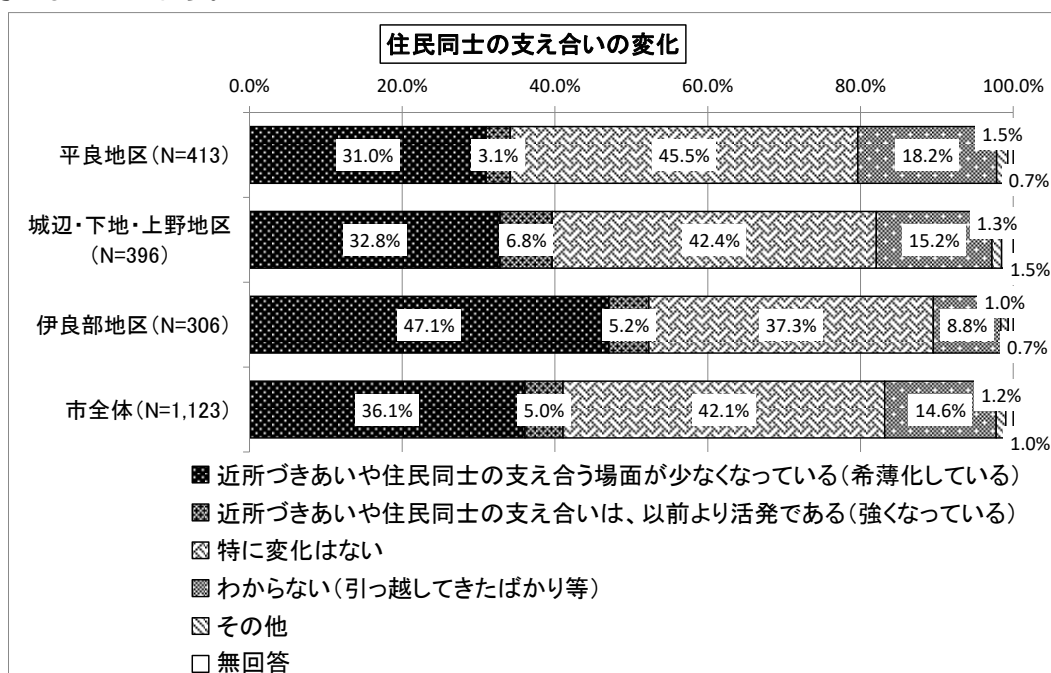
問 10 あなたの地域では、住民同士の支え合いはどう変化していますか。住み始めたころと比較してお答えください。

住民同士の支え合いの変化については、「特に変化はない」が42.1%で最も多くなっています。次いで「近所づきあいや住民同士の支え合う場面が少なくなっている（希薄化している）」の36.1%、「わからない（引っ越してきたばかり等）」の14.6%、「近所づきあいや住民同士の支え合いは、以前より活発である（強くなっている）」の5.0%、「その他」の1.2%となっています。

前回調査（H27 年度）と比べると、割合の高い項目に違いはありませんが「特に変化はない」及び「近所づきあいや住民同士の支え合いは、以前より活発である」との回答割合が減少しているのに対し、「近所づきあいや住民同士の支え合う場面が少なくなっている」の割合は増加しています。



地区別にみると、どの地区でも市全体と同様に「特に変化はない」「近所づきあいや住民同士の支え合う場面が少なくなっている」の割合で過半数を占めていますが、その中でも伊良部地区では他の地区に比べて「近所づきあいや住民同士の支え合う場面が少なくなっている」との回答割合が高くなっています。



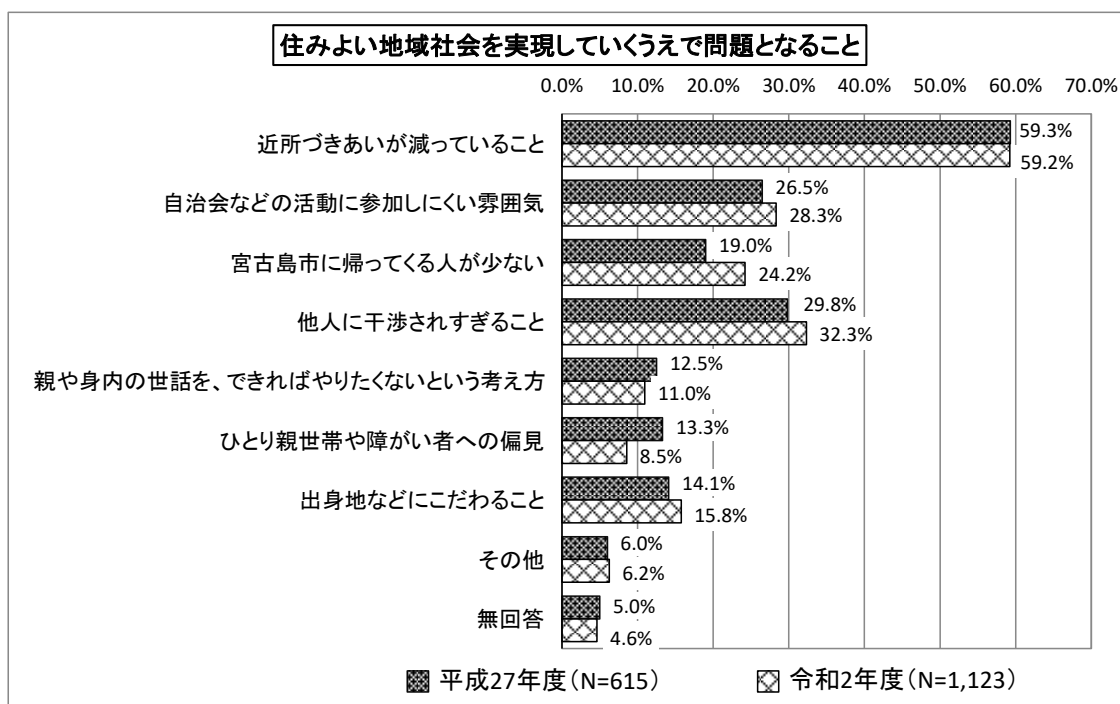
問 11 住民がお互いに力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで、問題となることは何だと思いますか。

住民がお互いに力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで、問題となることは何だと思うかについては、「近所づきあいが減っていること」が59.2%で第1位となっています。第2位は「他人に干渉されすぎること」の32.3%、第3位は「自治会などの活動に参加しにくい雰囲気」の28.3%、第4位は「宮古島市に帰ってくる人が少ない」の24.2%、第5位は「出身地などにこだわること」の15.8%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、上位の5項目ともに一致しています。

住みよい地域社会を実現していくうえで問題となること 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	近所づきあいが減っていること 59.3%	他人に干渉されすぎる こと 29.8%	自治会などの活動に 参加しにくい雰囲気 26.5%	宮古島市に帰って くる人が少ない 19.0%	出身地などにこだ わる こと 14.1%
令和2年度 (N=1,123)	近所づきあいが減っ ていること 59.2%	他人に干渉されすぎ ること 32.3%	自治会などの活動に 参加しにくい雰囲気 28.3%	宮古島市に帰って くる人が少ない 24.2%	出身地などにこだ わる こと 15.8%



地区別にみると、どの地区でも概ね上位の項目は一致しており、平良地区と城辺・下地・上野地区においては上位5項目すべて一致しています。その中、伊良部地区においては「親や身内の世話を、できればやりたくという考え方」が問題として感じており、他の2地区では上位5位にない項目が入ってきています。

地区(3区分)×住みよい地域社会を実現していくうえで問題となること 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	近所づきあいが減っていること 60.5%	他人に干渉されすぎること 35.4%	自治会などの活動に参加しにくい雰囲気 25.7%	宮古島市に帰ってくる人が少ない 17.7%	出身地などにこだわること 16.9%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	近所づきあいが減っていること 56.1%	他人に干渉されすぎること 29.5%	自治会などの活動に参加しにくい雰囲気 28.5%	宮古島市に帰ってくる人が少ない 23.2%	出身地などにこだわること 17.7%
伊良部地区 (N=306)	近所づきあいが減っていること 61.8%	宮古島市に帰ってくる人が少ない 35.0%	他人に干渉されすぎること 32.4%	自治会などの活動に参加しにくい雰囲気 31.4%	親や身内の世話を、できればやりたくないという考え方 15.4%
市全体 (N=1,123)	近所づきあいが減っていること 59.2%	他人に干渉されすぎること 32.3%	自治会などの活動に参加しにくい雰囲気 28.3%	宮古島市に帰ってくる人が少ない 24.2%	出身地などにこだわること 15.8%

地区(3区分)×住みよい地域社会を実現していくうえで問題となること

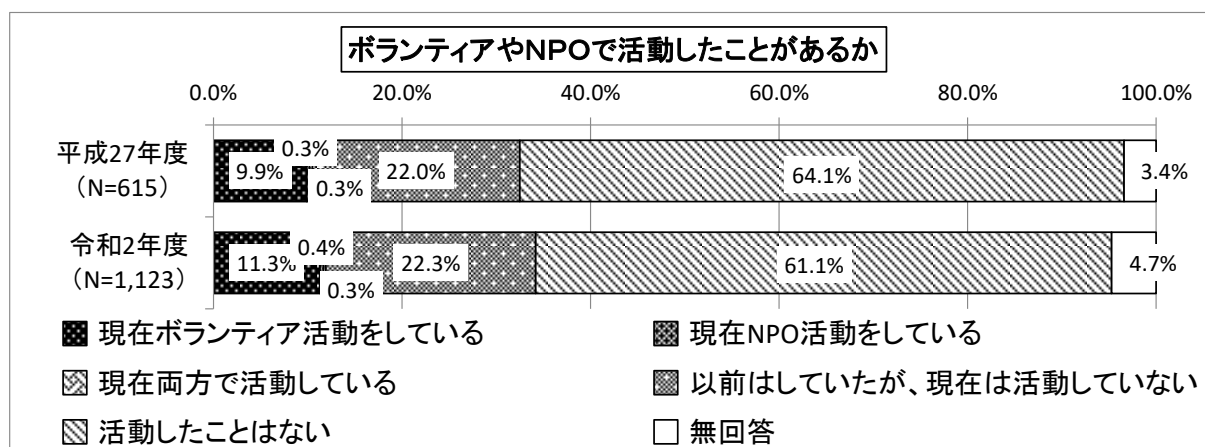
		近所づきあいが減っていること	自治会などの活動に参加しにくい雰囲気	宮古島市に帰ってくる人が少ない	他人に干渉されすぎること	親や身内の世話を、できればやりたくないという考え方	ひとり親世帯や障がい者への偏見	出身地などにこだわること	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=413)	回答件数 %	250 60.5%	106 25.7%	73 17.7%	146 35.4%	50 12.1%	36 8.7%	70 16.9%	20 4.8%	17 4.1%	768	413
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	222 56.1%	113 28.5%	92 23.2%	117 29.5%	26 6.6%	32 8.1%	70 17.7%	30 7.6%	19 4.8%	721	396
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	189 61.8%	96 31.4%	107 35.0%	99 32.4%	47 15.4%	28 9.2%	37 12.1%	19 6.2%	14 4.6%	636	306
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	665 59.2%	318 28.3%	272 24.2%	363 32.3%	123 11.0%	96 8.5%	177 15.8%	70 6.2%	52 4.6%	2,136	1,123

3. 福祉意識について

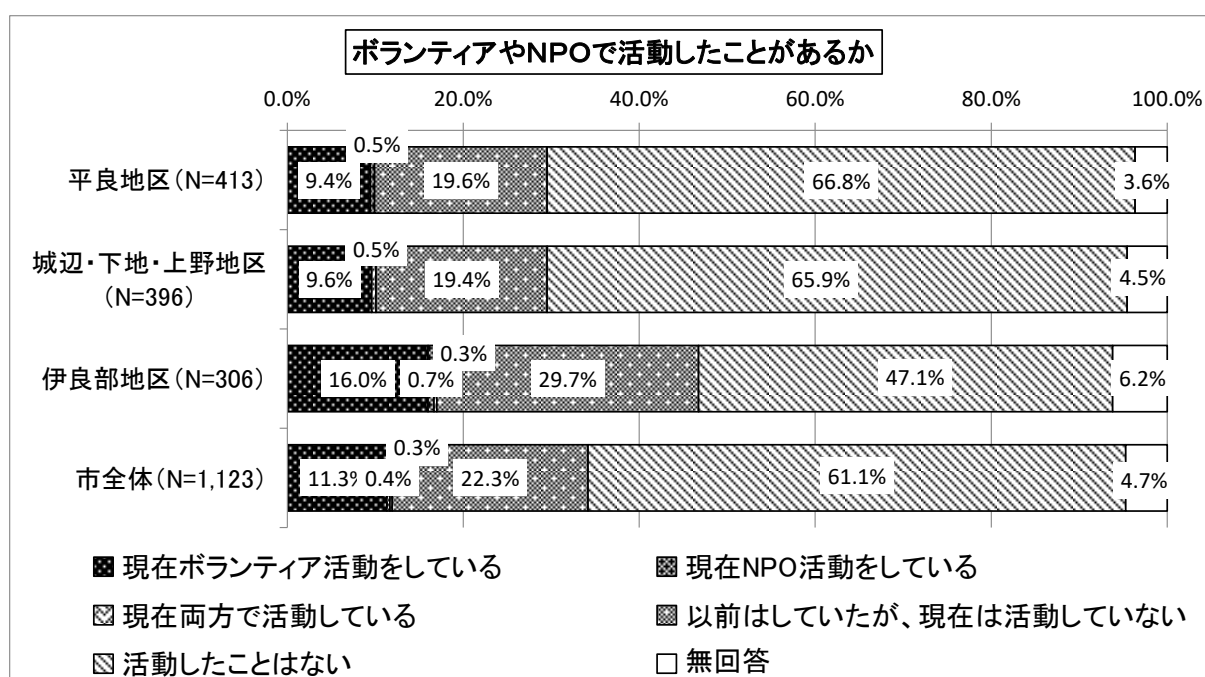
問 12 これまでボランティアやNPOで活動をしたことがありますか。

ボランティアやNPOで活動をしたことがあるかについては、「活動したことはない」が61.1%で最も多くなっています。次いで「以前はしていたが、現在は活動していない」の22.3%、「現在ボランティア活動をしている」の11.3%、「現在NPO活動をしている」の0.4%、「現在両方で活動している」の0.3%となっています。

前回調査（H27年度）と同様に、「活動したことはない」との回答が最も割合が高く、次いで「以前はしていたが、現在は活動していない」とこの2つの回答で8割を占めていますが、一方、ボランティアなどで活動している方の割合が若干増加しています。



地区別にみると、どの地区でも市全体と同様に「活動したことはない」「以前はしていたが、現在は活動していない」との回答で約8割を占めています。何らかの活動をしている方については、「現在ボランティア活動をしている」の割合は伊良部地区が他の地区に比べて割合が高くなっています。



問 12-1 どのような活動に参加していますか。

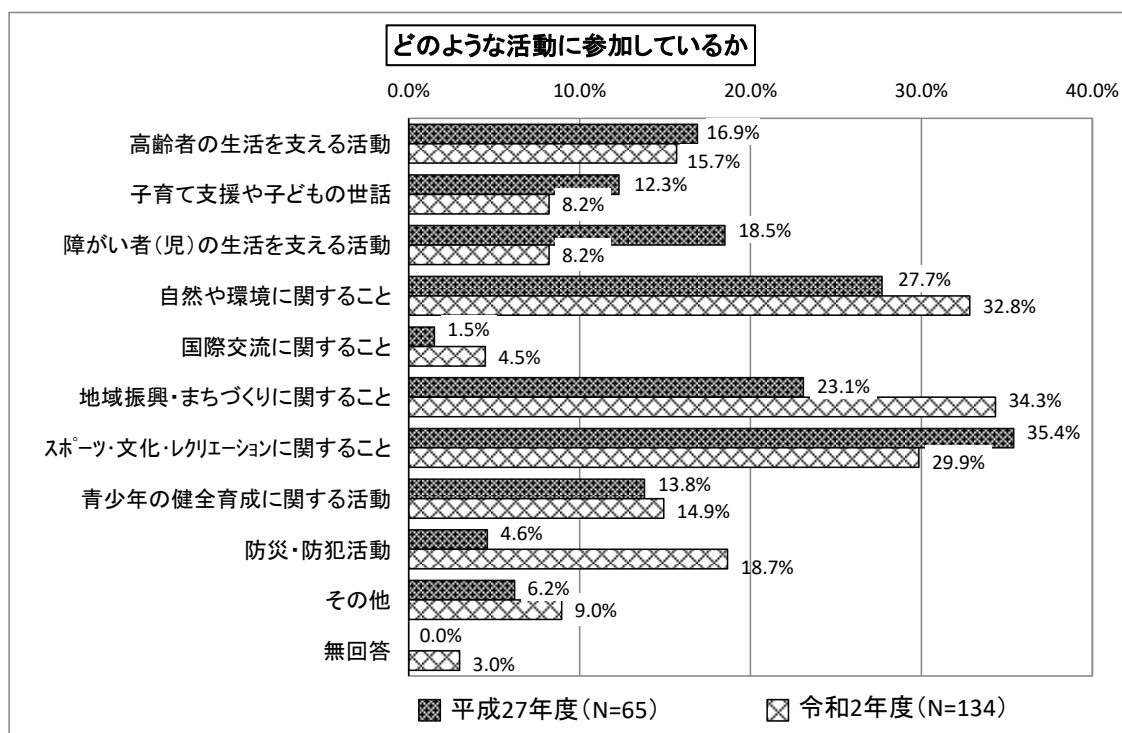
「問 12 で「現在ボランティア活動をしている」、「現在NPO活動をしている」、「現在両方で活動している」のいずれかを回答した方

どのような活動に参加しているかについては、「地域振興・まちづくりに関すること」が 34.3% で第 1 位となっています。第 2 位は「自然や環境に関すること」の 32.8%、第 3 位は「スポーツ・文化・レクリエーションに関すること」の 29.9%、第 4 位は「防災・防犯活動」の 18.7%、第 5 位は「高齢者の生活を支える活動」の 15.7%と続いています。

前回調査（H27 年度）と比べると、活動している上位の項目については概ね同様の傾向となっていますが、今回の調査では前回調査では上位 5 位に入っていない「防災・防犯活動」が入ってきています。

どのような活動に参加しているか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=65)	スポーツ・文化・レクリエーションに関すること 35.4%	自然や環境に関すること 27.7%	地域振興・まちづくりに関すること 23.1%	障がい者(児)の生活を支える活動 18.5%	高齢者の生活を支える活動 16.9%
令和2年度 (N=134)	地域振興・まちづくりに関すること 34.3%	自然や環境に関すること 32.8%	スポーツ・文化・レクリエーションに関すること 29.9%	防災・防犯活動 18.7%	高齢者の生活を支える活動 15.7%



地区別にみると、どの地区でも上位の項目は概ね一致していますが、上位5位の中で各地区にしか入っていない項目もあり、平良地区では「青少年の健全育成に関する活動」、城辺・下地・上野地区では「子育て支援や子どもの世話」、伊良部地区では「高齢者の生活を支える活動」となっています。

地区(3区分)×どのような活動に参加しているか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=41)	・自然や環境に関すること ・スポーツ・文化・レクリエーションに関すること 31.7%		青少年の健全育成に関する活動 19.5%	地域振興・まちづくりに関すること 17.1%	その他 12.2%
城辺・下地・上野地区 (N=40)	地域振興・まちづくりに関すること 42.5%	自然や環境に関すること 32.5%	スポーツ・文化・レクリエーションに関すること 30.0%	防災・防犯活動 20.0%	子育て支援や子どもの世話 15.0%
伊良部地区 (N=52)	地域振興・まちづくりに関すること 40.4%	自然や環境に関すること 34.6%	スポーツ・文化・レクリエーションに関すること 28.8%	防災・防犯活動 26.9%	高齢者の生活を支える活動 25.0%
市全体 (N=134)	地域振興・まちづくりに関すること 34.3%	自然や環境に関すること 32.8%	スポーツ・文化・レクリエーションに関すること 29.9%	防災・防犯活動 18.7%	高齢者の生活を支える活動 15.7%

地区(3区分)×どのような活動に参加しているか

		高齢者の生活を支える活動	子育て支援や子どもの世話	障がい者(児)の生活を支える活動	自然や環境に関すること	国際交流に関すること	地域振興・まちづくりに関すること	スポーツ・文化・レクリエーションに関すること
平良地区 (N=41)	回答件数	4	2	3	13	2	7	13
	%	9.8%	4.9%	7.3%	31.7%	4.9%	17.1%	31.7%
城辺・下地・上野地区 (N=40)	回答件数	4	6	4	13	4	17	12
	%	10.0%	15.0%	10.0%	32.5%	10.0%	42.5%	30.0%
伊良部地区 (N=52)	回答件数	13	3	4	18	0	21	15
	%	25.0%	5.8%	7.7%	34.6%	0.0%	40.4%	28.8%
市全体 (N=134)	回答件数	21	11	11	44	6	46	40
	%	15.7%	8.2%	8.2%	32.8%	4.5%	34.3%	29.9%

		青少年の健全育成に関する活動	防災・防犯活動	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=41)	回答件数	8	3	5	0	60	41
	%	19.5%	7.3%	12.2%	0.0%	146.3%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=40)	回答件数	4	8	4	1	77	40
	%	10.0%	20.0%	10.0%	2.5%	192.5%	100.0%
伊良部地区 (N=52)	回答件数	8	14	3	3	102	52
	%	15.4%	26.9%	5.8%	5.8%	196.2%	100.0%
市全体 (N=134)	回答件数	20	25	12	4	240	134
	%	14.9%	18.7%	9.0%	3.0%	179.1%	100.0%

問 12-2 なぜ活動をやめた、または活動しないのですか。

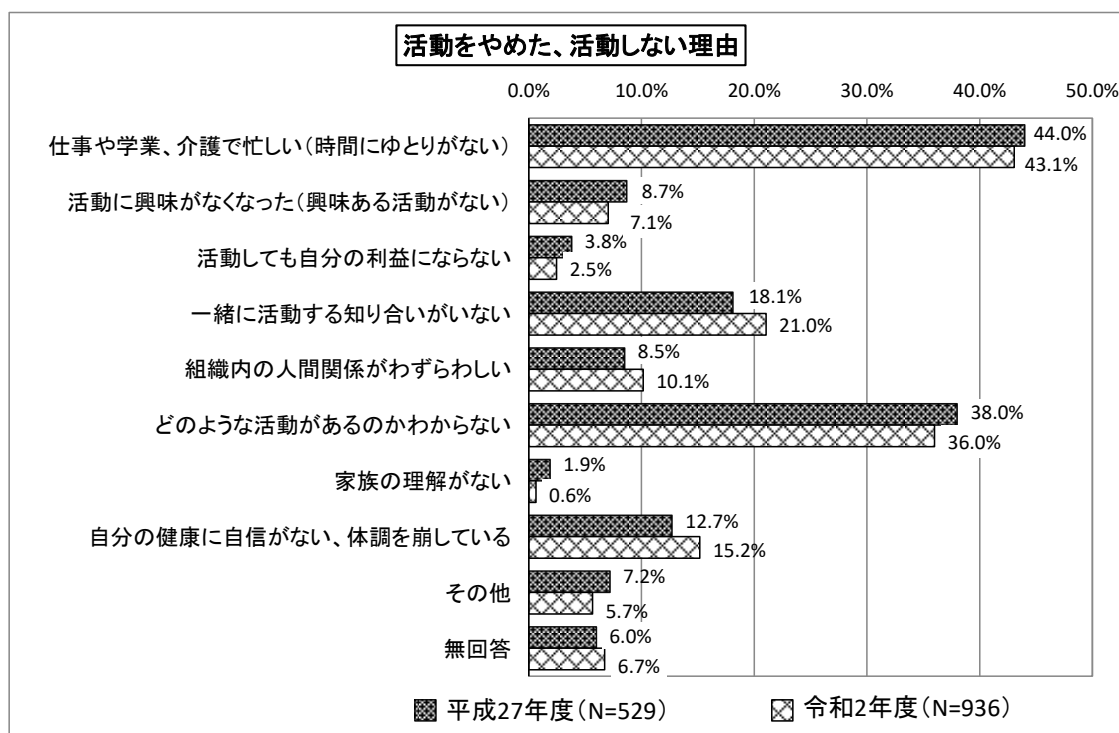
◀問 12 で「以前はしていたが、現在は活動していない」、「活動したことはない」のいずれかを回答した方

なぜ活動をやめた、または活動しないのかについては、「仕事や学業、介護で忙しい（時間にゆとりがない）」が 43.1%で第 1 位となっています。第 2 位は「どのような活動があるのかわからない」の 36.0%、第 3 位は「一緒に活動する知り合いがいない」の 21.0%、第 4 位は「自分の健康に自信がない、体調を崩している」の 15.2%、第 5 位は「組織内の人間関係がわずらわしい」の 10.1%と続いています。

前回調査（H27 年度）と比べると、活動しない理由の上位の項目は概ね一致していますが、今回調査では「組織内の人間関係がわずらわしい」が新たに上位 5 位に入ってきています。

活動をやめた、活動しない理由 上位 5 位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=529)	仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない) 44.0%	どのような活動があるのかわからない 38.0%	一緒に活動する知り合いがいない 18.1%	自分の健康に自信がない、体調を崩している 12.7%	活動に興味なくなった(興味ある活動がない) 8.7%
令和2年度 (N=936)	仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない) 43.1%	どのような活動があるのかわからない 36.0%	一緒に活動する知り合いがいない 21.0%	自分の健康に自信がない、体調を崩している 15.2%	組織内の人間関係がわずらわしい 10.1%



地区別にみると、どの地区においても市全体と同様の傾向となっています。

地区(3区分)×活動をやめた、活動しない理由 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=357)	仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない) 42.3%	どのような活動があるのかわからない 41.5%	一緒に活動する知り合いがいない 24.6%	自分の健康に自信がない、体調を崩している 14.8%	組織内の人間関係がわずらわしい 11.5%
城辺・下地・上野地区 (N=338)	仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない) 44.7%	どのような活動があるのかわからない 32.5%	一緒に活動する知り合いがいない 17.8%	自分の健康に自信がない、体調を崩している 13.9%	組織内の人間関係がわずらわしい 7.7%
伊良部地区 (N=235)	仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない) 41.7%	どのような活動があるのかわからない 33.2%	一緒に活動する知り合いがいない 19.6%	自分の健康に自信がない、体調を崩している 17.4%	組織内の人間関係がわずらわしい 11.9%
市全体 (N=936)	仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない) 43.1%	どのような活動があるのかわからない 36.0%	一緒に活動する知り合いがいない 21.0%	自分の健康に自信がない、体調を崩している 15.2%	組織内の人間関係がわずらわしい 10.1%

地区(3区分)×活動をやめた、活動しない理由

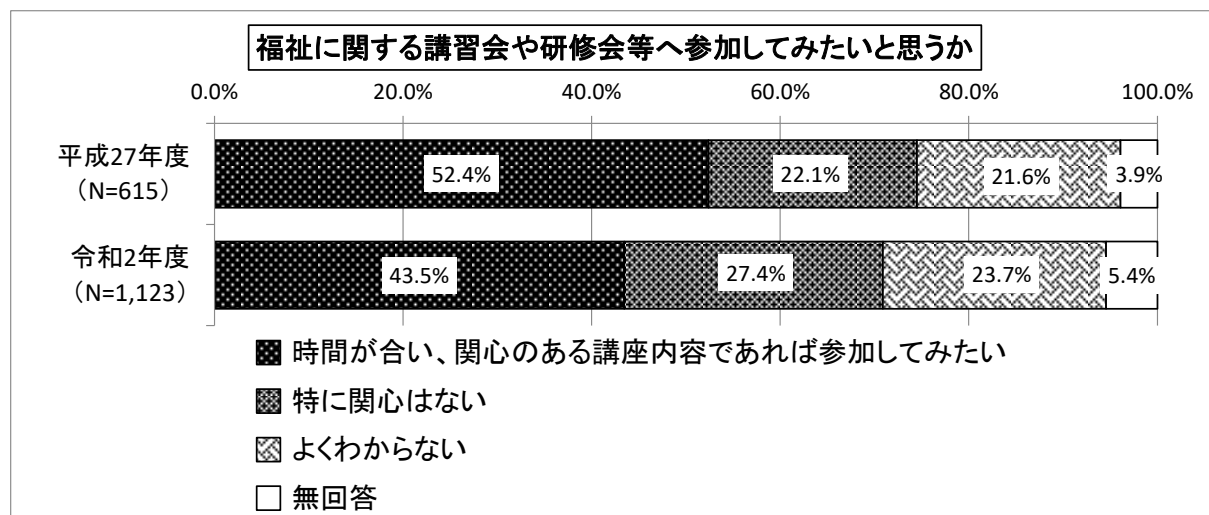
		仕事や学業、介護で忙しい(時間にゆとりがない)	活動に興味なくなった(興味ある活動がない)	活動しても自分の利益にならない	一緒に活動する知り合いがいない	組織内の人間関係がわずらわしい	どのような活動があるのかわからない
平良地区 (N=357)	回答件数 %	151 42.3%	22 6.2%	6 1.7%	88 24.6%	41 11.5%	148 41.5%
城辺・下地・上野地区 (N=338)	回答件数 %	151 44.7%	23 6.8%	7 2.1%	60 17.8%	26 7.7%	110 32.5%
伊良部地区 (N=235)	回答件数 %	98 41.7%	21 8.9%	10 4.3%	46 19.6%	28 11.9%	78 33.2%
市全体 (N=936)	回答件数 %	403 43.1%	66 7.1%	23 2.5%	197 21.0%	95 10.1%	337 36.0%

		家族の理解がない	自分の健康に自信がない、体調を崩している	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=357)	回答件数 %	1 0.3%	53 14.8%	17 4.8%	19 5.3%	546 152.9%	357 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=338)	回答件数 %	0 0.0%	47 13.9%	24 7.1%	28 8.3%	476 140.8%	338 100.0%
伊良部地区 (N=235)	回答件数 %	5 2.1%	41 17.4%	12 5.1%	16 6.8%	355 151.1%	235 100.0%
市全体 (N=936)	回答件数 %	6 0.6%	142 15.2%	53 5.7%	63 6.7%	1,385 148.0%	936 100.0%

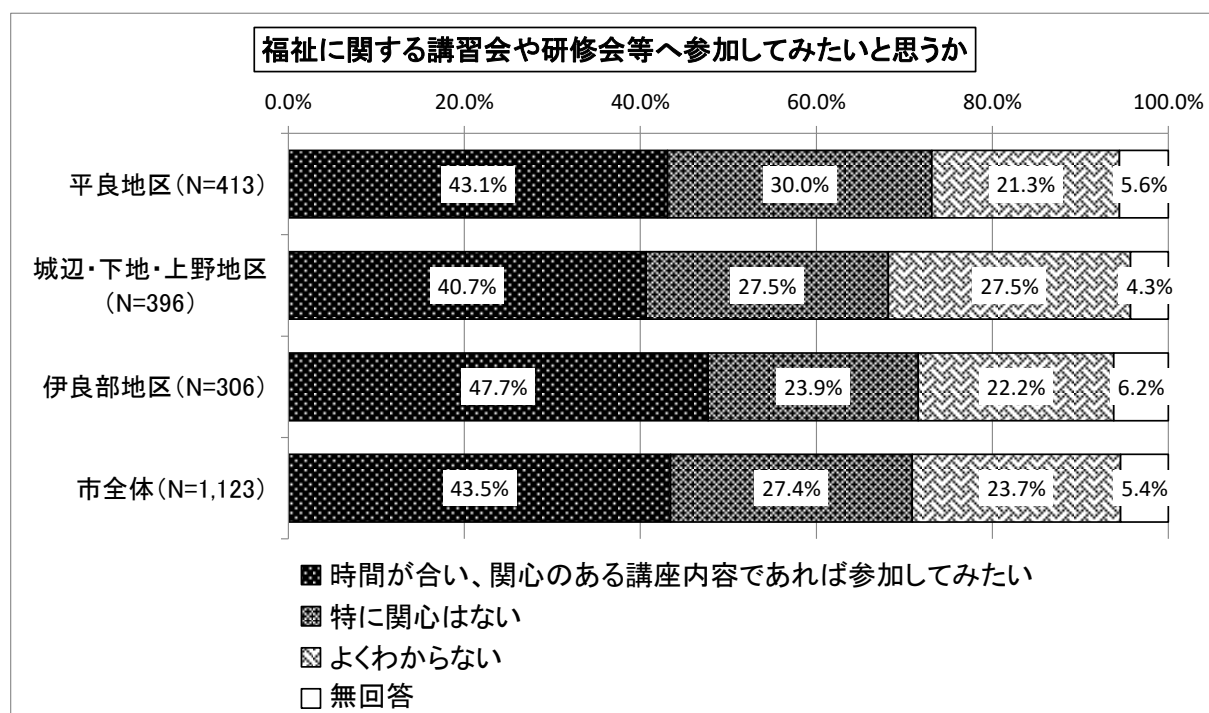
問 13 地域で福祉に関する講習会や研修会等へ参加してみたいと思いますか。

地域で福祉に関する講習会や研修会等へ参加してみたいかについては、「時間が合い、関心のある講座内容であれば参加してみたい」が43.5%で最も多くなっています。次いで「特に関心はない」の27.4%、「よくわからない」の23.7%となっています。

前回調査（H27 年度）と比べると、回答割合の傾向は変わらないものの、「時間が合い、関心のある講座内容であれば参加してみたい」との回答割合が減少し、逆に「特に関心はない」及び「よくわからない」の割合が増加しています。



地区別にみると、どの地区においても市全体の傾向と同様に「時間が合い、関心のある講座内容であれば参加してみたい」との回答が最も多く、40%以上を占めています。その中でも伊良部地区が最も高い割合となっています。



問 13-1 どのような講座内容に興味がありますか。

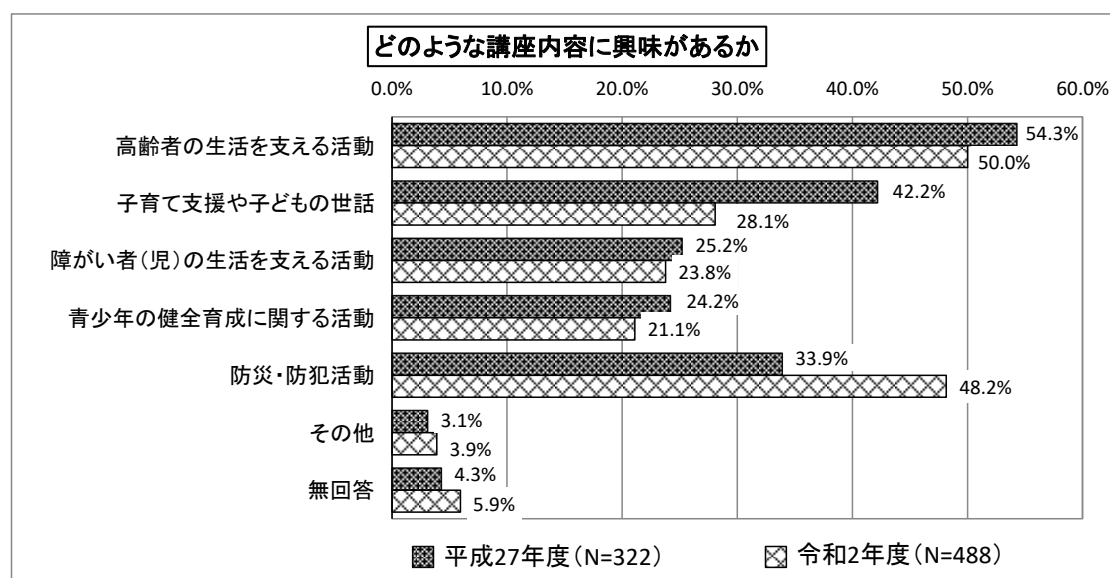
《問 13 で「時間が合い、関心のある講座内容であれば参加してみたい」と回答した方》

どのような講座内容に興味があるかについては、「高齢者の生活を支える活動」が 50.0%で第 1 位となっています。第 2 位は「防災・防犯活動」の 48.2%、第 3 位は「子育て支援や子どもの世話」の 28.1%、第 4 位は「障がい者（児）の生活を支える活動」の 23.8%、第 5 位は「青少年の健全育成に関する活動」の 21.1%と続いています。

前回調査（H27 年度）と比べると、上位 5 位にあげられている項目は一致していますが、「防災・防犯活動」が前回調査の第 3 位から第 2 位へと順位が上がっていることから、防災や防犯に対する市民の関心が高まっていることが考えられます。

どのような講座内容に興味があるか 上位 5 位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=322)	高齢者の生活を支える活動 54.3%	子育て支援や子どもの世話 42.2%	防災・防犯活動 33.9%	障がい者（児）の生活を支える活動 25.2%	青少年の健全育成に関する活動 24.2%
令和2年度 (N=488)	高齢者の生活を支える活動 50.0%	防災・防犯活動 48.2%	子育て支援や子どもの世話 28.1%	障がい者（児）の生活を支える活動 23.8%	青少年の健全育成に関する活動 21.1%



地区別にみると、どの地区でも上位5位に入っている項目は一致しています。

地区(3区分)×どのような講座内容に興味があるか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=178)	高齢者の生活を支える活動 46.1%	防災・防犯活動 42.7%	子育て支援や子どもの世話 34.3%	青少年の健全育成に関する活動 25.8%	障がい者(児)の生活を支える活動 24.7%
城辺・下地・上野地区 (N=161)	高齢者の生活を支える活動 54.7%	防災・防犯活動 43.5%	子育て支援や子どもの世話 30.4%	障がい者(児)の生活を支える活動 23.6%	青少年の健全育成に関する活動 14.3%
伊良部地区 (N=146)	防災・防犯活動 59.6%	高齢者の生活を支える活動 50.0%	青少年の健全育成に関する活動 23.3%	障がい者(児)の生活を支える活動 22.6%	子育て支援や子どもの世話 17.8%
市全体 (N=488)	高齢者の生活を支える活動 50.0%	防災・防犯活動 48.2%	子育て支援や子どもの世話 28.1%	障がい者(児)の生活を支える活動 23.8%	青少年の健全育成に関する活動 21.1%

地区(3区分)×どのような講座内容に興味があるか

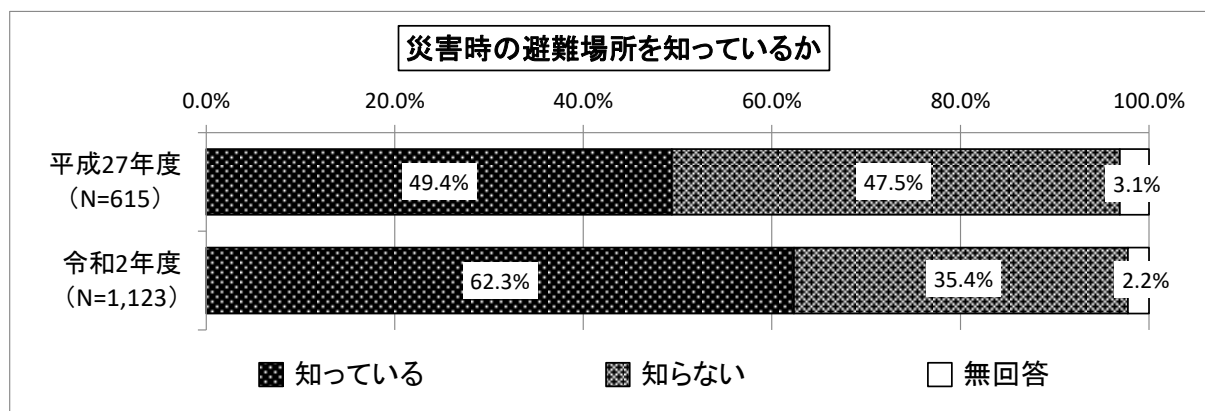
		高齢者の生活を支える活動	子育て支援や子どもの世話	障がい者(児)の生活を支える活動	青少年の健全育成に関する活動	防災・防犯活動	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=178)	回答件数	82	61	44	46	76	12	9	330	178
	%	46.1%	34.3%	24.7%	25.8%	42.7%	6.7%	5.1%	185.4%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=161)	回答件数	88	49	38	23	70	1	12	281	161
	%	54.7%	30.4%	23.6%	14.3%	43.5%	0.6%	7.5%	174.5%	100.0%
伊良部地区 (N=146)	回答件数	73	26	33	34	87	6	8	267	146
	%	50.0%	17.8%	22.6%	23.3%	59.6%	4.1%	5.5%	182.9%	100.0%
市全体 (N=488)	回答件数	244	137	116	103	235	19	29	883	488
	%	50.0%	28.1%	23.8%	21.1%	48.2%	3.9%	5.9%	180.9%	100.0%

4. 安心・安全な暮らしについて

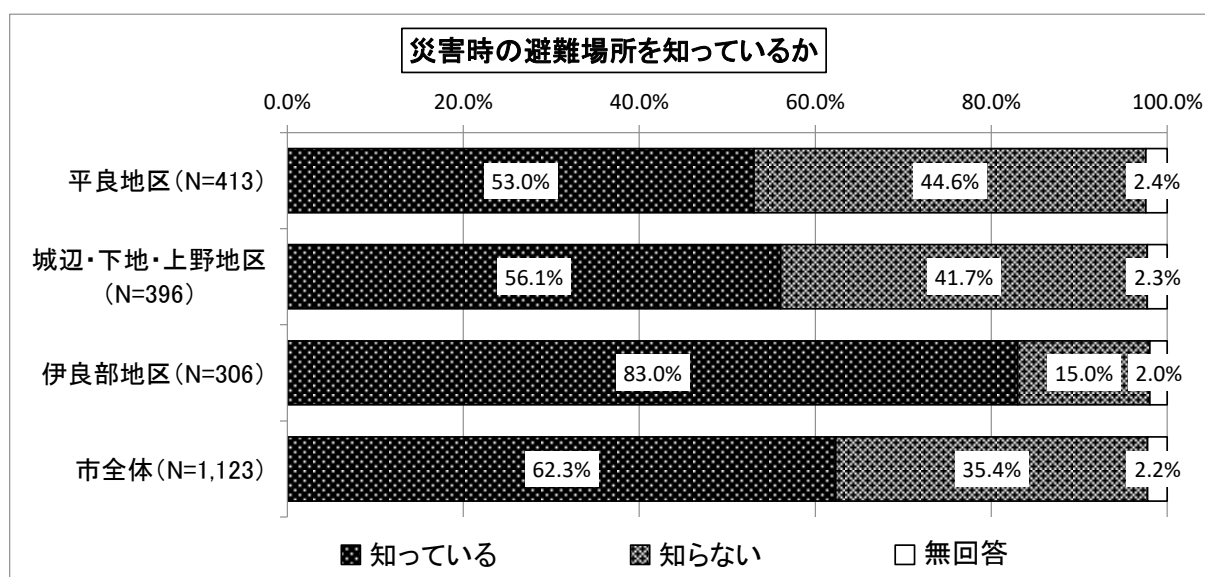
問 14 あなたは災害時の避難場所を知っていますか。

災害時の避難場所を知っているかについては、「知っている」が62.3%、「知らない」が35.4%となっています。

前回調査（H27年度）と比べると、「知っている」との回答割合が12.9ポイント増加しており、認知度が高くなっています。



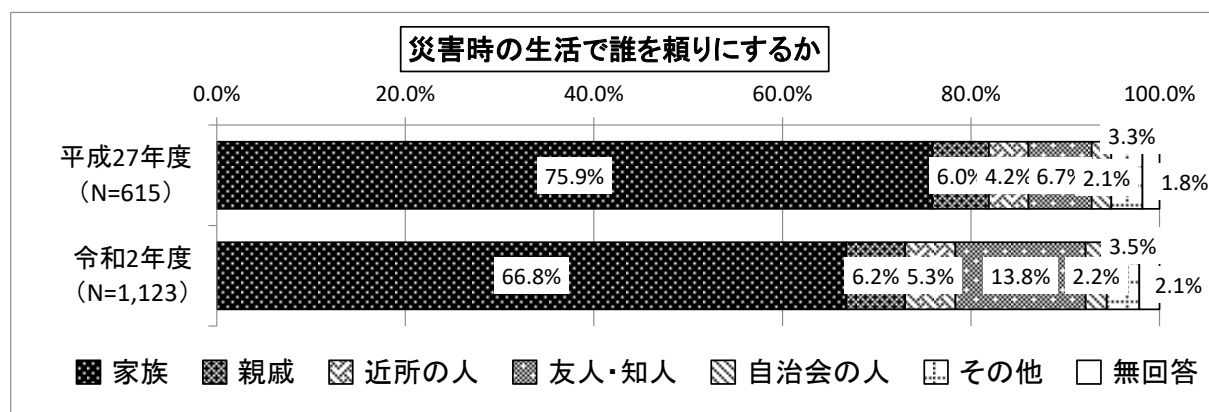
地区別にみると、「知っている」との回答割合は平良地区及び城辺・下地・上野地区において50%台なのに対し、伊良部地区では80%台と高い割合となっています。



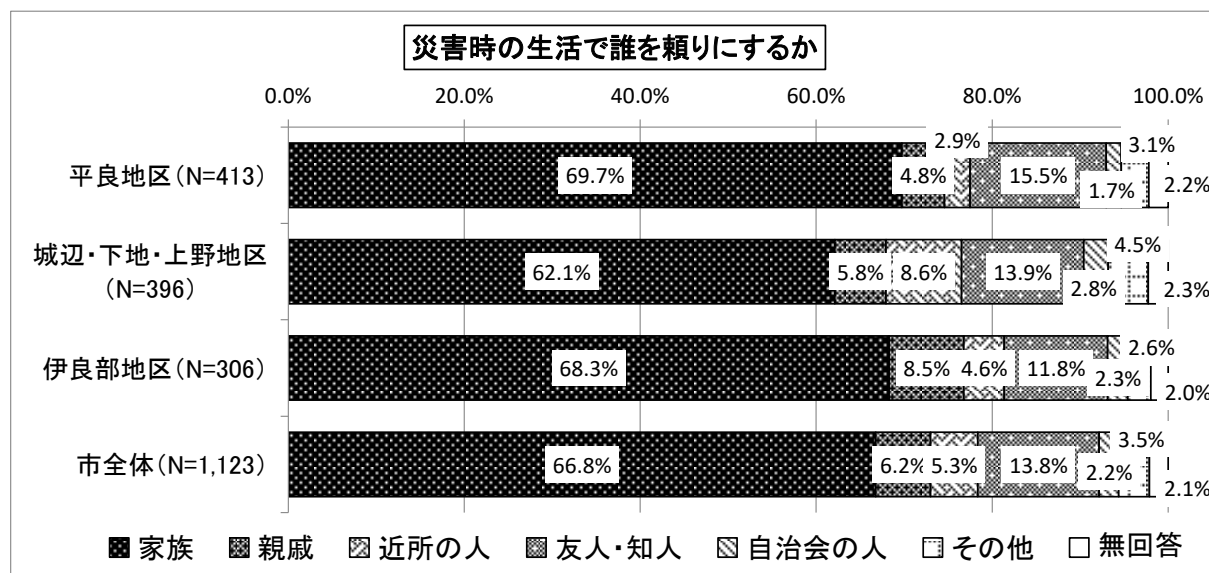
問 15 あなたは災害時の生活で誰を頼りにしますか。

災害時の生活で誰を頼りにするかについては、「家族」が66.8%で最も多くなっています。次いで「友人・知人」の13.8%、「親戚」の6.2%、「近所の人」の5.3%、「その他」の3.5%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、今回調査においても同様に「家族」の割合が過半数を占めているものの割合は9.1ポイント減少しており、一方で「友人・知人」の割合が前回調査より7.1ポイント増加しています。



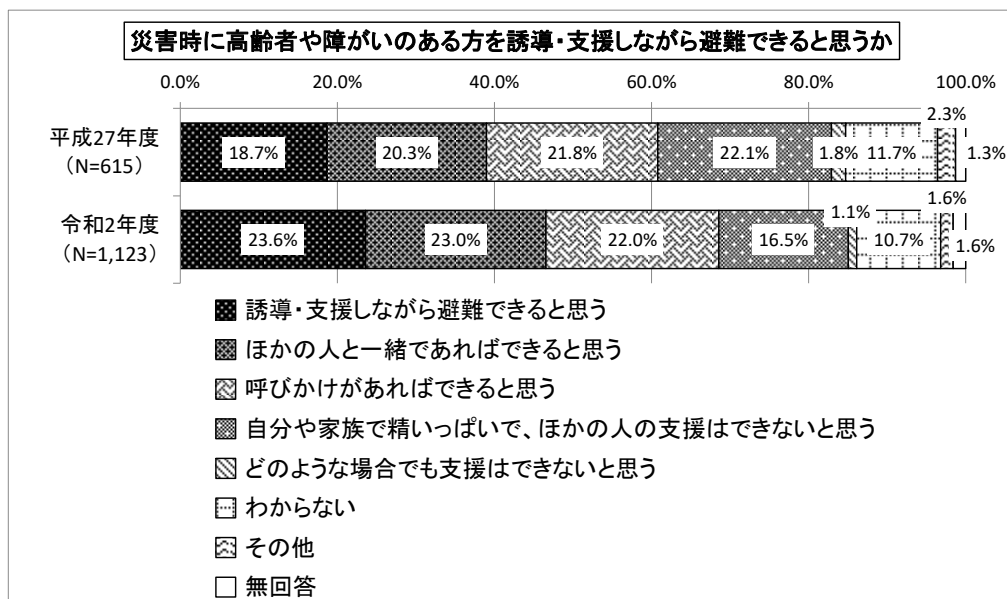
地区別にみると、どの地区においても市全体の傾向と同様に「家族」及び「友人・知人」の割合が高くなっています。



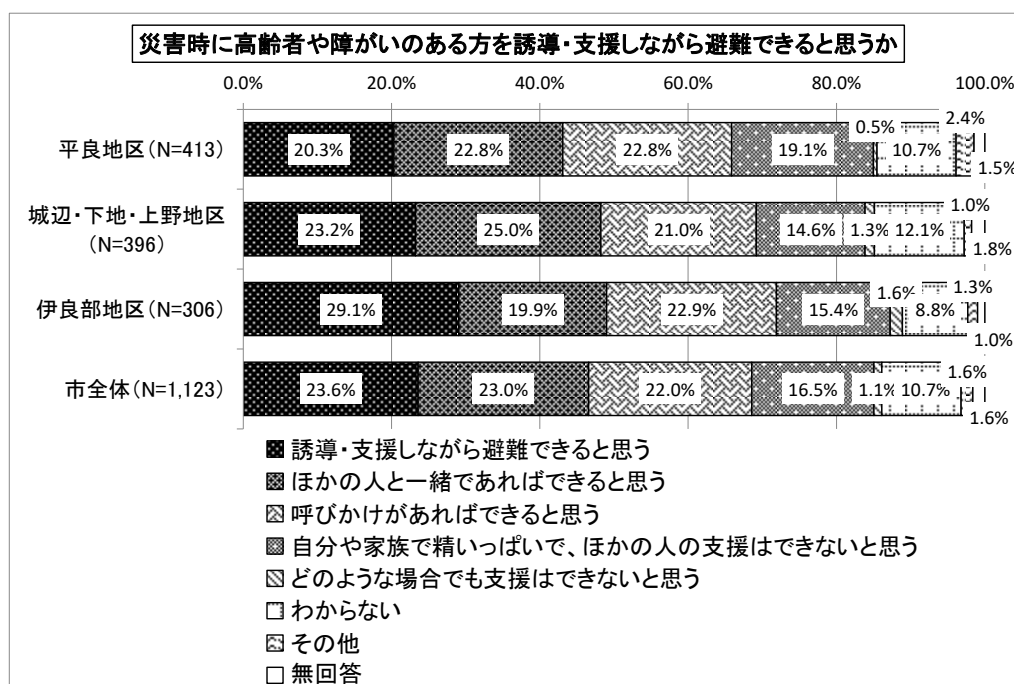
問 16 在宅時に災害が発生して避難する必要がある場合、あなたは近所の高齢者や障がいのある方などを誘導・支援しながら避難できると思いますか。

災害時に近所の高齢者や障がいのある方を誘導・支援しながら避難できると思うかについては、「誘導・支援しながら避難できると思う」が23.6%で最も多くなっています。次いで「ほかの人と一緒にあればできると思う」の23.0%、「呼びかけがあればできると思う」の22.0%、「自分や家族で精いっぱい、ほかの人の支援はできないと思う」の16.5%、「わからない」の10.7%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、今回調査では誘導・支援など何らかの支援はできるとの回答割合が増加しています。



地区別にみると、どの地区においても回答割合の傾向は概ね一致しています。その中で「誘導・支援しながら避難できると思う」との回答をみると、他の地区に比べて伊良部地区の割合が高くなっています。



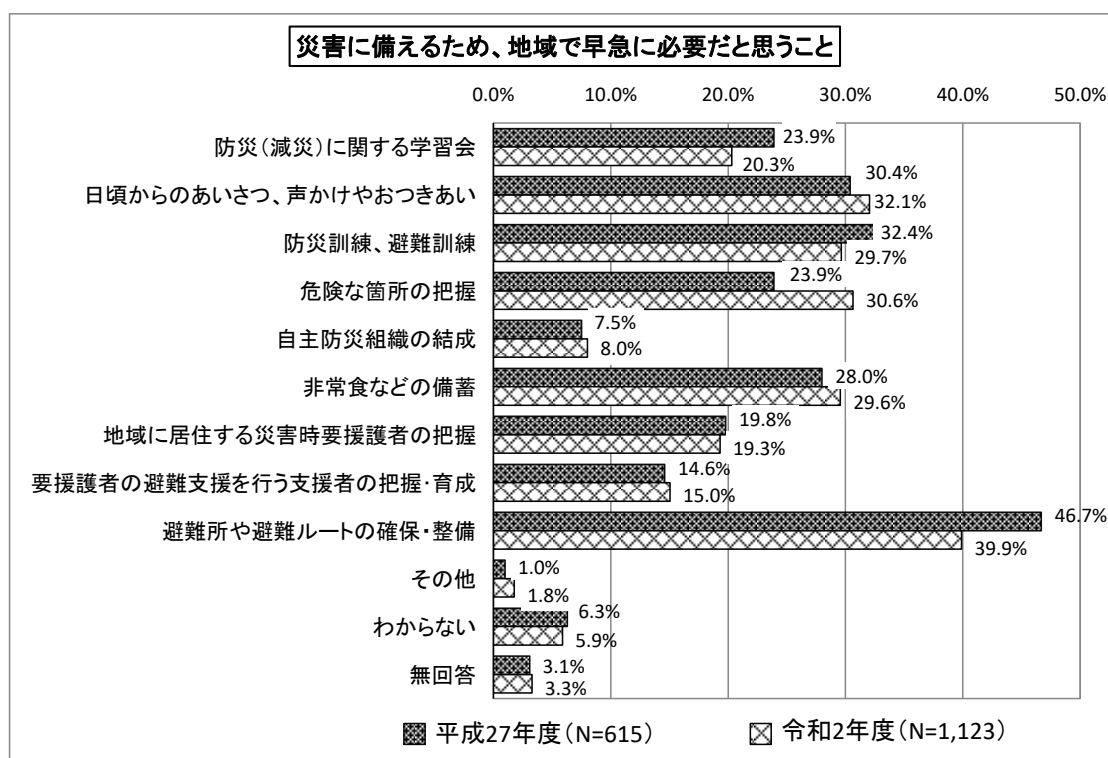
問 17 災害に備えるために、あなたの地域で早急に必要だと思うことは次のどれですか。

災害に備えるために、地域で早急に必要だと思うことについては、「避難所や避難ルートの確保・整備」が 39.9%で第1位となっています。第2位は「日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい」の 32.1%、第3位は「危険な箇所の把握」の 30.6%、第4位は「防災訓練、避難訓練」の 29.7%、第5位は「非常食などの備蓄」の 29.6%と続いています。

前回調査（H27 年度）と比べると、上位5位の項目は概ね一致していますが、今回調査において新たに「危険な箇所の把握」の回答が上位に入ってきています。

災害に備えるため、地域で早急に必要だと思うこと 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	避難所や避難ルートの確保・整備 46.7%	防災訓練、避難訓練 32.4%	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい 30.4%	非常食などの備蓄 28.0%	防災(減災)に関する学習会 23.9%
令和2年度 (N=1,123)	避難所や避難ルートの確保・整備 39.9%	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい 32.1%	危険な箇所の把握 30.6%	防災訓練、避難訓練 29.7%	非常食などの備蓄 29.6%



地区別にみると、順位の違いはあるものの上位5位に入っている項目はどの地区も一致しています。

地区(3区分)×災害に備えるため、地域で早急に必要だと思うこと 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	避難所や避難ルートの確保・整備 45.5%	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい 31.0%	危険な箇所の把握 30.0%	非常食などの備蓄 29.8%	防災訓練、避難訓練 26.4%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	避難所や避難ルートの確保・整備 40.9%	危険な箇所の把握 31.8%	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい 30.6%	防災訓練、避難訓練 30.1%	非常食などの備蓄 29.3%
伊良部地区 (N=306)	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい 35.9%	防災訓練、避難訓練 33.7%	避難所や避難ルートの確保・整備 31.0%	・危険な箇所の把握 ・非常食などの備蓄 29.4%	
市全体 (N=1,123)	避難所や避難ルートの確保・整備 39.9%	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい 32.1%	危険な箇所の把握 30.6%	防災訓練、避難訓練 29.7%	非常食などの備蓄 29.6%

地区(3区分)×災害に備えるため、地域で早急に必要だと思うこと

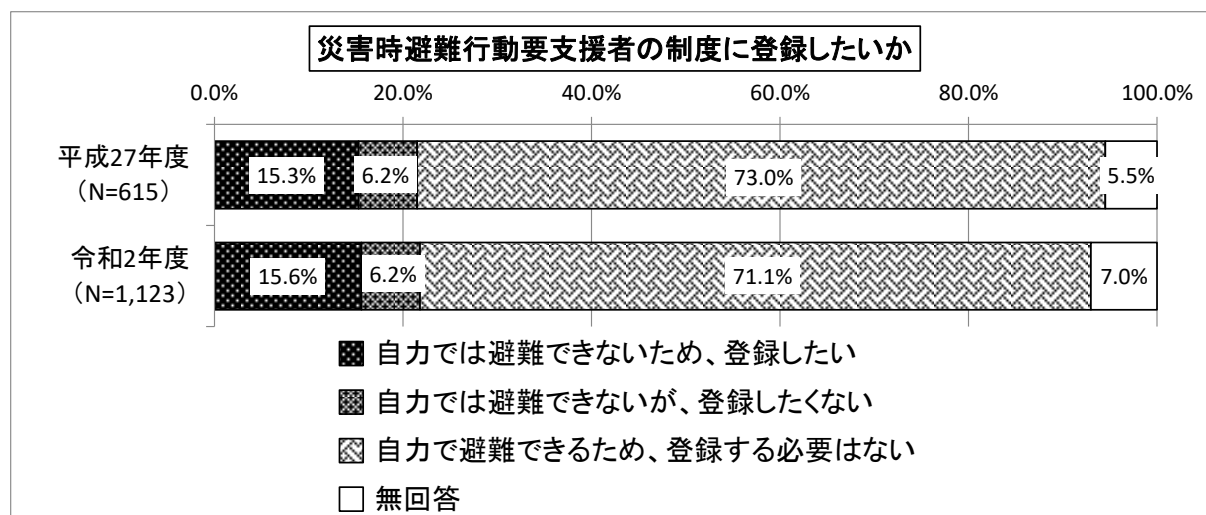
		防災(減災)に関する学習会	日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい	防災訓練、避難訓練	危険な箇所の把握	自主防災組織の結成	非常食などの備蓄	地域に居住する災害時要援護者の把握
平良地区 (N=413)	回答件数 %	74 17.9%	128 31.0%	109 26.4%	124 30.0%	31 7.5%	123 29.8%	75 18.2%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	79 19.9%	121 30.6%	119 30.1%	126 31.8%	32 8.1%	116 29.3%	75 18.9%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	74 24.2%	110 35.9%	103 33.7%	90 29.4%	27 8.8%	90 29.4%	66 21.6%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	228 20.3%	360 32.1%	333 29.7%	344 30.6%	90 8.0%	332 29.6%	217 19.3%

		要援護者の避難支援を行う支援者の把握・育成	避難所や避難ルートの確保・整備	その他	わからない	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=413)	回答件数 %	55 13.3%	188 45.5%	5 1.2%	29 7.0%	13 3.1%	954 231.0%	413 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	51 12.9%	162 40.9%	11 2.8%	23 5.8%	15 3.8%	930 234.8%	396 100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	62 20.3%	95 31.0%	4 1.3%	13 4.2%	8 2.6%	742 242.5%	306 100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	169 15.0%	448 39.9%	20 1.8%	66 5.9%	37 3.3%	2,644 235.4%	1,123 100.0%

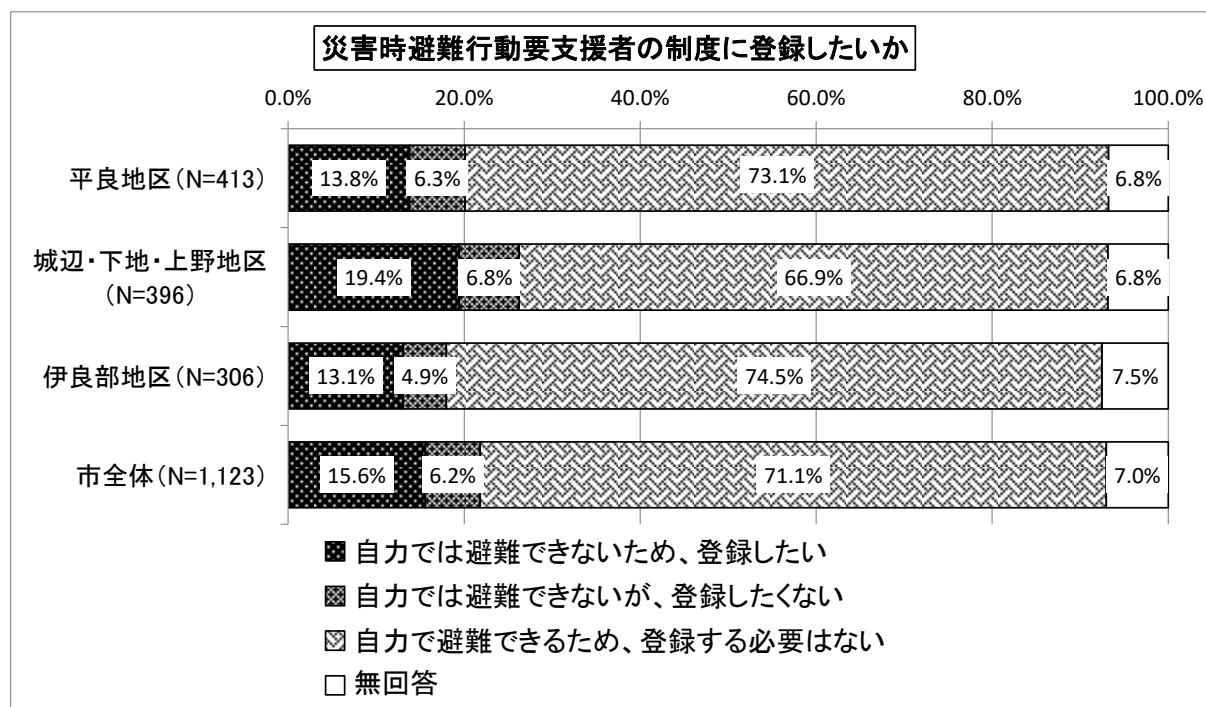
問 18 宮古島市では、災害時に自力で避難ができず、支援を必要とする災害時要援護者への支援を迅速かつ適切に行うため、災害時要援護者の登録を行っています。あなたはこの制度に登録したいと思いますか。

災害時要援護者の制度に登録したいかについては、「自力で避難できるため、登録する必要はない」が 71.1%で最も多くなっています。次いで「自力では避難できないため、登録したい」の 15.6%、「自力では避難できないが、登録したくない」の 6.2%となっています。

前回調査（H27 年度）と比べても大きな違いはみられません。



地区別にみると、どの地区でも市全体と同様に「自力で避難できるため、登録する必要はない」との回答が約7割を占めています。また、「自力では避難できないため、登録したい」の割合をみると、3地区の中で城辺・下地・上野地区の割合が他の地区に比べて高くなっています。



5. 福祉等に関する情報の入手方法や制度の認知度、行政に期待することについて

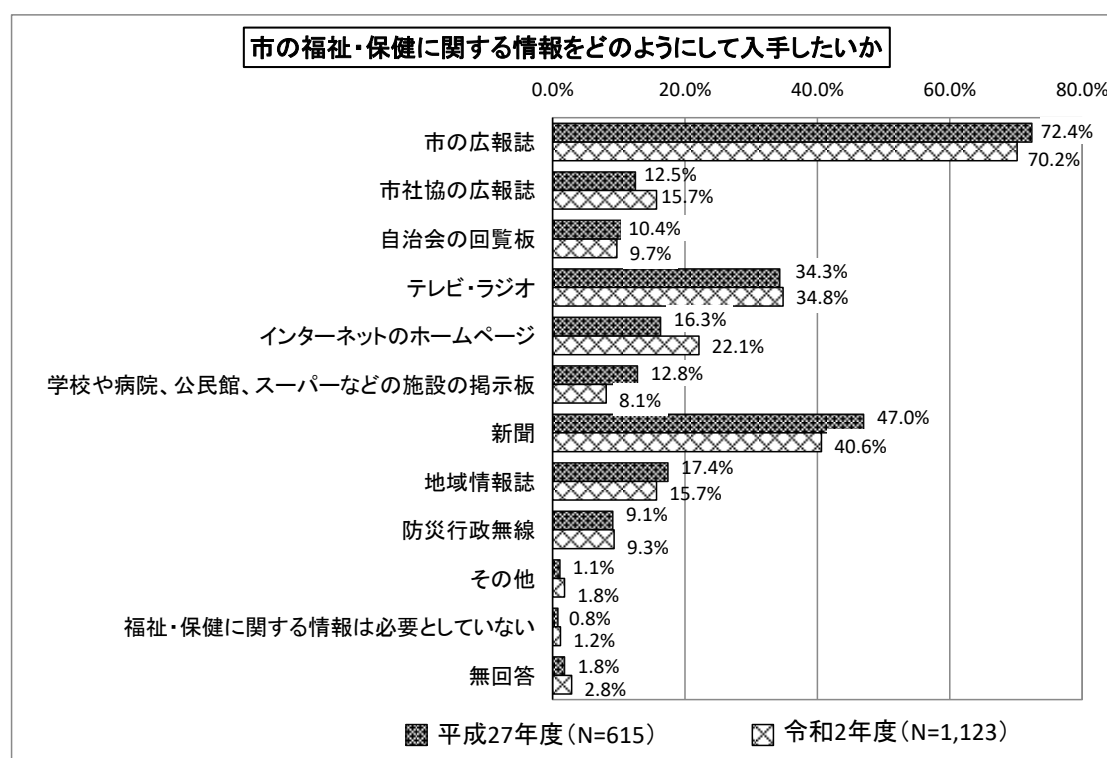
問 19 あなたは市の福祉・保健に関する情報をどのようにして入手したいですか。

市の福祉・保健に関する情報をどのようにして入手したいかについては、「市の広報誌」が70.2%で第1位となっています。第2位は「新聞」の40.6%、第3位は「テレビ・ラジオ」の34.8%、第4位は「インターネットのホームページ」の22.1%、第5位は「市社協の広報誌」および「地域情報誌」が同率で15.7%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べても、上位5位の項目は一致していますが、「インターネットのホームページ」の順位・割合ともに今回調査が上回ってきています。

市の福祉・保健に関する情報をどのようにして入手したいか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	市の広報誌 72.4%	新聞 47.0%	テレビ・ラジオ 34.3%	地域情報誌 17.4%	インターネットのホームページ 16.3%
令和2年度 (N=1,123)	市の広報誌 70.2%	新聞 40.6%	テレビ・ラジオ 34.8%	インターネットのホームページ 22.1%	市社協の広報誌・地域情報誌 15.7%



地区別にみると、どの地区においても上位の項目は概ね一致しています。その中で、平良地区及び城辺・下地・上野地区においては「インターネットのホームページ」が上位5位に入っているものの、伊良部地区では入っておらず、代わりに「防災行政無線」がはいっています。

地区(3区分)×市の福祉・保健に関する情報をどのようにして入手したいか 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	市の広報誌 74.1%	新聞 41.6%	テレビ・ラジオ 33.4%	インターネットのホームページ 25.4%	地域情報誌 15.7%
城辺・下地・ 上野地区 (N=396)	市の広報誌 65.4%	新聞 37.4%	テレビ・ラジオ 32.6%	インターネットのホームページ 23.5%	市社協の広報誌 17.9%
伊良部地区 (N=306)	市の広報誌 70.6%	新聞 42.5%	テレビ・ラジオ 39.9%	地域情報誌 17.0%	防災行政無線 16.3%
市全体 (N=1,123)	市の広報誌 70.2%	新聞 40.6%	テレビ・ラジオ 34.8%	インターネットのホームページ 22.1%	市社協の広報誌・地域情報誌 15.7%

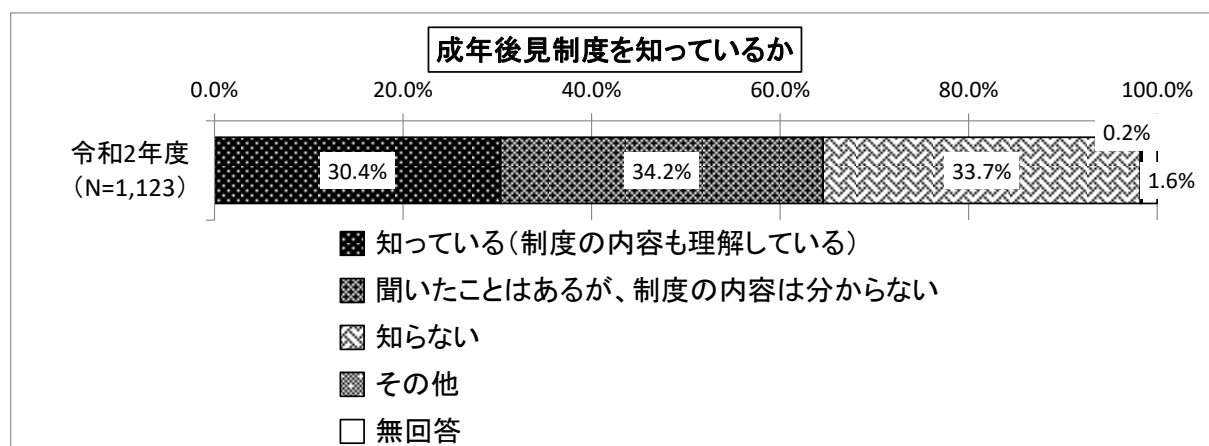
地区(3区分)×市の福祉・保健に関する情報をどのようにして入手したいか

		市の広報誌	市社協の広報誌	自治会の回覧板	テレビ・ラジオ	インターネットのホームページ	学校や病院、公民館、スーパーなどの施設の掲示板	新聞
平良地区 (N=413)	回答件数 %	306 74.1%	56 13.6%	30 7.3%	138 33.4%	105 25.4%	29 7.0%	172 41.6%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	259 65.4%	71 17.9%	48 12.1%	129 32.6%	93 23.5%	34 8.6%	148 37.4%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	216 70.6%	49 16.0%	29 9.5%	122 39.9%	47 15.4%	27 8.8%	130 42.5%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	788 70.2%	176 15.7%	109 9.7%	391 34.8%	248 22.1%	91 8.1%	456 40.6%

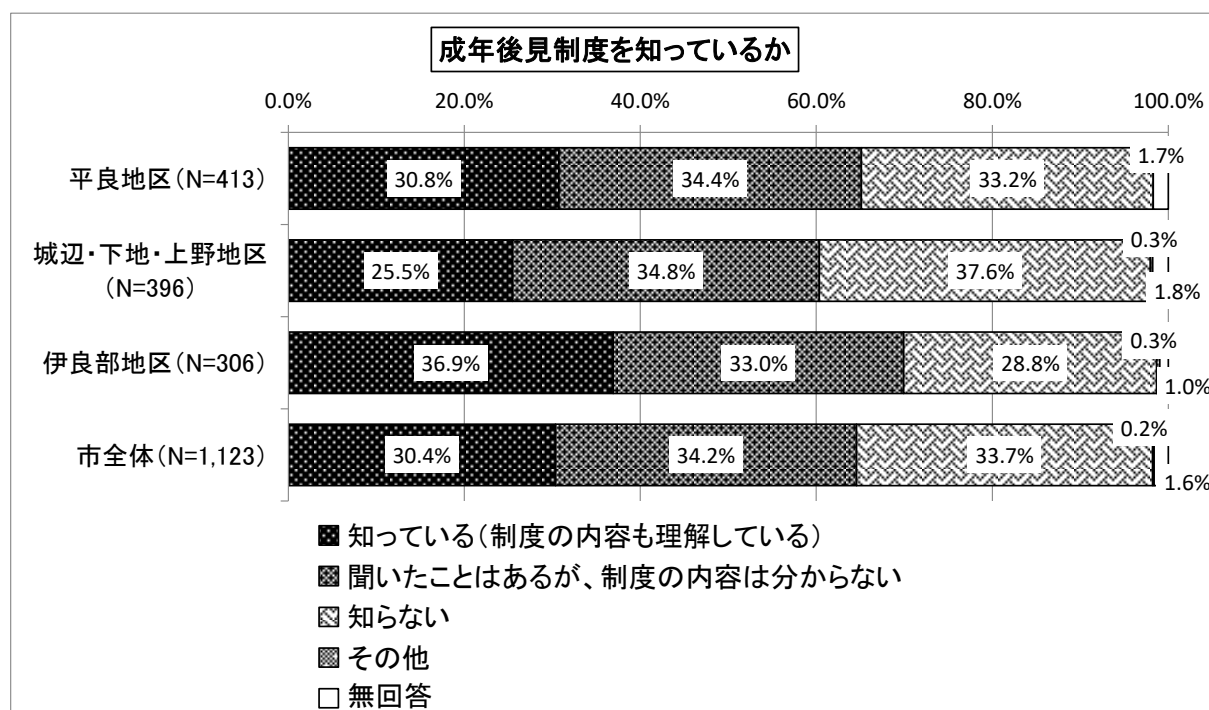
		地域情報誌	防災行政無線	その他	福祉・保健に関する情報は必要としない	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=413)	回答件数 %	65 15.7%	20 4.8%	7 1.7%	6 1.5%	12 2.9%	946 229.1%	413 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	59 14.9%	33 8.3%	12 3.0%	5 1.3%	8 2.0%	899 227.0%	396 100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	52 17.0%	50 16.3%	1 0.3%	2 0.7%	12 3.9%	737 240.8%	306 100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	176 15.7%	104 9.3%	20 1.8%	13 1.2%	32 2.8%	2,604 231.9%	1,123 100.0%

問 20 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（前回調査では設問なし）

成年後見制度を知っているかについては、「聞いたことはあるが、制度の内容は分からない」が34.2%で最も多くなっています。次いで「知らない」の33.7%、「知っている（制度の内容も理解している）」の30.4%、「その他」の0.2%となっています。

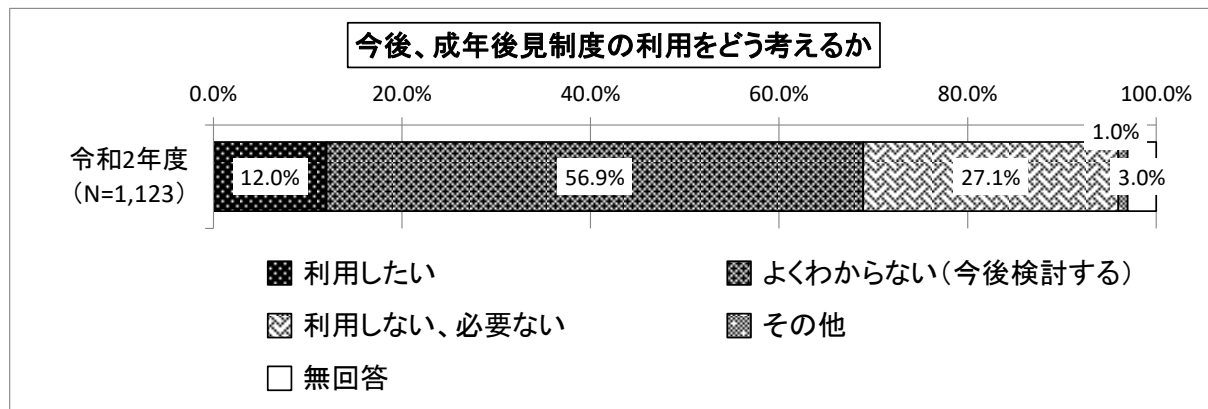


地区別にみると、どの地区においても市全体と同様に「知っている（制度の内容も理解している）」「聞いたことはあるが、制度の内容は分からない」「知らない」が約3割ずつの割合となっています。

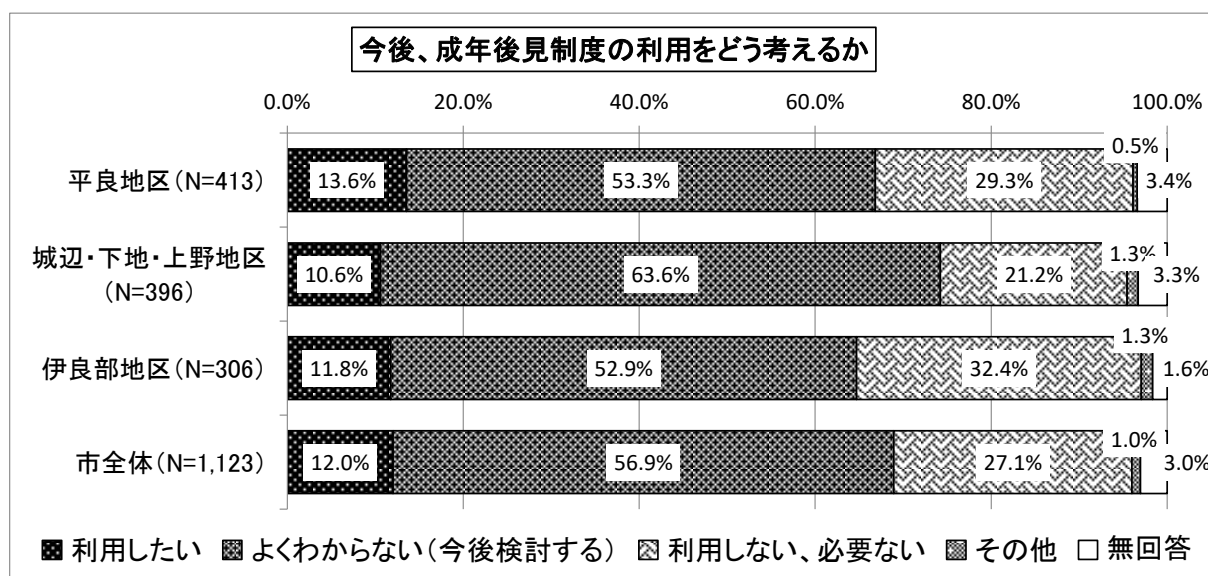


問 21 今後、成年後見制度の利用についてどのように考えますか。（前回調査では設問なし）

今後、成年後見制度の利用についてどう考えるかについては、「よくわからない(今後検討する)」が56.9%で最も多くなっています。次いで「利用しない、必要ない」の27.1%、「利用したい」の12.0%、「その他」の1.0%となっています。

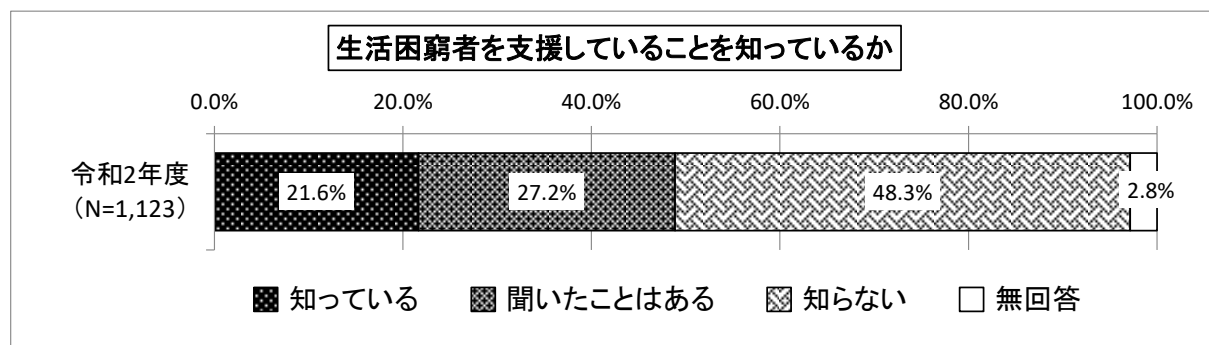


地区別にみると、どの地区においても市全体と同様の傾向となっています。「利用したい」の割合をみると、3地区の中で平良地区の割合が他の地区及び市全体の割合よりも高くなっています。

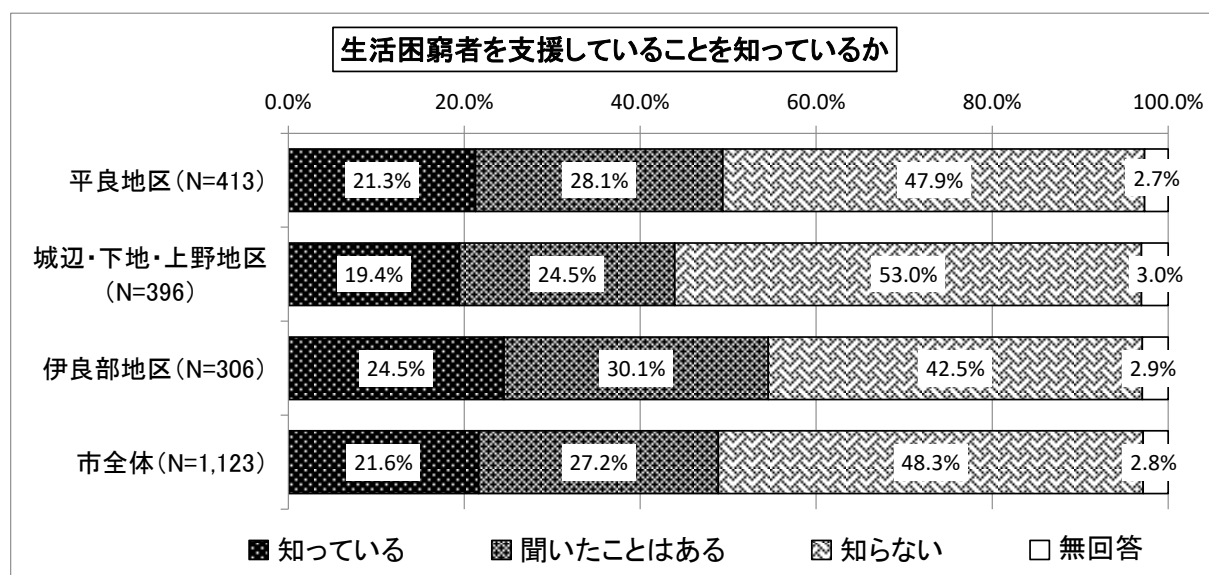


問 22 現在、宮古福祉事務所及び宮古島市役所（福祉政策課）において、失業等により経済的な問題で生活に困っている方を対象に、相談から自立まで継続して支援しています。あなたはこのことをご存知ですか。（前回調査では設問なし）

生活困窮者を支援していることを知っているかについては、「知らない」が 48.3%で最も多くなっています。次いで「聞いたことはある」の 27.2%、「知っている」の 21.6%となっています。



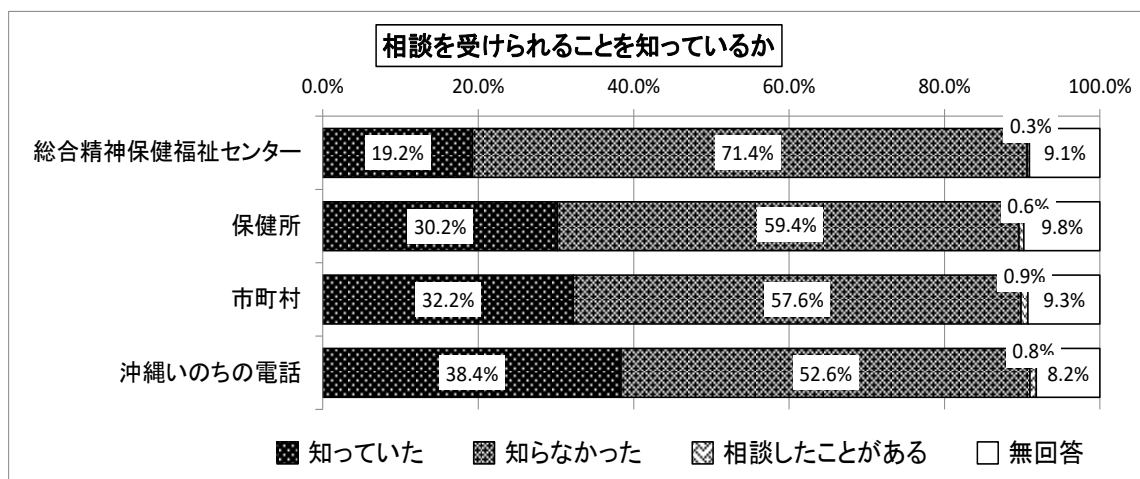
地区別にみても、どの地区においても市全体と同様の傾向となっています。その中で「知っている」及び「聞いたことはある」の割合は、伊良部地区が他の2地区よりも割合が高くなっています。



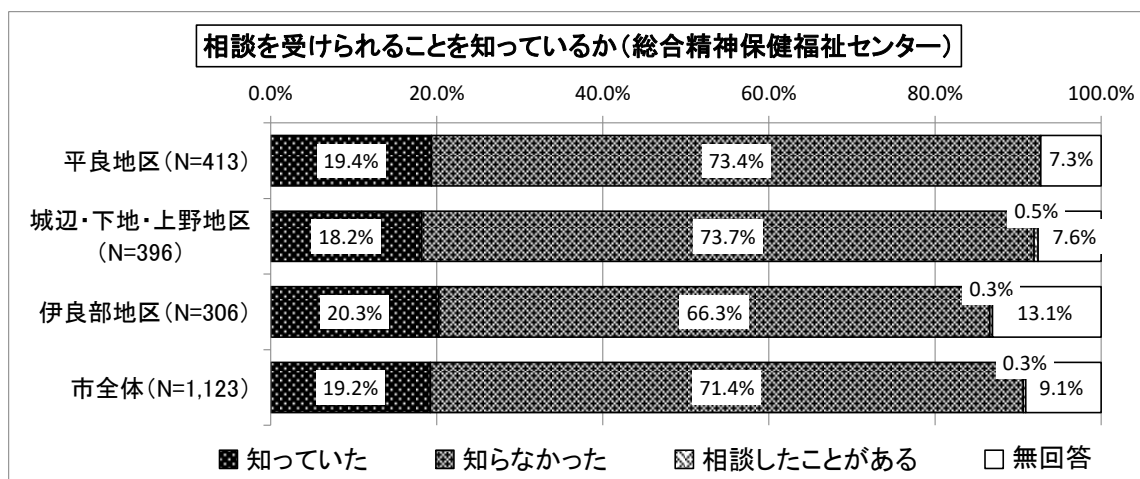
問 23 孤独や不安にさいなまれ、生きる希望や気力を失いつつある人々（自殺や自殺未遂者）に関して「総合精神保健福祉センター」、「保健所」、「市町村」、「沖縄いのちの電話」等でも相談を受けられることを知っていますか。（前回調査では設問なし）

相談を受けられることを知っているかで、「知っていた」と回答する割合が最も高い項目は「沖縄いのちの電話」で38.4%となっており、一方「知らなかった」と回答する割合が最も高い項目は「総合精神保健福祉センター」の71.4%となっています。

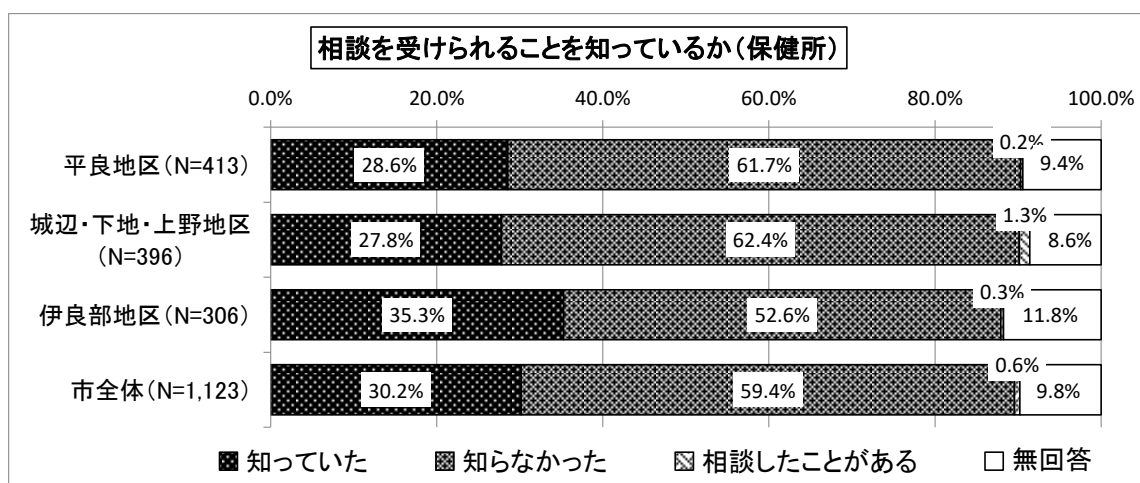
どの機関においても「知っていた」との回答は4割未満、「知らなかった」との回答が半数以上を占めており、「相談したことがある」との回答は1割未満となっています。



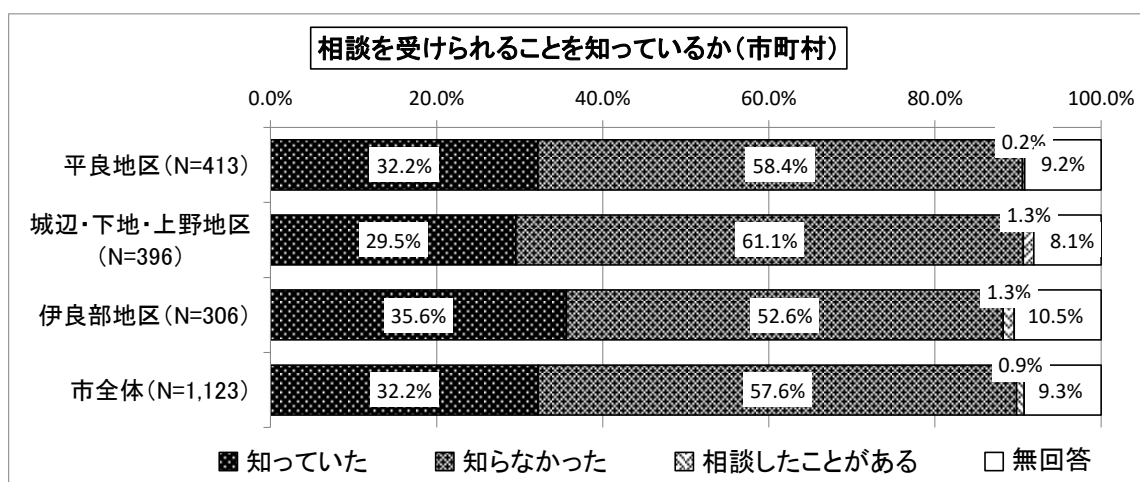
総合精神保健福祉センターで相談を受けられることについて地区別にみると、どの地区でも市全体と同様に「知らなかった」の割合が約7割を占めています。



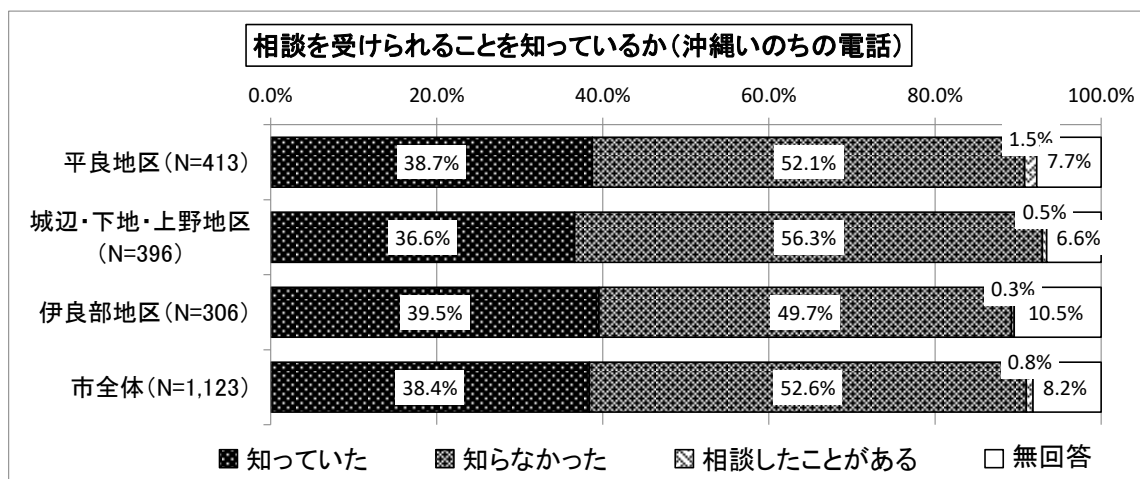
保健所で相談を受けられることについて地区別にみると、どの地区でも「知らなかった」の割合が過半数を占めています。



市町村で相談を受けられることについて地区別にみると、どの地区でも「知らなかった」の割合が過半数を占めています。

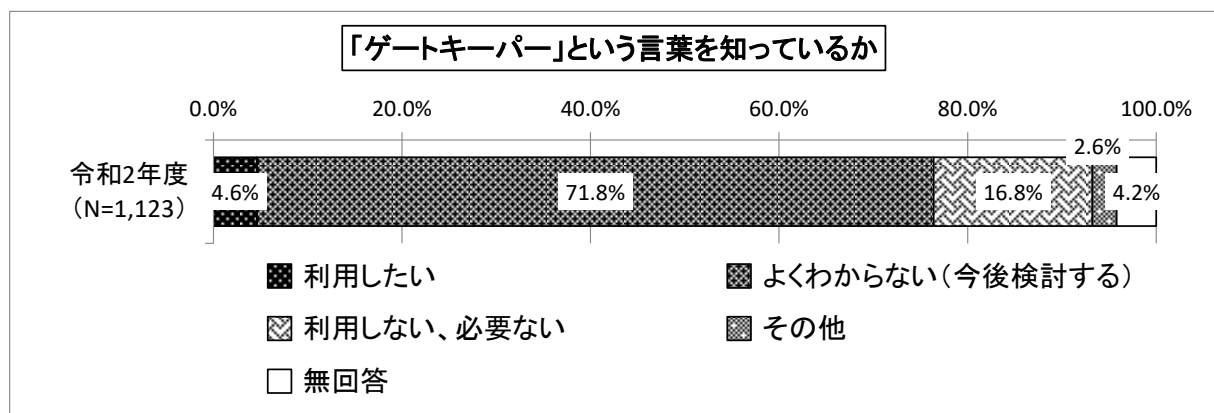


沖縄いのちの電話で相談を受けられることについて地区別にみると、どの地区でも「知らなかった」の割合が過半数を占めています。

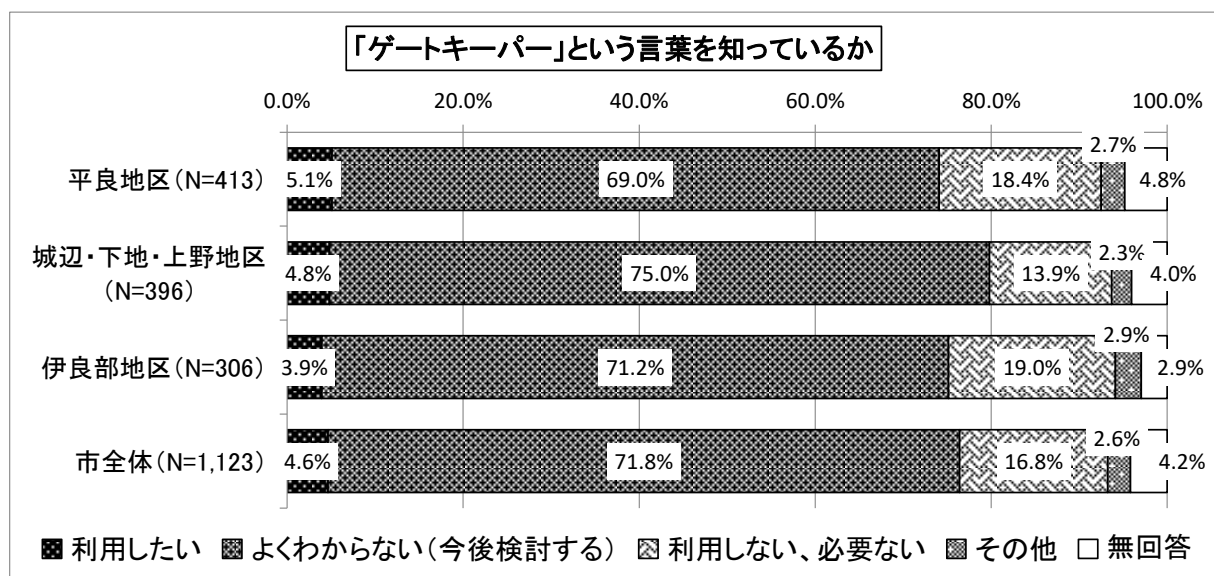


問 24 あなたは、「ゲートキーパー」という言葉を知っていますか。(前回調査では設問なし)

「ゲートキーパー」という言葉を知っているかについては、「よくわからない(今後検討する)」が71.8%で最も多くなっています。



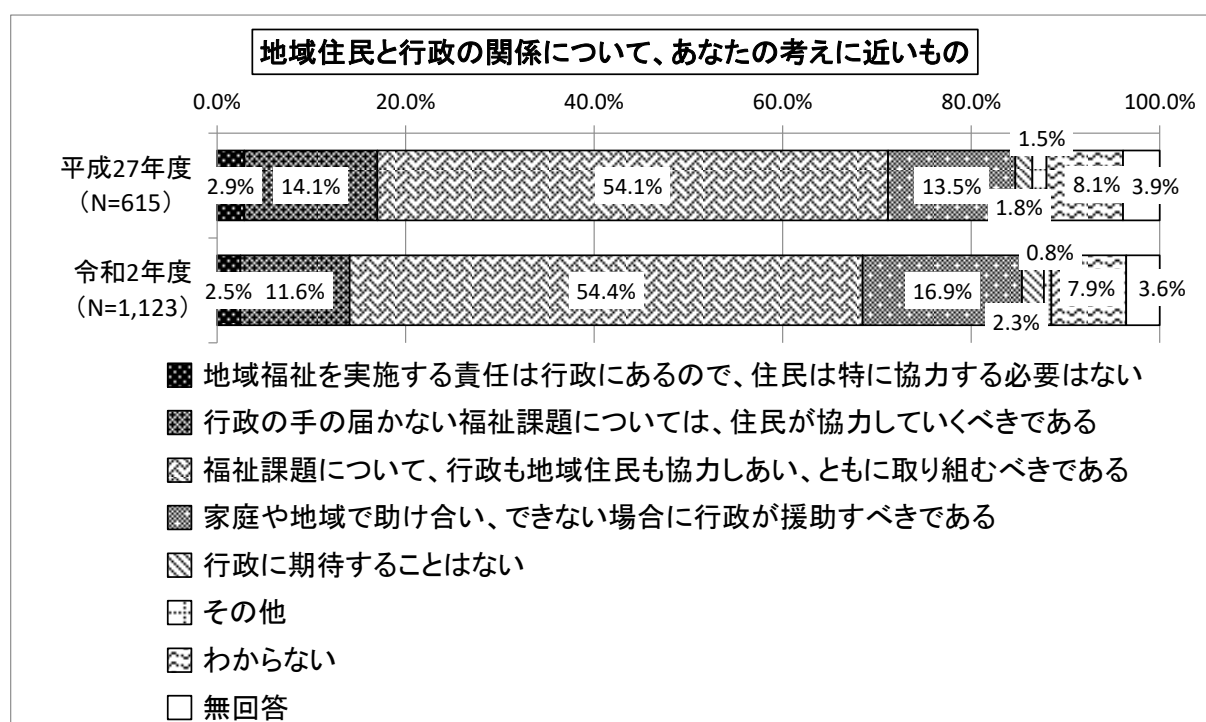
地区別でも、市全体と同様に「よく分からない(今後検討する)」との回答が約7割を占めています。



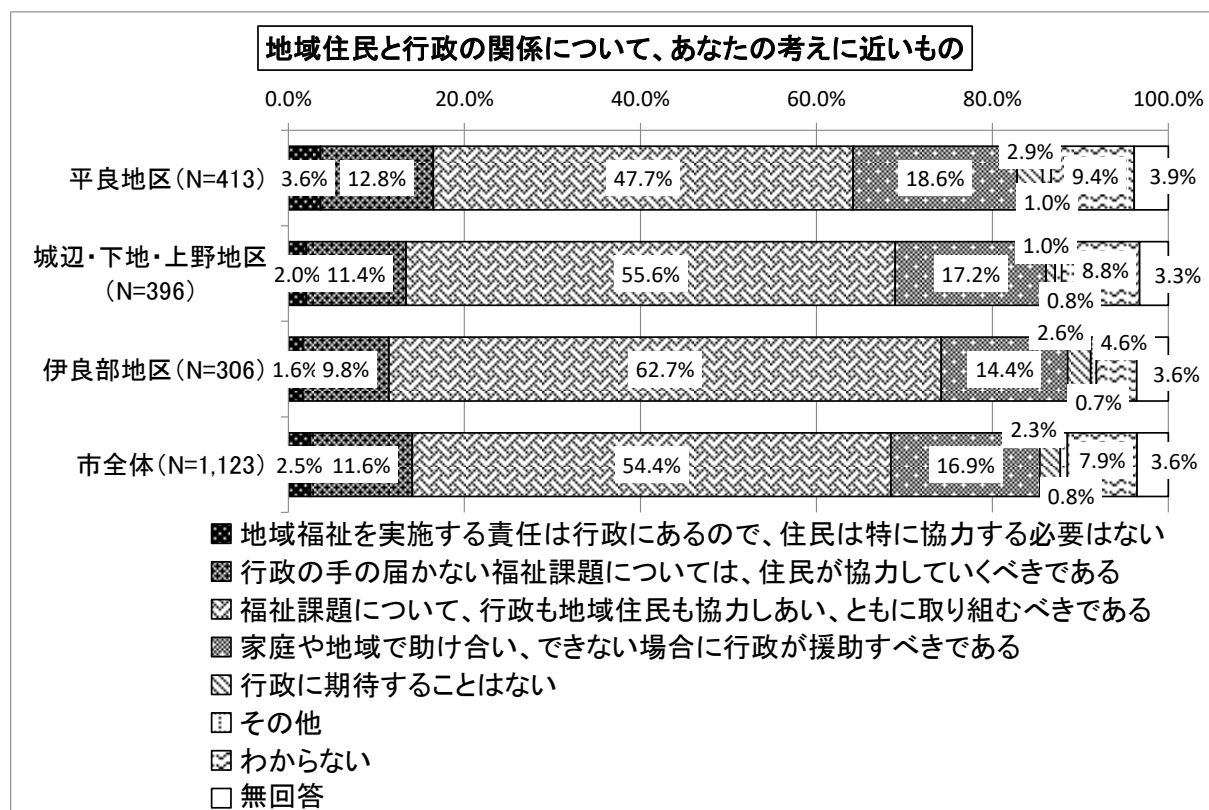
問 25 地域福祉サービスを充実させていくうえで、地域住民と行政の関係について、あなたの考えに近いのは以下のどれですか。

地域住民と行政の関係について、あなたの考えに近いものについては、「福祉課題について、行政も地域住民も協力しあい、ともに取り組むべきである」が54.4%で最も多くなっています。次いで「家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである」の16.9%、「行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである」の11.6%、「わからない」の7.9%、「地域福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力する必要はない」の2.5%と続いています。

前回調査（H27年度）と同様に今回調査においても「福祉課題について、行政も地域住民も協力しあい、ともに取り組むべきである」が最も割合が高く、他の地域住民と行政の関係についての項目の割合も同様の傾向となっており、大きな違いはみられません。



地区別にみると、どの地区においても市全体と同様に「福祉課題について、行政も地域住民も協力しあい、ともに取り組むべきである」との回答が最も多くなっています。



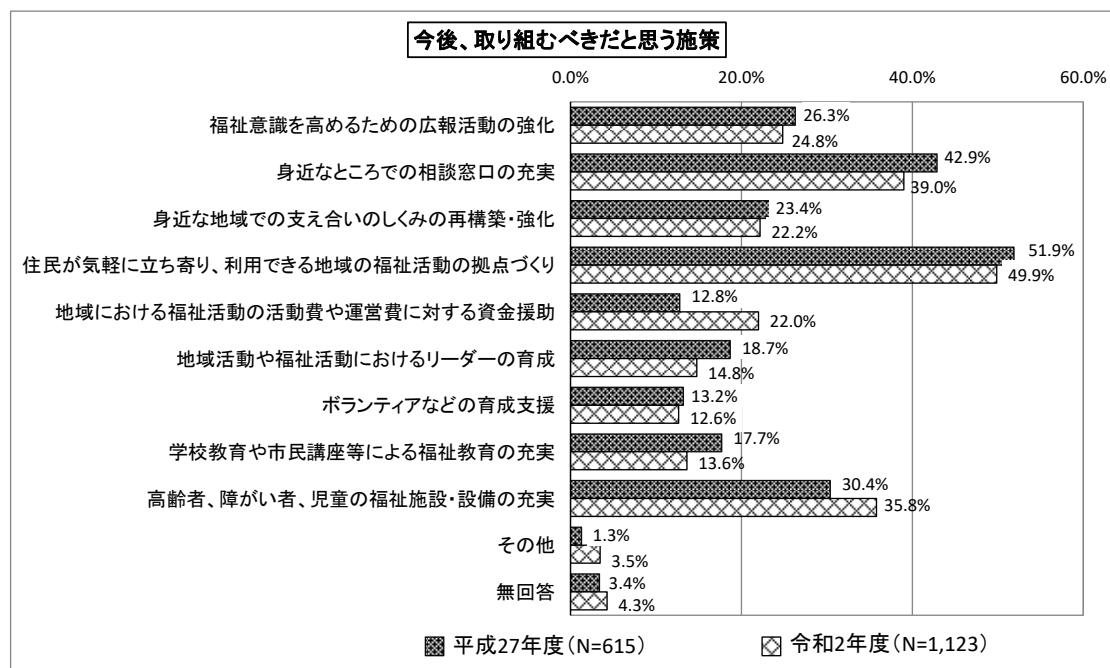
問 26 今後、地域福祉を推進するために、宮古島市はどのような施策を優先的に取り組むべきだと思いますか。

今後、宮古島市が優先的に取り組むべきだと思う施策については、「住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり」が49.9%で第1位となっています。第2位は「身近なところでの相談窓口の充実」の39.0%、第3位は「高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実」の35.8%、第4位は「福祉意識を高めるための広報活動の強化」の24.8%、第5位は「身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化」の22.2%と続いています。

前回調査（H27年度）と比べると、上位5位にあげられている項目だけでなく順位についても全て一致しています。

今後、取り組むべきだと思う施策 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度 (N=615)	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり 51.9%	身近なところでの相談窓口の充実 42.9%	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実 30.4%	福祉意識を高めるための広報活動の強化 26.3%	身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化 23.4%
令和2年度 (N=1,123)	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり 49.9%	身近なところでの相談窓口の充実 39.0%	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実 35.8%	福祉意識を高めるための広報活動の強化 24.8%	身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化 22.2%



地区別にみると、平良地区及び城辺・下地・上野地区においては、上位5位の項目が市全体と一致しています。

伊良部地区については、上位の項目は他の2地区と概ね一致していますが、他の地区で上位にあがっていない「地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金援助」が上位にあげられています。

地区(3区分)×今後、取り組むべきだと思う施策 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり 47.5%	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実 38.5%	身近なところでの相談窓口の充実 38.3%	福祉意識を高めるための広報活動の強化 25.2%	身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化 19.1%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり 48.2%	身近なところでの相談窓口の充実 39.4%	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実 36.1%	福祉意識を高めるための広報活動の強化 24.0%	身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化 23.2%
伊良部地区 (N=306)	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり 56.5%	身近なところでの相談窓口の充実 39.2%	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実 32.4%	地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金援助 26.1%	・福祉意識を高めるための広報活動の強化 ・身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化 25.2%
市全体 (N=1,123)	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり 49.9%	身近なところでの相談窓口の充実 39.0%	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実 35.8%	福祉意識を高めるための広報活動の強化 24.8%	身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化 22.2%

地区(3区分)×今後、取り組むべきだと思う施策

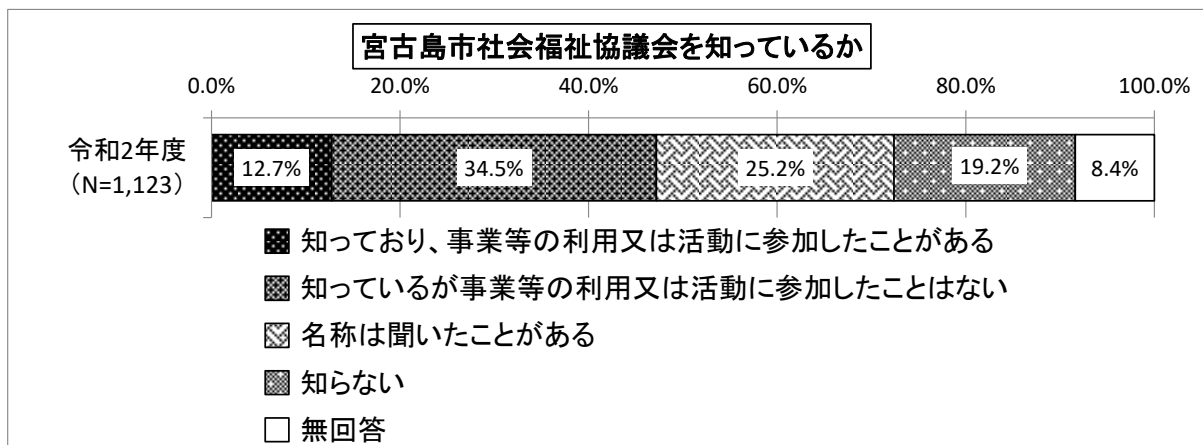
		福祉意識を高めるための広報活動の強化	身近なところでの相談窓口の充実	身近な地域での支え合いのしくみの再構築・強化	住民が気軽に立ち寄り、利用できる地域の福祉活動の拠点づくり	地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金援助	地域活動や福祉活動におけるリーダーの育成	ボランティアなどの育成支援
平良地区 (N=413)	回答件数 %	104 25.2%	158 38.3%	79 19.1%	196 47.5%	78 18.9%	55 13.3%	53 12.8%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	95 24.0%	156 39.4%	92 23.2%	191 48.2%	84 21.2%	51 12.9%	44 11.1%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	77 25.2%	120 39.2%	77 25.2%	173 56.5%	80 26.1%	59 19.3%	44 14.4%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	279 24.8%	438 39.0%	249 22.2%	560 49.9%	247 22.0%	166 14.8%	142 12.6%

		学校教育や市民講座等による福祉教育の充実	高齢者、障がい者、児童の福祉施設・設備の充実	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=413)	回答件数 %	57 13.8%	159 38.5%	17 4.1%	23 5.6%	979 237.0%	413 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数 %	61 15.4%	143 36.1%	13 3.3%	15 3.8%	945 238.6%	396 100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数 %	34 11.1%	99 32.4%	9 2.9%	9 2.9%	781 255.2%	306 100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数 %	153 13.6%	402 35.8%	39 3.5%	48 4.3%	2,723 242.5%	1,123 100.0%

6. 社会福祉協議会及び民生委員・児童委員について

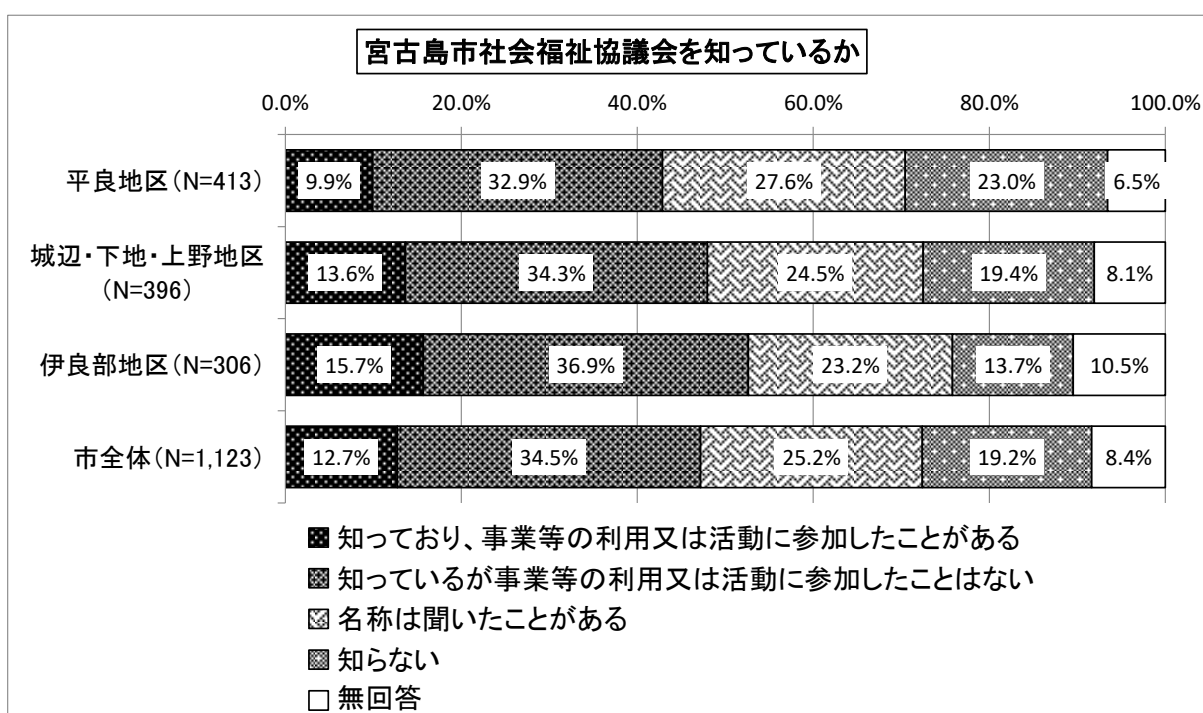
問 27 宮古島市社会福祉協議会をご存知ですか。（前回調査では設問なし）

宮古島市社会福祉協議会を知っているかについては、「知っているが事業等の利用又は活動に参加したことはない」が 34.5%で最も多くなっています。次いで「名称は聞いたことがある」の 25.2%、「知らない」の 19.2%、「知っており、事業等の利用又は活動に参加したことがある」の 12.7%と続いています。



地区別にみると、どの地区でも市全体の傾向と同様に「知っているが事業等の利用又は活動に参加したことはない」との回答割合が最も高く、次いで「名称は聞いたことがある」と続いています。

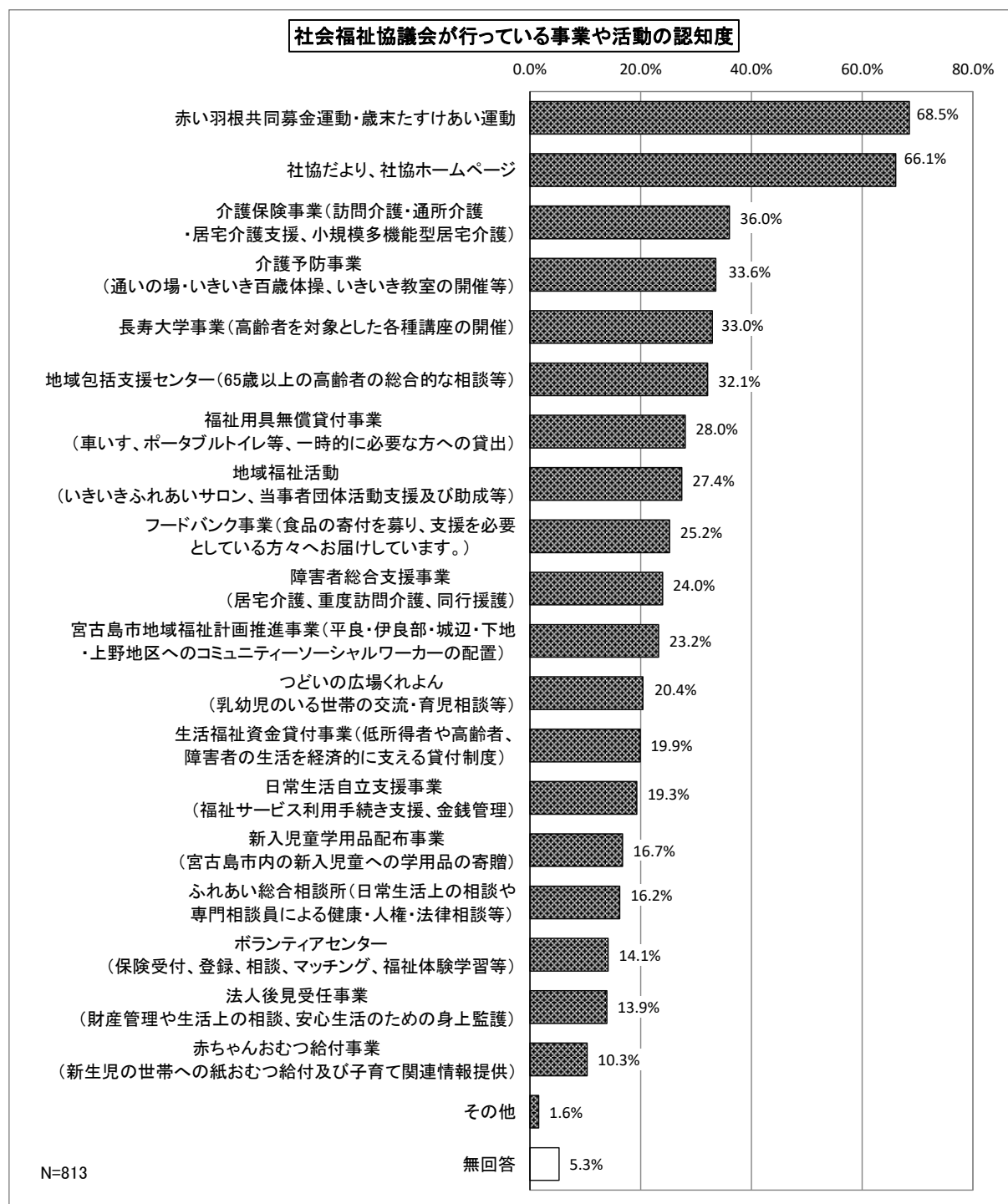
「知っており、事業等の利用又は活動に参加したことがある」との回答割合をみると、3地区の中で伊良部地区が他の地区に比べ割合が高くなっています。



問 27-1 宮古島市社会福祉協議会が行っている事業や活動について、知っている、あるいは聞いたことがあるものについて（前回調査では設問なし）

《問 27 で社会福祉協議会を知っている又は聞いたことがあると回答した方》

社会福祉協議会が行っている事業や活動の認知度については、「赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動」が 68.5%で第 1 位となっています。第 2 位は「社協だより、社協ホームページ」の 66.1%、第 3 位は「介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護）」の 36.0%、第 4 位は「介護予防事業（通いの場・いきいき百歳体操、いきいき教室の開催等）」の 33.6%、第 5 位は「長寿大学事業（高齢者を対象とした各種講座の開催）」の 33.0%と続いています。



地区別にみると、順位に違いはあるものの、どの地区においても「赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動」「社協だより、社協ホームページ」などの上位5位にあげられている事業や活動は概ね一致しています。

地区(3区分)×社会福祉協議会が行っている事業や活動の認知度 上位5位表

	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=291)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動 66.7%	社協だより、社協ホームページ 63.2%	・地域包括支援センター(65歳以上の高齢者の総合的な相談等) ・介護保険事業(訪問介護・通所介護・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護) 38.1%		介護予防事業(通いの場・いきいき百歳体操、いきいき教室の開催等) 36.1%
城辺・下地・上野地区 (N=287)	社協だより、社協ホームページ 72.5%	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動 66.9%	介護予防事業(通いの場・いきいき百歳体操、いきいき教室の開催等) 35.2%	介護保険事業(訪問介護・通所介護・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護) 31.7%	地域包括支援センター(65歳以上の高齢者の総合的な相談等) 30.7%
伊良部地区 (N=232)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動 72.4%	社協だより、社協ホームページ 61.2%	介護保険事業(訪問介護・通所介護・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護) 38.8%	長寿大学事業(高齢者を対象とした各種講座の開催) 37.9%	地域福祉活動(いきいきふれあいサロン、当事者団体活動支援及び助成等) 31.0%
市全体 (N=813)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動 68.5%	社協だより、社協ホームページ 66.1%	介護保険事業(訪問介護・通所介護・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護) 36.0%	介護予防事業(通いの場・いきいき百歳体操、いきいき教室の開催等) 33.6%	長寿大学事業(高齢者を対象とした各種講座の開催) 33.0%

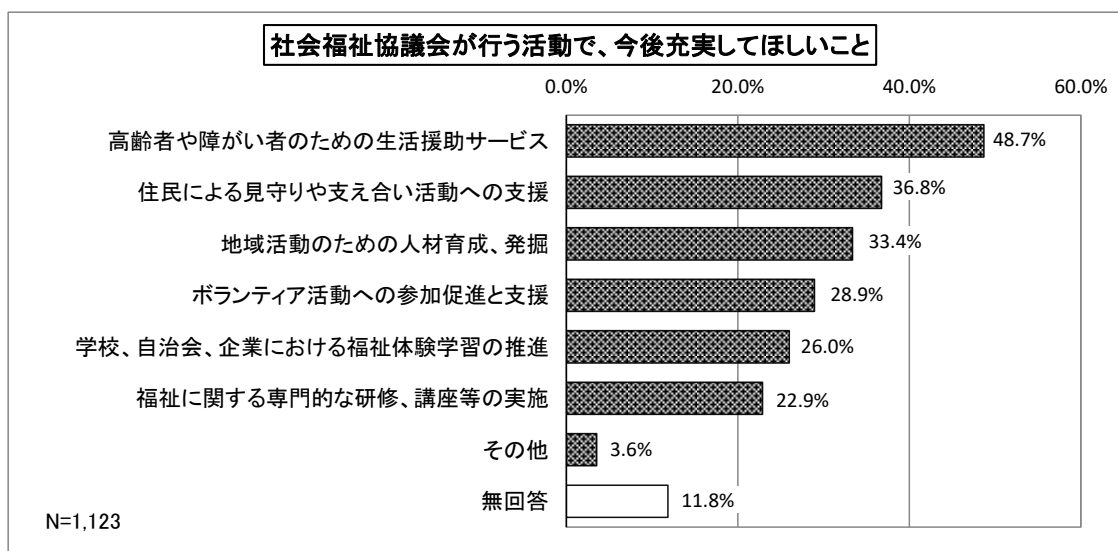
地区(3区分)×社会福祉協議会が行っている事業や活動の認知度

		社協だより、社協ホームページ	ボランティアセンター(保険受付、登録、相談、マッチング、福祉体験学習等)	ふれあい総合相談所(日常生活上の相談や専門相談員による健康・人権・法律相談等)	生活福祉資金貸付事業(低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支える貸付制度)	フードバンク事業(食品の寄付を募り、支援を必要としている方々へお届けしています。)	日常生活自立支援事業(福祉サービス利用手続き支援、金銭管理)	法人後見受任事業(財産管理や生活上の相談、安心生活のための身上監護)	福祉用具無償貸付事業(車いす、ポータブルトイレ等、一時的に必要な方への貸出)	地域福祉活動(いきいきふれあいサロン、当事者団体活動支援及び助成等)	新入児童学用品配布事業(宮古島市内の新入児童への学用品の寄贈)	赤ちゃんおむつ給付事業(新生児の世帯への紙おむつ給付及び子育て関連情報提供)	つどいの広場くれよん(乳幼児のいる世帯の交流・育児相談等)
平良地区 (N=291)	回答件数 %	184 63.2%	41 14.1%	46 15.8%	67 23.0%	83 28.5%	69 23.7%	46 15.8%	87 29.9%	83 28.5%	47 16.2%	37 12.7%	73 25.1%
城辺・下地・上野地区 (N=287)	回答件数 %	208 72.5%	40 13.9%	46 16.0%	45 15.7%	64 22.3%	46 16.0%	38 13.2%	83 28.9%	67 23.3%	48 16.7%	23 8.0%	65 22.6%
伊良部地区 (N=232)	回答件数 %	142 61.2%	34 14.7%	38 16.4%	50 21.6%	56 24.1%	42 18.1%	29 12.5%	57 24.6%	72 31.0%	41 17.7%	23 9.9%	27 11.6%
市全体 (N=813)	回答件数 %	537 66.1%	115 14.1%	132 16.2%	162 19.9%	205 25.2%	157 19.3%	113 13.9%	228 28.0%	223 27.4%	136 16.7%	84 10.3%	166 20.4%

		赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動	宮古島市地域福祉計画推進事業(平良・伊良部・城辺・下地・上野地区へのコミュニティソーシャルワーカーの配置)	地域包括支援センター(65歳以上の高齢者の総合的な相談等)	介護予防事業(通いの場・いきいき百歳体操、いきいき教室の開催等)	長寿大学事業(高齢者を対象とした各種講座の開催)	介護保険事業(訪問介護・通所介護・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護)	障害者総合支援事業(居宅介護、重度訪問介護、同行支援)	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=291)	回答件数 %	194 66.7%	61 21.0%	111 38.1%	105 36.1%	97 33.3%	111 38.1%	80 27.5%	3 1.0%	13 4.5%	1,638 562.9%	291 100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=287)	回答件数 %	192 66.9%	59 20.6%	88 30.7%	101 35.2%	82 28.6%	91 31.7%	58 20.2%	5 1.7%	14 4.9%	1,463 509.8%	287 100.0%
伊良部地区 (N=232)	回答件数 %	168 72.4%	67 28.9%	61 26.3%	66 28.4%	88 37.9%	90 38.8%	57 24.6%	5 2.2%	16 6.9%	1,229 529.7%	232 100.0%
市全体 (N=813)	回答件数 %	557 68.5%	189 23.2%	261 32.1%	273 33.6%	268 33.0%	293 36.0%	195 24.0%	13 1.6%	43 5.3%	4,350 535.1%	813 100.0%

問 28 全員にお聞きします。あなたは、宮古島市社会福祉協議会が行う活動で、今後充実してほしいと思うものは何ですか。（前回調査では設問なし）

社会福祉協議会が行う活動で、今後充実してほしいことについては、「高齢者や障がい者のための生活援助サービス」が48.7%で第1位となっています。第2位は「住民による見守りや支え合い活動への支援」の36.8%、第3位は「地域活動のための人材育成、発掘」の33.4%、第4位は「ボランティア活動への参加促進と支援」の28.9%、第5位は「学校、自治会、企業における福祉体験学習の推進」の26.0%と続いています。



地区別にみると、順位に違いはあるものの、どの地区においても「高齢者や障がい者のための生活援助サービス」「住民による見守りや支え合い活動への支援」など上位5位にあげられている活動については概ね一致しています。

地区(3区分)×社会福祉協議会が行う活動で、今後充実してほしいこと 上位5位表

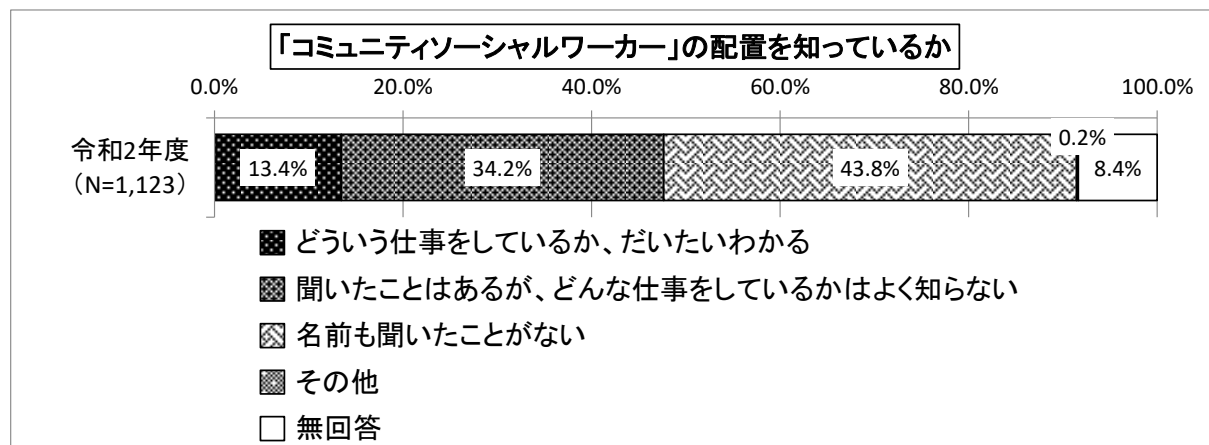
	1位	2位	3位	4位	5位
平良地区 (N=413)	高齢者や障がい者のための生活援助サービス 51.6%	住民による見守りや支え合い活動への支援 36.1%	地域活動のための人材育成、発掘 34.4%	ボランティア活動への参加促進と支援 28.3%	学校、自治会、企業における福祉体験学習の推進 26.2%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	高齢者や障がい者のための生活援助サービス 44.7%	住民による見守りや支え合い活動への支援 35.1%	地域活動のための人材育成、発掘 27.0%	学校、自治会、企業における福祉体験学習の推進 25.5%	ボランティア活動への参加促進と支援 24.5%
伊良部地区 (N=306)	高齢者や障がい者のための生活援助サービス 50.7%	地域活動のための人材育成、発掘 40.2%	住民による見守りや支え合い活動への支援 39.9%	ボランティア活動への参加促進と支援 35.3%	・学校、自治会、企業における福祉体験学習の推進 ・福祉に関する専門的な研修、講座等の実施 25.5%
市全体 (N=1,123)	高齢者や障がい者のための生活援助サービス 48.7%	住民による見守りや支え合い活動への支援 36.8%	地域活動のための人材育成、発掘 33.4%	ボランティア活動への参加促進と支援 28.9%	学校、自治会、企業における福祉体験学習の推進 26.0%

地区(3区分)×社会福祉協議会が行う活動で、今後充実してほしいこと

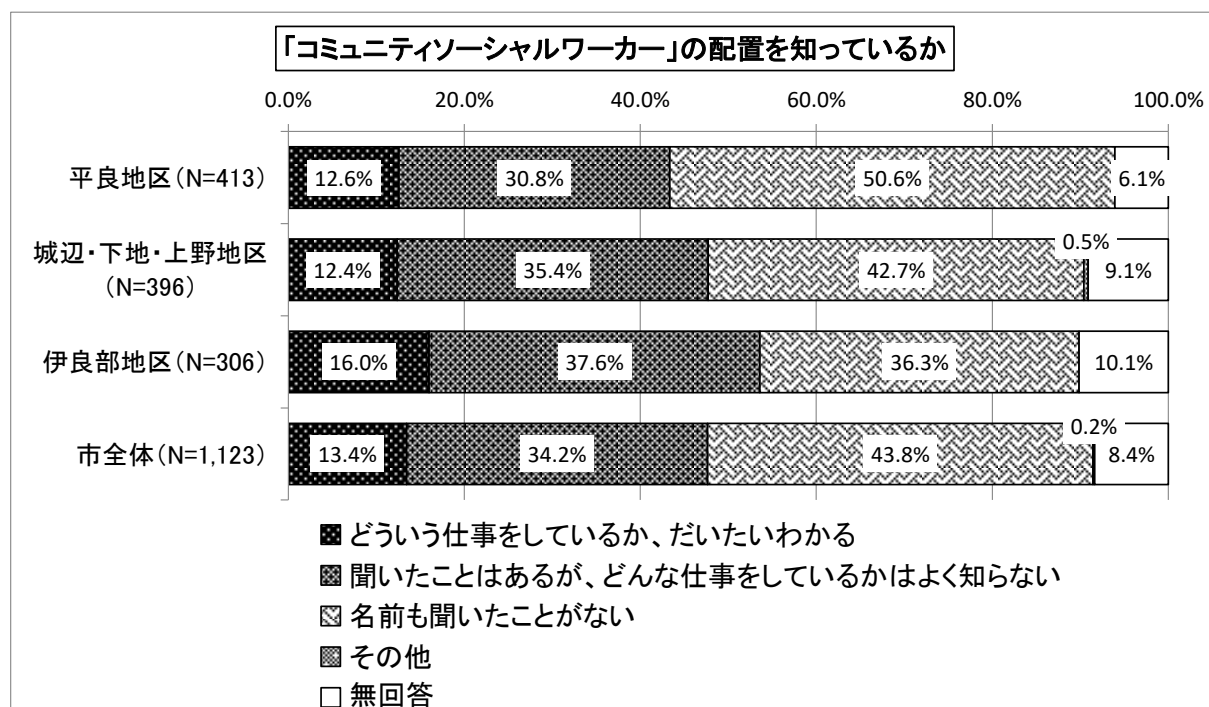
		ボランティア活動への参加促進と支援	学校、自治会、企業における福祉体験学習の推進	福祉に関する専門的な研修、講座等の実施	地域活動のための人材育成、発掘	住民による見守りや支え合い活動への支援	高齢者や障がい者のための生活援助サービス	その他	無回答	回答件数合計	回答者数
平良地区 (N=413)	回答件数	117	108	99	142	149	213	17	47	892	413
	%	28.3%	26.2%	24.0%	34.4%	36.1%	51.6%	4.1%	11.4%	216.0%	100.0%
城辺・下地・上野地区 (N=396)	回答件数	97	101	78	107	139	177	13	47	759	396
	%	24.5%	25.5%	19.7%	27.0%	35.1%	44.7%	3.3%	11.9%	191.7%	100.0%
伊良部地区 (N=306)	回答件数	108	78	78	123	122	155	10	37	711	306
	%	35.3%	25.5%	25.5%	40.2%	39.9%	50.7%	3.3%	12.1%	232.4%	100.0%
市全体 (N=1,123)	回答件数	325	292	257	375	413	547	40	133	2,382	1,123
	%	28.9%	26.0%	22.9%	33.4%	36.8%	48.7%	3.6%	11.8%	212.1%	100.0%

問 29 社会福祉協議会では「コミュニティソーシャルワーカー」を配置しておりますが、ご存知でしょうか。（前回調査では設問なし）

「コミュニティソーシャルワーカー」の配置を知っているかについては、「名前も聞いたことがない」が43.8%で最も多くなっています。次いで「聞いたことはあるが、どんな仕事をしているかはよく知らない」の34.2%、「どういう仕事をしているか、だいたいわかる」の13.4%、「その他」の0.2%と続いており、認知度は約1割程度となっています。



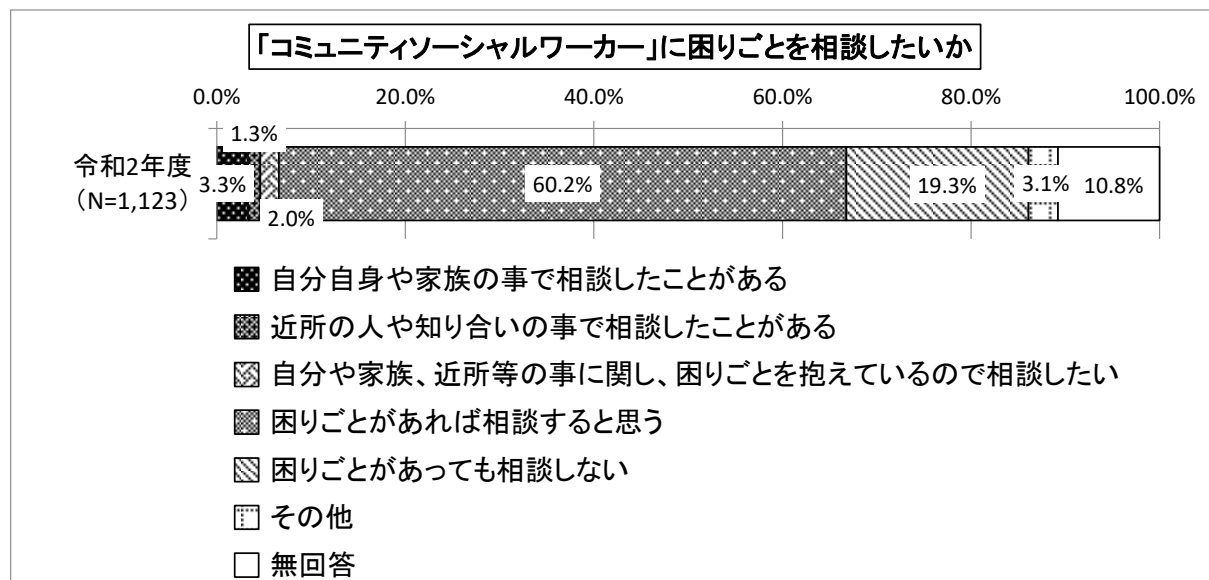
地区別にみても、どの地区においても概ね市全体と同様の傾向となっていますが、伊良部地区においては、他の地区に比べて若干認知度が高くなっています。



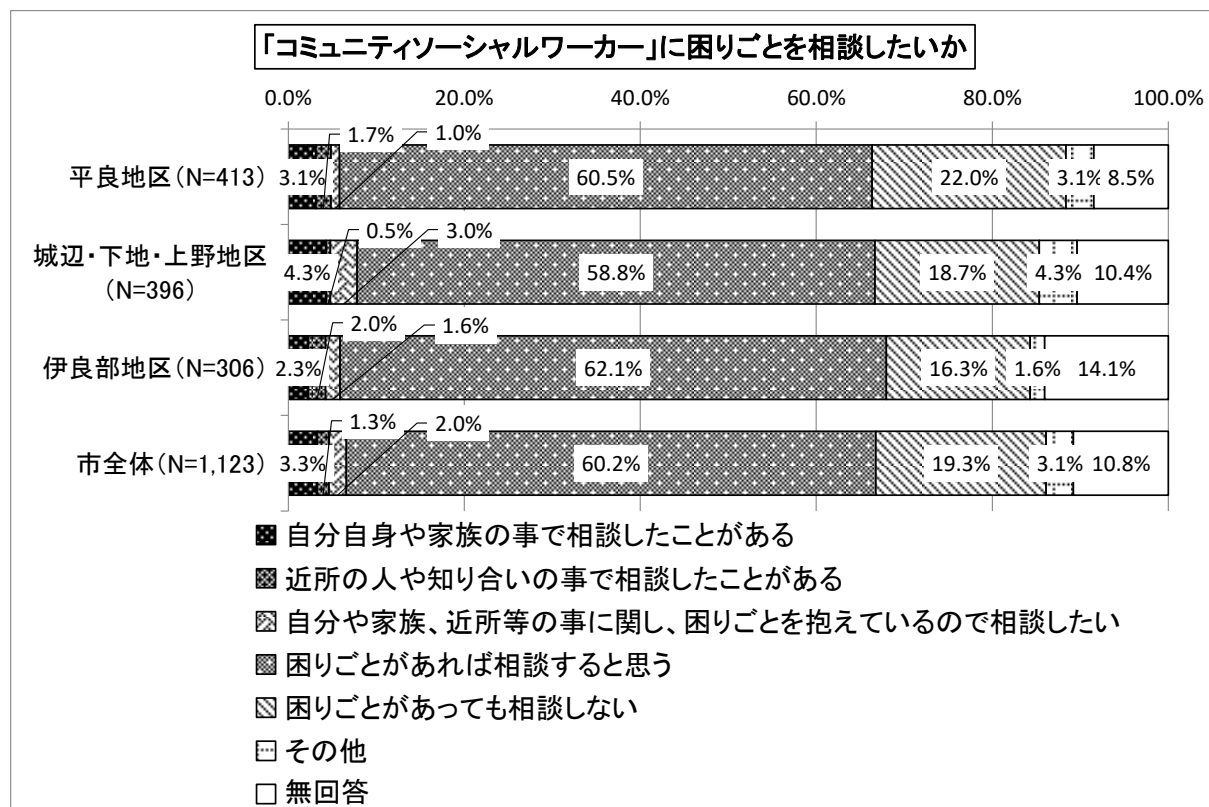
問 30 あなたは、「コミュニティソーシャルワーカー」に困りごとを相談したいと思いますか。

(前回調査では設問なし)

「コミュニティソーシャルワーカー」に困りごとを相談したいと思うかについては、「困りごとがあれば相談すると思う」が60.2%で最も多くなっています。次いで「困りごとがあっても相談しない」の19.3%、「自分自身や家族の事で相談したことがある」の3.3%、「その他」の3.1%、「自分や家族、近所等の事に関し、困りごとを抱えているので相談したい」の2.0%と続いています。



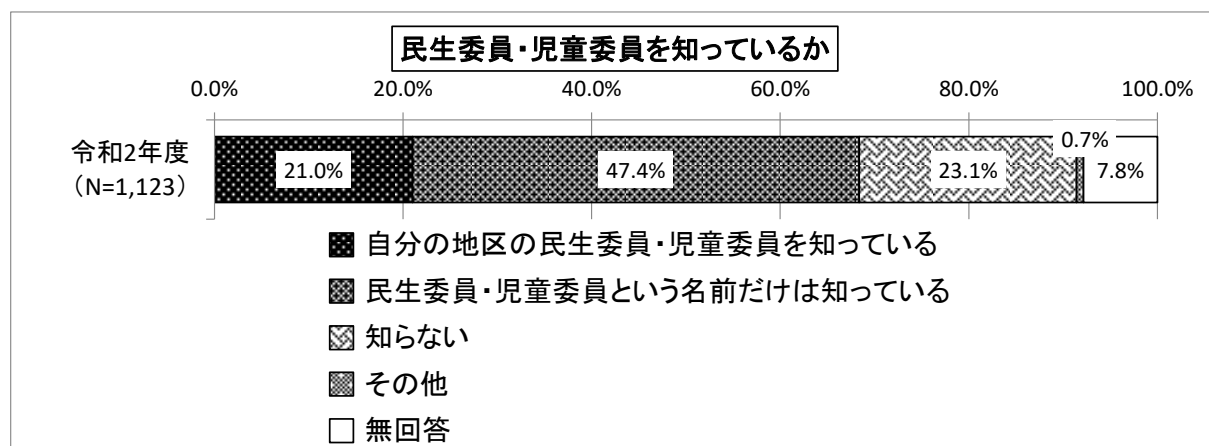
地区別にみると、どの地区においても市全体と同様に「困りごとがあれば相談すると思う」との回答が過半数を占めています。



問 31 民生委員・児童委員は、誰もが安心して暮らすことができるよう、相談に応じ、必要な援助を行っているボランティアです。あなたは、民生委員・児童委員をご存知ですか。

(前回調査では設問なし)

民生委員・児童委員を知っているかについては、「民生委員・児童委員という名前だけは知っている」が47.4%で最も多くなっています。次いで「知らない」の23.1%、「自分の地区の民生委員・児童委員を知っている」の21.0%、「その他」の0.7%と続いています。



地区別にみると、どの地区も市全体と同様に「民生委員・児童委員という名前だけは知っている」との回答が最も多くなっています。

「自分の地区の民生委員・児童委員を知っている」との回答割合をみると、市全体よりも割合が高い地区は、城辺・下地・上野地区及び伊良部地区の2地区で、逆に市全体よりも低い（認知度が低い）地区は、平良地区となっています。

